

ベロタクシー・デザインコンクールを対象とした
小中学生における井伊直弼のイメージに関する研究

西野 慧

環境計画学科環境社会計画専攻において学士（環境科学）の学位授与の資格の
一部として滋賀県立大学環境科学部に提出した研究報告書

2008 年度

承認

指導教員

ペロタクシー・デザインコンクールを対象とした小中学生における

井伊直弼のイメージに関する研究

近藤研究室 0512033 西野慧

1. 背景

1.1. 井伊直弼について

井伊直弼（1815～1860）は江戸時代末期の彦根藩出身の人物であり、歴史教科書にもその名が掲載されることから全国的にも歴史人物として知られている。2008年には、彦根市で「井伊直弼と開国150年祭」(以下150年祭と略記)が開催されており、井伊直弼が顕彰されている。このように郷土の偉人、また開国したとして顕彰される井伊直弼であるが、1891年に直弼の銅像を建設する計画が当時の内務大臣によって反対されたことなど、井伊直弼が条約調印の際に天皇の勅許を得ず調印したことから、藩閥政府にとっては過去の政敵に過ぎず、かつては違勅の臣として非難されていた¹⁾。

1.2. 井伊直弼に関する郷土学習について

彦根市において、井伊直弼は郷土の著名人であり、彦根城付近の小学校・中学校では郷土学習で彦根城、彦根城博物館に赴き、井伊直弼を学習の対象として扱われることがある。その他に、彦根の郷土について取り扱った「彦根かるた」というかるたで、井伊直弼について学習する機会が存在する。

1.3. 井伊直弼のイメージについて

教科書や小説などで知られる井伊直弼としては、「日米修好通商条約」を結び日本を開国したこと13代将軍家定の跡継ぎとして、紀州藩藩主である徳川慶福を跡継ぎとしたこと

安政の大獄にて尊王攘夷運動を起こした人物らを弾圧したこと

桜田門外で暗殺されたことなどが有名である^{2), 3)}。

その井伊直弼のイメージは人により様々で「井伊直弼に対する評価は、時により人により極端に変わり、その客観的評価というべきものが確立していない。彼は素晴らしい政治家であり前途を見透かして貿易を開始にふみきったのであろうか、あるいは極悪非道の政治家であったのだろうか。」⁴⁾と小西は述べている。このことから、井伊直弼のイメージは統一されたものが無いと言える。

しかしながら、井伊直弼が、顕彰の対象として、150年祭を初め、彦根城築城400年祭や、前述した郷土学習などで、郷土の著名人として扱われていることは事実である。

1.4. 本研究の目的・意義

本研究の目的は、

井伊直弼の先行研究を調査することで、井伊直弼

の人物像、井伊直弼没後の顕彰活動の変遷を明らかにすること。

彦根市の小学生・中学生における井伊直弼のイメージを明らかにすること。

によって得られた人物像、イメージから、どのような差があるかを明らかにすることである。

本研究の意義は、彦根市における小学生・中学生の井伊直弼のイメージを明らかにすることで、今後、井伊直弼に対する郷土学習をいかに進めていくか役に立つこと、井伊直弼の郷土である、彦根における直弼のイメージを明らかにすることで、今後150年祭のような顕彰活動を行う際、井伊直弼をいかに活用していくか模索できること。

2. 分析方法

2.1. 研究対象について

彦根市の井伊直弼のイメージを把握するために、2008年8月1日～10月10日までに行われた「夏休みペロタクシー・デザインコンクール」(以降コンクールと略記)の応募作品を分析対象とする。このコンクールは井伊直弼のイメージデザインをペーパークラフトに描いてもらうもので、このコンクールの作品を分析することで井伊直弼のイメージを明らかにする。

2.2. 分析の手順

本研究の分析は以下の手順で行う。

先行研究、教科書などの文献調査

応募作品のデザイン、説明文の分析

まず、文献調査により直弼の人物像、没後からの井伊直弼の顕彰活動、彦根市、全国における井伊直弼のイメージ発信について明らかにする。

次に、コンクールの作品186点から、分析対象として相応しいもの、136(小学校75点、中学校61点)点を分析対象として選定した。この中からデザインと説明文、学校別に分析を行う。学校別の分析では各学校に母数に差があるので、分析対象数の多かった城陽小学校(19点)、旭森小学校(26点)、西中学校(10点)、東中学校(24点)、南中学校(18点)ごとでデザインの傾向を見る。また、学年別では、小学5年生以下の各学年の分析対象数が少ないこと、小学5年生では歴史授業が開始していないことから、小学5年生以下とまとめた。

デザインの抽出方法としては以下のカテゴリー分

けを行う。分類方法は以下である。

表.1. デザインの分類方法

井伊直弼に 関するデザ イン	人物	井伊直弼（リアル、キャラクター）
	関連するもの	橘紋、井桁の旗印、彦根城、武具
	イメージ	お茶、黒船、国旗など
自然		琵琶湖、桜、山、自然関連など
ひこにゃん		ひこにゃんなど

また、今回のコンクールでは作品中にデザインではなく、文字が出現していたが、それらはデザインとは別でロゴとしてまとめる。

表.2. ロゴの分類方法

井伊直弼	井伊直弼、大老など
彦根城	彦根城など
彦根関連	彦根、近江など
150年祭関連	150年祭、開国など
ひこにゃん	ひこにゃんなど

次に、コンクールの説明文をKJ法により、タイプ分けを行い、得られたタイプから、タイプごとのデザインの傾向、学年ごとのタイプの出現傾向を考察していく。

3.井伊直弼について

3.1.井伊直弼の先行研究について

井伊直弼の先行研究は大まかに 井伊直弼の人物像に関する研究 井伊直弼没後の顕彰活動に関する研究の二つが挙げられる。

の研究で井伊直弼は、吉田松陰らの偉人を安政の大獄で弾圧したこと、勅許を得ず不利な条約を結んだことなどが一般に井伊直弼のイメージとしてあり、否定的に捉われがちで、強引に物事を進める、権力者のイメージが強いとされているが、実際は、直弼は埋木舎での質素な生活、また禅を極めたことによる平和主義的人物であったこと必ずしも開国に賛成ではなく、その後の日本のことを考え、平和主義的に調印を結んだことが述べられている。

の研究では、没後は、直弼がかつての政敵であり、顕彰が困難であったこと 1881年に直弼の記念碑建立運動や、誕生祭などの実施により、直弼の顕彰を行おうとしたこと 1960年代に大河ドラマ「花の生涯」の放映で、井伊直弼の研究が進められたこと、直弼の名誉回復に至ったことなどが述べられている。

3.2.教科書における井伊直弼について

小学校社会教科書では江戸末期の内容では井伊直弼に関する名前の記載はなく、黒船来航により、鎖国から開国へと進んだこと 日米修好通商条約と

いう、治外法権、関税の自主性がなかったこと、不平等な条約が結ばれたことが述べられている。中学校教科書においては、武士を中心に、攘夷論が高まり、これが尊王論に発展したこと 井伊直弼は、これをきびしくとりしまり、吉田松陰など処刑（安政の大獄）を行ったこと この弾圧により水戸藩の浪人らによって、桜田門外で殺されることなどが記載されている。

井伊直弼が開国を行ったことよりも、安政の大獄や、桜田門外の変で殺害されたことなどが主に取り上げられていることから、開国をもたらした歴史的偉人よりも、安政の大獄を行ったという否定的イメージが強いといえる。

3.3.彦根市における井伊直弼の学習について

彦根の郷土学習教材の一つとして、「彦根かるた」というかるたが存在する。このかるたでは48枚の札の内、14枚の関連する札が存在する。札の内容に程度があるが、桜田門外に関する札において、心ならずも安政の大獄を行った事、それにより心無き人によりあえない最後をとげたとされていることから、彦根かるたでは肯定的イメージで井伊直弼が捉られている。

4.分析結果

4.1.デザインの傾向について

デザインの出現頻度を以下に示す。

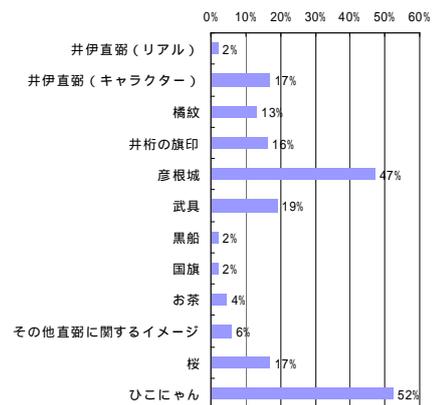


図1 カテゴリーごとのデザインの出現頻度

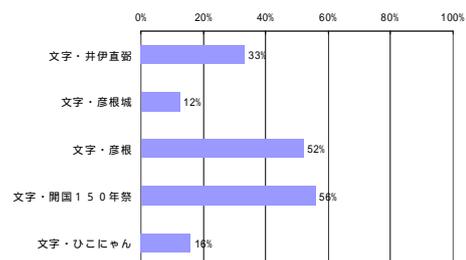


図2 カテゴリーごとのロゴの出現頻度

全体として、ひこにゃんと彦根城のデザインが50パーセント近く出現しており、井伊直弼のイメージに深く関わっていると考えられる。

4.2. 説明文のデザインの傾向について

説明文のタイプとデザインの傾向を以下に示す。

赤備タイプ：井伊家の赤備に関する説明文

人物像タイプ：井伊直弼の趣味であるお茶や彼の行った開国に関する説明文

家紋タイプ：家紋に関する説明文

抽象イメージタイプ：井伊直弼のイメージについて具体的に記されていない説明文

ひこにゃんタイプ：ひこにゃんに関する説明文

彦根城タイプ：彦根城に関する説明文

混在タイプ：ひこにゃんと井伊直弼，彦根城に関する説明文

彦根タイプ：150年祭や彦根に関する説明文



図3 説明文の出現点数 (n=122)

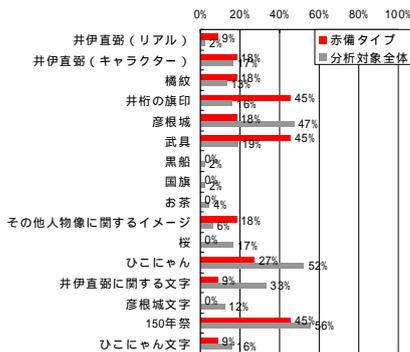


図4 赤備タイプのデザインの出現割合

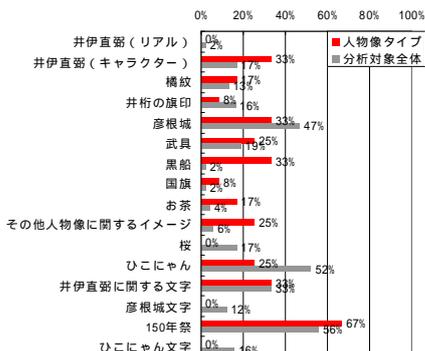


図5 人物像タイプのデザインの出現割合

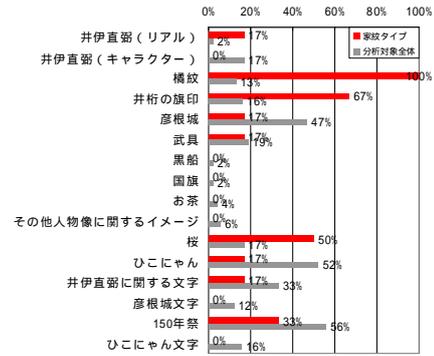


図6 家紋タイプのデザインの出現割合

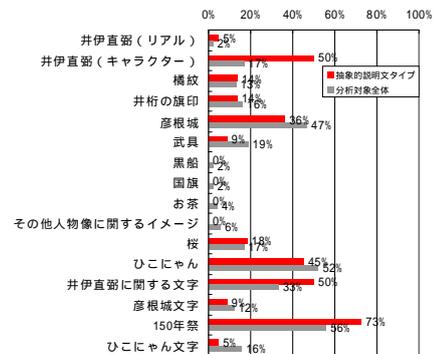


図7 抽象イメージタイプのデザインの出現割合

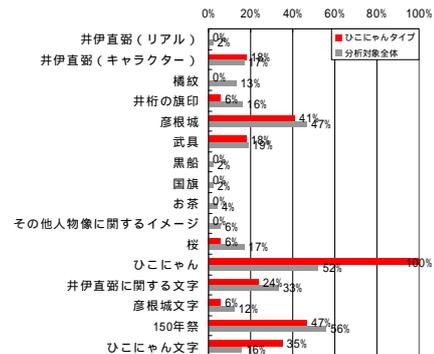


図8 ひこにゃんタイプのデザインの出現割合

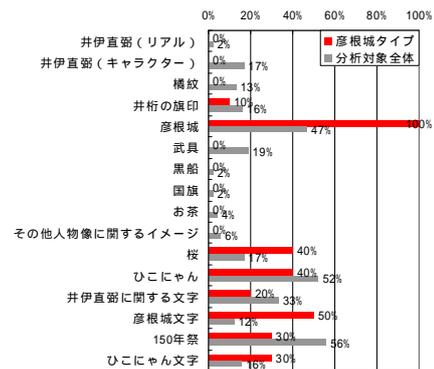


図9 彦根城タイプのデザインの出現割合

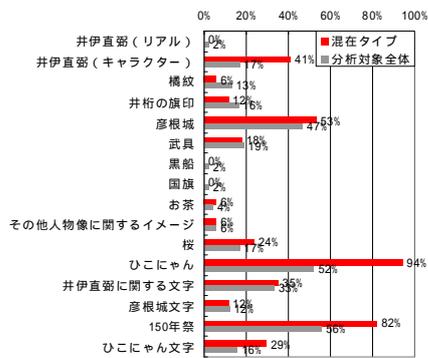


図 1 0 混在タイプのデザインの出現割合

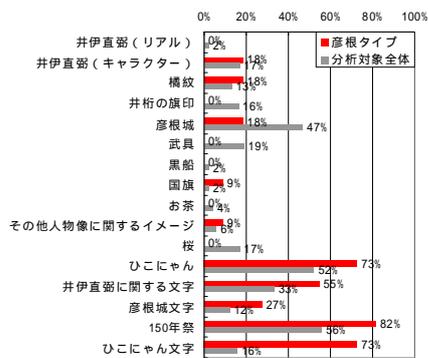


図 1 1 彦根タイプのデザインの出現割合

以上の集計結果から赤備タイプ、人物像タイプ、家紋タイプのデザインには、分析対象全体に比べひこにゃん、彦根城のデザインの出現頻度が低く、抽象イメージタイプ、ひこにゃんタイプ、彦根城タイプ、混在タイプ、彦根タイプではひこにゃんの出現数が高いことから、井伊直弼に対して具体的なイメージを持たない人にとっては井伊直弼の代わりにひこにゃんがデザインされたと考えられる。

4.3. 学校ごとのデザインの傾向

城陽小学校、旭森小学校、西中学校、東中学校、南中学校のデザインの出現傾向を以下に示す。

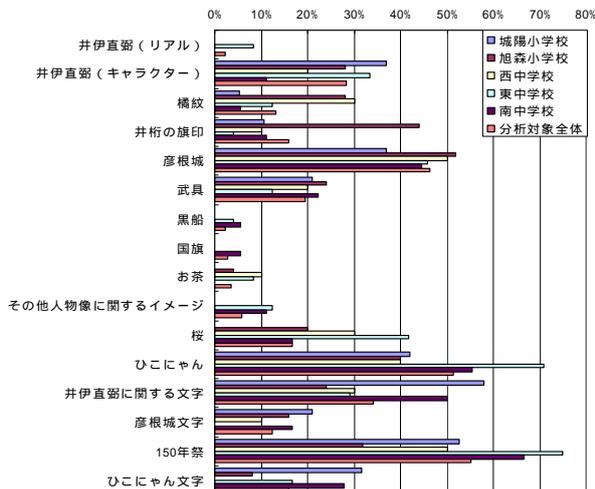


図 1 1 学校ごとのデザインの出現割合

学校ごとの傾向としては、各学校、分析対象全体とのデザインの出現頻度にはあまり差が見られないことから、城陽小学校、旭森小学校、西中学校、東中学校、南中学校で井伊直弼のイメージに差が無いと考えられ、また全体のイメージともあまり変わりがないことから学校ごとの郷土学習における井伊直弼のイメージに差が無いと考えられる。

5. 結論

今回のコンクールで多く出現しているデザインはひこにゃん、ついで彦根城であり井伊直弼のイメージに深く関係していると考えられるが、作品の説明文のタイプごとにデザインを見た際、井伊直弼について井伊家の武具である赤備や、井伊直弼の行った開国、彼の趣味であったお茶などの具体的説明があるものは、ひこにゃんのデザインの出現数が低くなることから、井伊直弼に対し具体的なイメージが無い人にとって、単に彦根のイメージとしてひこにゃんが出現したと考えられる。また赤備や開国、お茶に関するイメージは歴史授業で習うものではなく、郷土学習の受講が大きく関わっているものと考えられる。しかしながら、井伊直弼に対する具体的なイメージの説明文が全体的に少ないことから彦根市の小中学生には井伊直弼の具体的なイメージが乏しいと考えられる。

今後、井伊直弼を用いた郷土学習や、顕彰活動では、出現数が少なかった赤備や、開国、お茶などの文化人としてのイメージを押し出すべきであると考えられる。特に、赤備については、彦根のイメージカラーが赤というものも説明文にあったことから、井伊直弼に対し明確なイメージを持っていないとも、赤色という形で彦根のイメージとして根付いていると考えられるため、赤色を使ったイベントや、井伊直弼の知識、イメージを伝えるのに、有効であると考えられる。

7. 参考文献

- 1) 阿部安成：二代めの肖像と履歴：1954年開国百年の横浜における井伊直弼の銅像、滋賀大学経済学部研究年報，14，49（2007）
- 2) 小学社会 6年上，大阪書籍，72-73（2008）
- 3) 中学社会 歴史的分野，大阪書籍，86-87（2008）
- 4) 小西四郎：日本の歴史19（開国と攘夷），177（2006）
- 5) NHK取材班，前田哲次：その時歴史が動いた(8) NHK取材班・編-検証・桜田門外の変，KTC 中央出版，157(2001)

1.1. 研究の背景

1.1.1. 井伊直弼と彦根市

井伊直弼（1815～1860）は江戸時代末期の彦根藩出身の人物であり、歴史教科書にもその名が掲載されることから全国的にも歴史人物として知られている。2008年は井伊直弼が日米修好通商条約を結び、日本を開国してからちょうど150年目にあたり、これを記念し、彦根市では「井伊直弼と開国150年祭」（以下150年祭と略記）が開催されている。この催しでは、日本を開国に導いた人物として井伊直弼が顕彰されている。

このように、郷土の偉人、また日本を開国したとして顕彰される井伊直弼であるが、戦前はこのような顕彰されることは困難であった。これは直弼が条約調印の際に天皇の勅許を得ず調印したことから、藩閥政府にとっては過去の政敵に過ぎず、違勅の臣として非難されているためである¹⁾。現に1891年ごろに直弼の銅像を建設する計画が立てられたが、当時の内務大臣によって反対されたことや、横浜で1909年に、開港50年祭に合わせて建設された直弼の銅像の除幕式には、神奈川県知事をはじめとする公式人の参列がなく、鉄柵をもって囲まれるまでだった²⁾。



図 1.1. 井伊直弼画像³⁾

1.1.2. 井伊直弼のイメージについて

井伊直弼の業績について教科書や小説などで知られているものとしては、

「日米修好通商条約」を結び日本を開国したこと

13代将軍家定の跡継ぎとして、紀州藩藩主である徳川慶福を跡継ぎとしたこと

安政の大獄にて尊王攘夷運動を起こした人物らを弾圧したこと

桜田門外で暗殺されたこと

などが歴史的に有名である⁴⁾。

また、井伊直弼は「茶・歌・ポン」というあだながあるほど、茶や歌道、鼓、そのほかに国学、蘭学、禅などに長じるといふ、政治家としての面だけではなく、文化人としての一面も持っていたことも知られている⁵⁾。

上記で述べた井伊直弼であるが、そのイメージは人により様々で、条約を結ぶことで諸外国との対立を避けたことから、肯定的に捉えられることもあれば、勅許を得ず不利な条件である条約を結んだこと、安政の大獄で吉田松陰らの有望な人材を罰したことから否定的にとられることもある。現に東京大学資料編纂所所員の小西四郎は「井伊直弼に対する評価は、時により人により極端に変わり、その客観的評価というべきものが確立していない。彼は素晴らしい政治家であり前途を見透かして貿易を開始にふみきったのであろう

か、あるいは極悪非道の政治家であったのだろうか。」⁶⁾と述べている。また、150年祭のホームページにおいても「国を開いた英傑か、はたまた、大粛清を行った悪の親玉か」⁷⁾と述べられている。これらのことから、井伊直弼のイメージは統一されたものが無いと言えよう。

1.1.3. 井伊直弼に関する郷土学習について

前述したとおり、井伊直弼は客観的イメージが確立されていないが、彦根市において、井伊直弼は郷土の著名人であり、彦根城付近の小学校・中学校では郷土学習などで彦根城、彦根城博物館に赴き、井伊直弼について学ぶなど、学習の対象として扱われることがある。その他に、彦根の郷土について取り扱った「彦根かるた」というかるたがあり、その中には井伊直弼に関する札が存在する。彦根市内の小学校・中学校などでは、年末年始などにこのかるたを用い、彦根について学習する他に、かるたの句について学校生徒で調査するなど、井伊直弼について学ぶ機会が存在する。また、今回の150年祭に合わせ、彦根市内の中学校を対象に、彦根城博物館の職員らが学校に出向き、主に井伊直弼の人物像を中心に歴史学習などを行っている。



図 1.2. 彦根かるた井伊の赤備に関する札と井伊家の家紋に関する札 筆者撮影

1.1.4. 市民創造事業「夏休みペロタクシー・デザインコンクール」について

前述した150年祭の企画課では、150年祭をより盛り上げるため、新たな直弼像の発信のために、市民創造事業として、彦根市民等で構成される団体の発案でイベントが行われている⁸⁾。この市民創造事業の一環として、2008年8月1日から10月10日まで「夏休みペロタクシー・デザインコンクール(以降コンクールと略記)」が開催された。このコンクールは彦根市内の小学生・中学生を主対象に、滋賀県内の小学生・中学生・高校生を対象

としたコンクールで、井伊直弼のイメージ画を、ペロタクシーのペーパークラフトにデザインし応募するというものである。このコンクールを通して応募者に井伊直弼について関心を持ってもらうこと、またペロタクシーを通して井伊直弼を多くの人に知ってもらうことが目的である。



図 1.3. 応募用ペーパークラフト 筆者撮影

1.2. 先行研究からみる本研究の位置づけ

詳しくは二章で述べるが、井伊直弼に関する先行研究は、大久保や山口らによる、直弼に関する資料から、その人物像、特に跡継ぎとなる前の埋木舎時代での人格形成を明らかにしたものや⁸⁾⁹⁾、安部や佐藤らによる、桜田門外の変で殺害されてからの直弼の銅像をめぐる顕彰の歴史などが主である¹⁰⁾¹¹⁾。これらは、直弼の行った歴史的行動から、その後、直弼がどのように捉えられていったか、また、残された資料から、どのような人物で、いかに開国にいたったか等が対象となっており、井伊直弼自体が地元の地域においてどのようなイメージで捉えられているかは明らかにされていない。しかしながら、このイメージが人によって変わるとされる井伊直弼が、顕彰の対象として、150年祭を初め、彦根城築城400年祭や、前述した郷土学習など、彦根では井伊直弼を郷土の著名人として扱われていることは事実である。

そこで本研究では、コンクールのデザインを分析することで、彦根市における井伊直弼のイメージを明らかにする。デザインからイメージを明らかにした研究としては、近藤の「顔出し看板論」が挙げられる。この研究では、滋賀県内の小学生・中学生・高校生を一般対象に、顔出し看板のデザインを募集するというコンクールを行った。コンクールの内容は滋賀県とその土地にちなんだ「顔出し看板」のデザインに応募するというもので、このコンクールでの応募作品のデザインを、デザインの主対象、副対象、背景、修飾（ロゴなど）、視点に分け、その後、各デザインをカテゴリー分けし、単純集計・クロス集計・クロス集計により滋賀県の地域のイメージキャラクターについて考察を行っている。このコンクールでは井伊直弼のイメージがデザインとして応募されるので、井伊直弼のイメー

ジについて分析することが可能であると考えたためである。また、主対象が井伊直弼に関する郷土学習が盛んである彦根市の小学生・中学生とすることから、郷土学習からどのような井伊直弼に対するイメージを持っているかを明らかに出来る。

1.3. 本研究の目的・意義

本研究の目的は、
井伊直弼の概要を先行研究などから調査することで、井伊直弼の人物像、井伊直弼没後の直弼におけるイメージの変遷を明らかにすること。
コンクールのデザインを分析することで小学生・中学生における井伊直弼のイメージを明らかにすること。
によって得られた人物像、イメージから、どのような差があるかを明らかにすること。

本研究の意義は、
彦根市における小学生・中学生の井伊直弼のイメージを明らかにすることで、今後、井伊直弼に対する郷土学習をいかに進めていくか役に立つこと。
井伊直弼の郷土である、彦根における直弼のイメージを明らかにすることで、今後 150 年祭のような顕彰活動を行う際、井伊直弼をいかに活用していくか模索できること。

以上である。

1.4. 本研究の構成

本研究では、コンクールの応募作品を対象に、手法をデザイン分析として彦根市周辺の小学生、中学生の井伊直弼のイメージを明らかにする。

第一章では、本研究の背景、目的・意義を述べる。なぜ井伊直弼を研究対象とし、なぜコンクールの応募作品を分析するのか、デザインから得られたイメージで何を論ずるのかを述べる。

第二章では、井伊直弼に関する既存研究、本・テレビなどのメディア、教科書などから井伊直弼の歴史、一般にもたれているイメージを明らかにする。また、彦根市の小中学校での郷土学習などから井伊直弼がどのように伝承されているかを明らかにする。

第三章では、本研究の分析方法、デザインコンクールの募集要項・募集状況を述べる。また、コンクール全体の傾向を述べる。

第四章では、対象とするデザインの選択方法、コンクールから得られたデザインの分析と考察を行い、彦根市内で井伊直弼がどのようなイメージであるのかを明らかにする。

第五章では、今後、彦根市の著名人である井伊直弼を生かした街づくりに向けての意見を述べる。分析で明らかとなったイメージを、彦根市の活性にどう役立てていくのか、筆者の意見を述べる。

下記の論文構成で進めることとする。

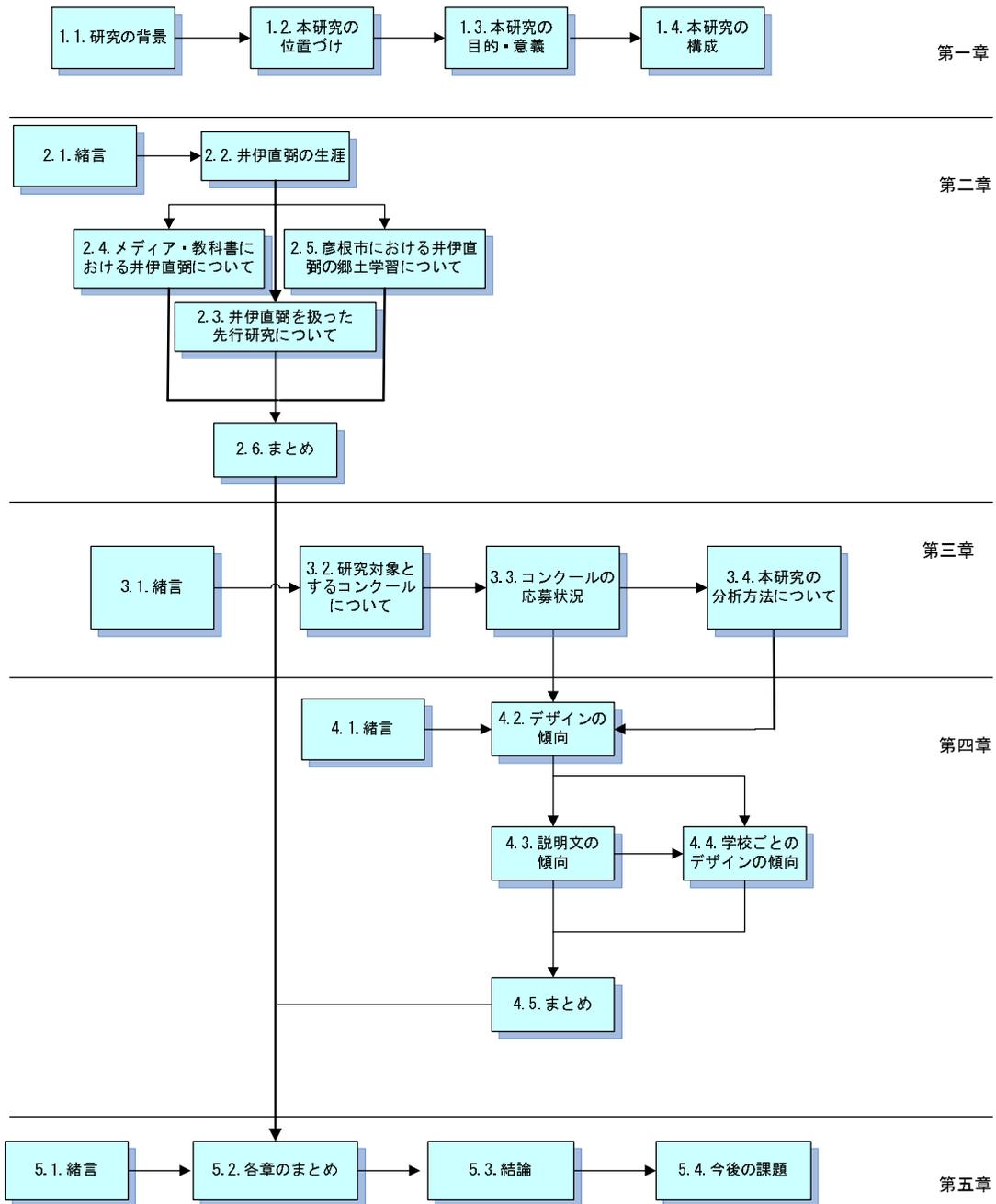


図 1.4. 本研究の構成

【参考文献及び脚注】

- 1) 阿部安成：二代めの肖像と履歴：1954年開国百年の横浜における井伊直弼の銅像，滋賀大学経済学部研究年報，14，49（2007）
 - 2) 阿部安成：二代めの肖像と履歴：1954年開国百年の横浜における井伊直弼の銅像，滋賀大学経済学部研究年報，14，50（2007）
 - 3) Wikipedia < <http://ja.wikipedia.org/wiki/> > 2008-12-05
 - 4) 小西四郎：日本の歴史 19（開国と攘夷），123-179（2006）
 - 5) 大久保治男：文化人・井伊直弼の「埋木舎」における「和歌」と「国学」についての一考察，武蔵野学院大学研究紀要，2，9-22(2005)
 - 6) 小西四郎：日本の歴史 19（開国と攘夷），177（2006）
 - 7) 井伊直弼と開国 - 井伊直弼と開国 150 年祭公式サイト < <http://www.hikone-150th.jp/naosuke/> > ，2008-09-25
 - 8) 大久保治男：文化人・井伊直弼の諸政治決断 将軍継嗣，開国，安政小獄 ，武蔵野学院大学研究紀要，3，9-20（2006）
 - 9) 山口宗之：井伊直弼における若干の問題点，九州文化史研究所紀要，35，77-107(1990)
 - 10) 阿部安成：二代めの肖像と履歴：1954年開国百年の横浜における井伊直弼の銅像，滋賀大学経済学部研究年報，14，53-78（2007）
 - 11) 佐藤能丸：井伊直弼銅像問題，同志社法學，59（2），357-391（2007）
井伊直弼と開国 - 井伊直弼と開国 150 年祭公式サイト < <http://www.hikone-150th.jp/naosuke/> > ，2008-09-25
-

2.1. 緒言

本章では、文献などを調査することにより、井伊直弼が研究や、教科書で、どのように捉えられているかを明らかにすることを目的とする。

2.2. 井伊直弼の生涯

江戸時代末期の人物として知られる井伊直弼は、彦根出身の著名人の一人である。井伊直弼は日米修好通商条約を結び、日本を開国したこと、安政の大獄を行ったこと、桜田門外の変で殺害されたことがよく知られている。

表 2.1.に井伊直弼の年表を示す。

表 2.1. 井伊直弼の年表¹⁾

1815 年(文化 12)	10 月 29 日	井伊直弼誕生
1831 年(天保)	2 月	藩から 300 俵の捨扶持を与えられ、北の御屋敷(埋木舎)に移る
1846 年(弘化 3)		彦根藩の跡継ぎとなり、将軍に謁見
1850 年(嘉永 3)	9 月 28 日	藩主の兄の死去により、彦根藩 35 万石の領主となる
1853 年(嘉永 6)	6 月 3 日	アメリカ艦隊ペリー来航
	6 月 9 日	久里浜にて国書を提出、開国を迫る
	6 月 22 日	将軍家慶死去、13 代は家定に
	6 月 27 日	水戸徳川斉昭、海防の議に参加
	7 月 3 日	斉昭、和するべからざる十条五事の意見書を提出
	8 月 10 日	井伊直弼、諮問に応じてアメリカの処置に関する初度の意見書を提出
1858 年(安政 5)	4 月 23 日	井伊直弼、大老に就任
	6 月 19 日	幕府、日米修好通商条約に調印
	6 月 24 日	無断調印に徳川斉昭、慶篤父子、徳川慶恕、松平慶永ら不時登城
	7 月 5 日	幕府、斉昭に謹慎、慶恕・慶永に謹慎と隠居を命じる
	7 月 6 日	将軍家定死去
	8 月 8 日	孝明天皇、水戸藩に対し勅諭を降下
	9 月 5 日	天皇の勅諭を策謀した反対勢力の逮捕に踏み切る 安政の大獄の開始
	10 月 25 日	家茂 14 代将軍の宣下を受ける
	12 月 30 日	孝明天皇、鎖国猶予の勅書を降下
1859 年(安政 6)	12 月 10 日	幕府、水戸藩に勅諭の返納を求める
1860 年(安政 7)	2 月 15 日	徳川斉昭、勅諭の返納を決める
	2 月 20 日	水戸藩過激派の解散を命じる
	2 月 28 日	矢田藩主・松平信和、水戸藩の暴挙のあることを忠告
	3 月 24 日	井伊直弼、江戸城桜田門外にて暗殺(桜田門外の変)

2.3. 井伊直弼を扱った先行研究について

井伊直弼を扱った先行研究として、大まかに二つのタイプがある。

井伊直弼の人物像に関する研究

井伊直弼没後の顕彰活動に関する研究

以下にその研究の概要を示す。

2.3.1. 井伊直弼の人物像に関する研究

大久保治男：文化人・井伊直弼の「埋木舎」における茶道についての一考察，武蔵野学院大学研究紀要，18，9-20(2004)²⁾

本論文では，井伊直弼の埋木舎時代における茶道と，それに関連する禅についての考察されている．直弼の茶道に関する基本的考え方は当時としては珍しく，埋木舎における質素儉約の生活の中から豊かな心の修行を探求しようとする「侘び茶」であった．また，直弼が13歳にして清涼寺にて禅の修業を行い，印可証明と附偈を受けたことも，茶道「一期一会」，「独座観念」，「余情残心」の考え方を生んだと考えられる．このように直弼の茶道は埋木舎での庶民性，禅宗的背景を有した精神主義を中心とするものであると考えられる．

大久保治男：文化人・井伊直弼の「埋木舎」における「和歌」と「国学」についての一考察，武蔵野学院大学研究紀要，2，9-22(2005)³⁾

本論文では，井伊直弼が世継ぎとなる前の，埋木舎時代における「和歌」と「国学」の修練，国学者・長野主膳との出会いが直弼の人格形成にどのように影響しているか述べられている．直弼の歌道は，茶道・禅の修練が深く関わっていることが，直弼の残した和歌から読み取ることができる．また国学者・長野主膳との出会いは埋木舎時代で，会ったその日に三日三晩話し合うほど意気投合し，後の安政の大獄においては，主膳に京都での情報を集めさせるなどの役割を負わせた．このときの主膳は井伊大老の権限をもって「京都の大老」，「陰の大老」と言われるほどの権力を持っていたとされる．

大久保治男：文化人・井伊直弼の諸政治決断 将軍継嗣，開国，安政小獄，武蔵野学院大学研究紀要，3，9-20(2006)⁴⁾

本論文では，井伊直弼の「日米修好通商条約」，「将軍継嗣問題」，その前後における行動の経緯を，直弼の生い立ち，当時の手紙のやり取りから考察している．

井伊直弼は彦根11代藩主，井伊直中の14男として生まれたため，「お世継ぎ」ではなかった．また，養子として貰い手がなかったため，城を出て17歳から32歳に至るまで，彦根城の近くに位置する埋木舎にて不遇の生活をおくる．ここで直弼は茶道（茶室樹露軒にて「一会集」を就筆，一期一会の言葉を世に広め，独座観念の一派をなすほどの腕前），歌道，能，さらに，国学，蘭学，書，画，湖東焼，楽焼，禅，仏教などを学んでいた．また，弓，剣道，居合，柔術などの武道にも練達していた．

この埋木舎での，文武両道の修練による人格形成，庶民としての貧困の生活が「日米修好通商条約」，「将軍継嗣問題」の二大局面を解決に導く上で，役に立っていると考えられる．特に，開国にいたっては，当時のアジア諸国がアメリカ，ロシア，ヨーロッパ諸国に植民地化されていたことから，諸外国と戦乱を起こしては，同じ末路になると予想しており，国際協調，平和主義の政治決断を下した．

しかし、直弼のこの行動に対する反井伊派を弾圧するに当たって、「安政の大獄」で吉田松陰などを処罰、また反井伊派だけでなく、幕府の開国に活躍した者にまで処罰が発展したことは、生まれつき的大名や政治のプロでなく、急に権力の座についた素人的権力者の要素があったと思われる。

大久保治男：井伊直弼の「将軍継嗣問題」に対する態度と決断，武蔵野学院大学研究紀要，21，9-14（2007）⁵⁾

本論文では、井伊直弼が、将軍継嗣問題に対しどのような考えから、どのような決断を下したかが述べられている。将軍継嗣問題は、徳川家 13 代将軍家定が、病弱で子どもいなかったことで、跡継ぎを見つけることは、当時の政治的緊急課題であった。その候補者として、最も血筋に近い紀州藩主・徳川慶福と、英明、人望、年齢的に相応である徳川斉昭の子ども一橋慶喜とがあがっていた。これに対し井伊直弼は、徳川慶福を選ぶのが当然と考えていたとされており、これは直弼が埋木舎時代での禅の修業から君臣観から出ているものと考えられる。また、慶喜を将軍継嗣にすることで、慶喜の実父である水戸斉昭が政権を握ろうとしたことを問題視したためである。後に直弼が大老に就任したことを機に、慶福を将軍継嗣に決定する。

山口宗之：井伊直弼における若干の問題点，九州文化史研究所紀要，35，77-107(1990)⁶⁾

井伊直弼については島田三郎「開国始末 - 井伊直弼伝」や吉田常吉「井伊直弼」などにより研究され、直弼が「安政の大獄」が権力的であったから行われたものでなく、物事を深く執着したゆえの結果であると見解を示している。

本論文では、直弼が藩主就任前の埋木舎時代について、また、大名跡継ぎが決定してから、安政の大獄に至るまでの 8 年間について、直弼の人物像を考察している。埋木舎時代では浄土真宗本願寺派福田住職にあてた 55 通の手紙の内容から、仏教的世界に傾倒しており、これが物事に深く執着する性格に基づいていると考えられる。また、この直弼の思想傾倒は仏教否定・軽視傾向の当時の武士一般の中では、かなり特異であったと結論を出している。また、大名跡継ぎが決定してから以降の大名間でかわした 177 通の書状のあて先の 75%が幕府役職者であり、一般譜大名との書状往復がほとんど見られないことは、直弼が大名間における交流世界が弱く狭いで、あったと考えられ、側近の長野主膳、宇津木六之丞らの進言によってのみ事を進言していたのではないかと結論を出している。

浅野二郎,仲 隆裕,藤井英二郎:わび茶と露地(茶庭)の変遷に関する史的考察 その 2:

庸軒・直弼にみる原点復帰への動き,千葉大学園芸学部学術報告,37,69-78(1986)⁷⁾

贅と華美を志向とする大名茶の流れから、井伊直弼はわび茶という原点への回帰を提唱しているのが直弼の資料から見てとれる。

本論文では、直弼の茶と茶庭のあり方について検討されている。直弼は 17 歳から 32 歳

の15年の間、自ら埋木舎と名づけた邸で生活する。この15年間にわたって文武両道の修行に努めた。直弼は茶の湯の手ほどきを片桐宗猿にうけ、さらに自己の一派を開くにまでいたる。直弼の茶は石州の茶を流祖としており、茶の所作においては石州流に依存しているが、その精神は利休から立花実山に連なる立場を取っている。

直弼の茶室は廊下の一部を改装したもので質素なもので、また露地（茶室）が存在しない。これは、茶において露地の意義が希薄になったために省略につながったと考えられる。

2.3.2. 井伊直弼没後の顕彰活動に関する研究

阿部安成：故井伊直弼を考課する：直弼五十回忌までの歴史批評 岩崎恵一教授退職記念論文集，彦根論叢，371，47-78（2008）⁸⁾

本論文では彦根市での井伊直弼の五十回忌に到る直弼の顕彰と記念が、どのように展開したかについて述べられている。直弼が暗殺されて間もない頃は、追罰が彦根藩にも及ぶ可能性があり、直弼の死後、追慕・顕彰を行うのは困難であった。しかしながら没後2年の1862年には彦根で供養塔が建てられたことが記録として残っている。また、1881年の建碑運動、1886年の誕生祭、なども確認されている。

年忌法要としては先に上げた供養塔の建立は三回忌の記念の意味があり、建碑運動にいたっては二十三回忌に向けての検証事業だったといえる。しかし、七回忌、十三回忌についての資料はない。没後30年や40年後を記念されたことも記録として残っており、年忌法要の1つの区切り三十三回忌では彦根周辺にも広がるおおきな祭典として実施された。誕生祭も1886年から1910年まで、毎年11月29日に誕生祭が行われた記録があり、また五十回忌では、直弼の慰霊祭、「開国元勳」としての顕彰、井伊家を題材とした教育資料の展示が行われた。これに合わせ、直弼の銅像建設委員会ができたものの、その五十回忌には建てられなかったものの、翌1910年に銅像の建設に至った。

このように直弼の五十回忌までの顕彰活動は行われてきたのであるが、彦根市史などではその記録が残っていなく、単なる記録的考察しか行えないのが現状である。

阿部安成：二代めの肖像と履歴：1954年開国百年の横浜における井伊直弼の銅像，滋賀大学経済学部研究年報，14，53-78（2007）⁹⁾

現在、横浜に存在する井伊直弼の銅像は再建された二代めの銅像で、初代は戦時中に銅鉄回収によって、一時存在しなかった。本論文では、銅像の再建がその後、どのような出来事をもたらされたのかについて述べられている。

最初に建てられた銅像は、横浜開港50年祭を期して、1909年に横浜で建設された。しかし井伊直弼は違勅の臣として、政府部内の有力候補に反対され、除幕式と記念式典とは切り離された。神奈川県知事などの公式人の参列を取りやめ、銅像は鉄柵をもって囲まれるに至る。しかしその後、横浜では絵葉書や挿絵の形で横浜の市街に登場することとなり、祭典をとおして直弼の事績が顕彰され、横浜では「開国の恩人」となったといえる。

銅像が再建されたのは、1954年のことで、この年は、ペリー来航、とその翌年 1854 の和親条約調印から数えて 100 年となることから、いくつかの都市で開国 100 年祭が開催される年となった。

小林隆,阿部安成：経済学部ワークショップ Texture in Cultural Backyard2(第 1 回) 井伊直弼という歴史,彦根論叢, 370, 223-225 (2008) ¹⁰⁾

本論文では、開国の偉人と賞賛されるか、あるいは国賊と非難されるか評価の分かれる井伊直弼について、その顕彰や記念がどのように行われてきたかが述べられている。井伊直弼の名誉回復の歩みは、3つの時期に分けられ、第1期は1880年代、第2期は1890年代から1940年代まで、第3期は1960年代と分けられる。第1期においては旧彦根藩士など、井伊直弼にゆかりのある人物が、記念碑建立運動や誕生際実施などで、直弼の思いを広く伝えようとした。第2期では1888年の島田三郎の「開国始末」の刊行に始まる、中村勝麻呂の「井伊大老と開港」(1909)、北村寿四郎の「世界の平和を謀る井伊大老とハリス」(1934)の公刊、また、井伊直弼朝臣顕彰会(1939)、彦根史談会(1941)、井伊大老史実研究会(1948)の活動など、資料の整理や収集などが行われたことによる、直弼の史実が明らかになった。第3期は「大老開港 100 年祭」の実施や、NHK大河ドラマ「花の生涯」の放映により、井伊直弼の名誉回復が行われた。またこの人気は井伊直弼の資料の調査や研究が進められるまで至る。

2.3.3. その他井伊直弼に関する文献

市川浅司：幕末期における井伊直弼をどのように指導していくか,歴史教育,14(12), 93-98 (1966) ¹¹⁾

郷土の偉人、井伊直弼を取り扱うにあたって、どのような角度から、どういった教材が必要かを明らかにするため、中学校生徒1~3年生までにアンケートを行い、生徒が井伊直弼をどこまで知っているかが述べられている。調査の結果から、生徒の知識は学年が低いほど歴史事象を断片的に捉えている面が多かった。現に井伊直弼の好きか嫌いかというアンケートで、1年生では単純に「郷土の人物だから好き」という意見が多く、2,3年生になると「世界に目を向けた先取的思考をもっていた」という理由で好きという意見や、「日本に不利な条約を結んだ」、「吉田松陰らの偉人を殺した」ため嫌いという理由が多くなった。またこのような好嫌の度合いを調べておくことが、学習指導をする上で重要な条件の一つとなると述べている。

2.3.4. 一般誌における井伊直弼のイメージについて

大前研一：井伊直弼に似ていないか, Voice, 283, 86-89 (2001) ¹²⁾

この雑誌では、当時の政治家を揶揄するに当たって、具体的政策がないことから、井伊直弼と同じく、その政治家を評価している。ここでの井伊直弼は改革の考え方や発言は正

しいものがあるが、吉田松陰らの殺害で、自らも命を落としたことが徳川幕府を滅ぼす原因を作ったと非難されている。

猪瀬直樹：井伊直弼と日米修好通商条約，プレジデント，39（6），64-71（2001）¹³⁾

この雑誌では、井伊直弼が、先を見据えた上で開国を行い、また安政の大獄においても、国内の治安を維持するためのものでの確であった。日本を鎖国から開国を行うという決断を一人で下したことは、与えられた責任から逃れず、日本国のために一身をささげた偉人と賞賛されており、今の日本の経営者や、ビジネスマンにあって欲しい姿としている。

2.3.5. 歴史小説・ドラマにおける井伊直弼のイメージについて

花の生涯 NHKドラマ（1963）

このNHK大河ドラマ第1回放送の作品であり、前述の同小説をドラマ化したものである。井伊直弼を主人公とし、埋木舎時代から大老、そして桜田門外の変で命を落とすまでを書いた作品である。主な登場人物に登場する。この小説がNHK大河ドラマとして放送され、その人気は彦根城に観光客が押し寄せるほどであった。またそれにより、井伊直弼に関する研究が進められるまでであった¹⁴⁾¹⁵⁾。近年の大河ドラマと違い、脚本が原作と大幅に違うということが無く、小説に忠実な作品である。そのため、井伊直弼のイメージは同じく肯定的イメージで捉えられている。

翔ぶが如く NHK大河ドラマ（1990）

第28回NHK大河ドラマで、直弼は第一部の第八回から十四回にかけて登場し、いち早く世界に目を向けていた薩摩藩を疎ましく感じており、正面からの衝突を繰り返していた。早口で他大名を圧倒し、伝統と格式ばかりに捕われ、反対派の暗殺も辞さない大老となっている¹⁶⁾。このことから、否定的イメージで描かれているといえる。

船橋聖一：花の生涯 新装版(上・下)，祥伝社文庫(2007)

1952年から1953年にかけて毎日新聞にて連載されていた井伊直弼を主人公とする小説である。井伊直弼が大老就任前、埋木舎時代からの井伊直弼について、また、安政の大獄の際に、直弼の右腕となり、京都で情報を集めた長野主膳や、同じく京都で情報を集めた村山たかなどを中心に書かれている。当時、井伊直弼は違勅の臣とする否定的イメージが強かったのに対し、小説では、開国を迫られた日本に対し、先を見据え開国をするという肯定的イメージで捉えられている。また、この今までの視点と違う井伊直弼のイメージが人気につながったとされている。

篤姫 NHKドラマ（2008）

第47回のNHK大河ドラマで、主人公は江戸幕府13代将軍・徳川家定の正室である篤

姫である。このドラマでは井伊直弼は同時代に生きた歴史人物として登場する。このドラマの中で直弼は毒々しいキャラクターで演じられており、安政の大獄により、主人公・庄姫と対立する模様が描かれている。しかし桜田門外の変直前に、安政の大獄等の行動は自身の信念からの行動であるとの考えを篤姫は知り、直弼を認めるシーンもあることから直弼の肯定的側面が描かれることは無いが、否定的側面においても美化されて描かれている。

2.4. 彦根市における井伊直弼の歴史の教材について

2.4.1. 彦根かるたについて

彦根の郷土学習の教材一つとして、「彦根かるた」という彦根の郷土を取り扱った、かるたが存在する。このかるたは1983年に彦根少年少女ふるさと研究会が製作したもの²¹⁾で、かるたには、彦根に関する句、絵、絵札にまつわる内容が示されている。現在でも、彦根史内の小学校では、学校・学年・クラスでは差があるものの、年末年始にはかるた遊びをする時間が設けられる。本論文では、このかるた遊びは、担任の先生や、学校の先生の方針で大きく左右されるので、各学校での実施状況は把握できていない。

彦根かるたの句と井伊直弼と関係のある札、札の内容説明を紹介する²²⁾。

表 2.2. 彦根かるたの句

井伊直弼に関する札	句
	いろは松 土佐の産湯を あびてくる
	ろうか橋 戦になれば 落し橋
	春の城 梅と桜の 香ににおう
	西に湖 東に鈴鹿の 金亀城
	法界坊 江戸の思いを 鐘によせ
	堀や門 むかしをしのぶ 武家屋敷
	通りゆく 芹川堤に けやきの木
	ちょうなめが 古さを語る 太鼓門
	りりしさを きたえ育てた 弘道館
	ぬれぎぬに うらみは深し 皿の数
	留守居役 桜田門の 知らせを聞く
	あふみの海 磯うつ波の幾度か 御代に心をくだきぬるかな
	渡りきし 文化の足場 荒神さん
	笠塚に 芭蕉しのぶ 明照寺
	夜明け前 鐘鳴り響く 時報鐘
	高宮布 背負うて渡る 無賃橋
	歴代の 藩主に直の 字を伝え

	そのむかし 群家のあった 河瀬の地
	着見台 着見と月見の 見張り櫓
	年一ど 市民がくり出す 城まつり
	中山道 宿場は高宮・鳥居本
	羅漢仏 おもかげしのぶ 天寧寺
	むかしより 仏壇・バルブの地場産業
	埋れ木の舎に 偉人の あとしのぶ
	井伊大老 鎖国のかべを 打ち破る
	野田山に 舟の神あり金毘羅宮
	従来に 巡礼行きかう 彦根寺
	黒門と 赤門のこす 宗安寺
	弥生式 文化遺跡の 西今町
	松原の 内海にかかる 百間の橋
	玄宮園 近江八景の 縮図なり
	普光寺 磯石をのこす 広浜の宮
	ごぼう積み 店主を支えて 四百年
	絵姿に 四季の花咲く 彦根屏風
	伝説に のこる 稲葉の 白うさぎ
	赤備え 直政武勇の 関ヶ原
	佐和山城 五層の天守と 人はいう
	鬼門よけ お城を守る 弁財天
	雪景色 佐和口多聞の 美しさ
	めずらしい 出山釈迦あり 多景の島
	水攻めの 歴史にのこる 肥田城址
	城内に のこる馬屋 こけらぶき
	ゑびす講 にぎわう街に 小雪まう
	秀吉の 城から移した 天秤櫓
	もり上がる 大藪おどりは ヨイトコセー
	製糸所の 歴史を語る 平田川
	摺針の 茶屋と大杉 望湖堂
	彦根に学び 彦根に育つ ふるさと研究友の会

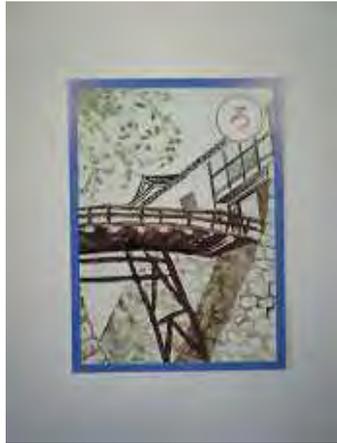


図 2.1. ろの札 筆者撮影

歌：ろうか橋 戦になれば 落とし橋
 内容：彦根城には城の表門と，構造上の大手門があり，敵軍の侵略の際の，敵同士がぶつかる仕組みとなっている．



図 2.2. りの札 筆者撮影

歌：りりしさを きたえ育てた 弘道館
 内容：直弼が藩主のときに，砲術指南，医学，数学，西洋兵学，天文，地理などが教授されるようになった．現在は金亀会館として使用されている．



図 2.3. るの札 筆者撮影

歌：留守居役 桜田門の 知らせ聞く
 内容：直弼は大事を防ごうと，心ならずも安政の大獄を行う．しかし，1860年3月心無き人々のためにあえない最後をとげた．



図 2.4. をの札 筆者撮影

歌：あふみ(おうみ)の海(み) 磯うつ波の幾
 度か 御世に心を くだきぬるかな
 内容：1980年1月直弼は自信の肖像画を描かせ，自ら賛をしてこの歌を書き，主義行の師であった，清涼寺の仙英禅師におくった．



図 2.5. よの札 筆者撮影

歌：夜明け前 鐘鳴り響く 時報鐘
 内容：彦根城築城の際に作られた鐘で，時刻を知らせる．桜田門外の変の知らせに早鐘がつかれた．今もかわらぬ響きのなかに，時代を告げ続けている．



図 2.6. れの札 筆者撮影

歌：歴代の 藩主に 直の字を伝え
 内容：井伊家に代々伝わる名前の文字で，時代に直撃に正対する藩主のあり方は字義の通りである．



図 2.7. らの札 筆者撮影

歌：羅漢仏 おもかげしのぶ 天寧寺
 内容：直弼供養塔，長野主膳の墓がある寺の仏像，彦根を一望する天寧寺にある．



図 2.8. うの札 筆者撮影

歌：埋れ木の舎に 偉人の あとしのぶ
 内容：直弼が埋木舎に 13 歳で入り，仏法に帰依したこと，茶道・華道・国学・洋学・居合いに明け暮れたこと，この経験が開国の大決断につながった．



図 2.9. みの札 筆者撮影

歌：井伊大老 鎖国の壁を 打ち破る
内容：直弼は、幕末の激動の中、世界の動きと国の将来を見通し、1858 に日米通商条約を結ぶ。これが日本の開国である。



図 2.10. けの札 筆者撮影

歌：玄宮園 近江八景の 縮図なり
内容：直弼誕生の地で、近江八景に模しているの、別名、八景亭。

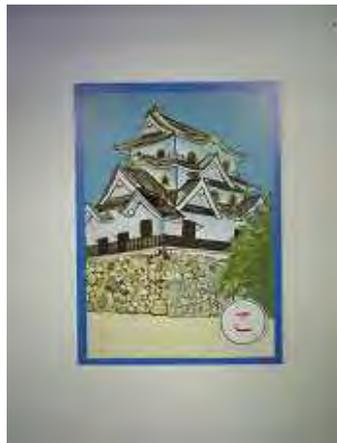


図 2.11. この札 筆者撮影

歌：ごぼう積み 天守を支えて 四百年
内容：天守台は家康の実子、松平薩摩守忠吉によって積まれた。下に石の大きい面を入れて、くるわないようにし、薄いがうまく処理できるように工夫されている。



図 2.12. あの札 筆者撮影

歌：赤備え 直政武勇の 関が原
内容：徳川家の先鋒井伊直政は突撃の名將で、具足・指物・馬具・鎧等はすべて赤を用いた。

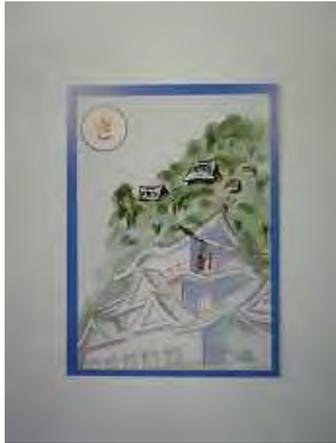


図 2.13. き の 札 筆 者 撮 影

鬼門よけ お城を守る 弁財天
内容：彦根城 4 代藩主直興により作られた。
彦根城の鬼門に当たる大洞に弁財天を建立，
安全を祈願した。弁財天堂は重要文化財に
指定されている。



図 2.14. ゆ の 札 筆 者 撮 影

歌：雪景色 佐和口多聞の 美しさ
内容：佐和口は中山道鳥居本宿から彦根城
への入り口で，桜，新緑も美しいが，雪景
色は特に美しい。

彦根かるたにおいて、井伊直弼のイメージを取り上げられている内容が、あの札のように、先を見据え開国を行ったことや、るの札では安政の大獄が、日本の将来のためにはやむを得ないものでなく大獄をおこなったこと、桜田門外の変にて不遇の死を遂げたことなどが上げられている。このことから彦根かるたにおいて井伊直弼が歴史教科書などに比べると肯定的イメージで捉えられているといえる。

2.4.2. 150年祭 歴史学習について

彦根市内の全中学校で、150年祭に合わせた、歴史学習が行われており、コンクールの開催中は、鳥居本中学校の全生徒（約80名）、稲枝中学校の2年生（約130名）、西中学校1年生一部を除く全生徒（約220名）、南中学校（約210名）がこの授業を受けた。

各学校の授業の内容を示す。

・鳥居本中学校

実施日：2008年7月15日

時間：60分

講師：彦根市教育委員会文化財課 谷口徹

配布資料：片面A3プリント1枚

生徒数：全学年約80名

内容：

- ・ 佐和山城と鳥居本について
- ・ 中仙道と鳥居本の関係について
- ・ 井伊直弼の生涯について
- ・ 文化人についての井伊直弼（どのようなものに興味を持っていたか）

・稲枝中学校

実施日：2008年7月16日

時間：70分

講師：彦根城博物館 渡辺恒一

配布資料：両面A4プリント2枚

生徒数：2年生約130名

内容：

- ・ 井伊直弼の紹介（彦根藩の領土の広さの説明）
- ・ 直弼の生い立ちの説明
- ・ 直弼の性格の説明（埋木舎について、柳の木が好き、直弼の性格、苦手なもの）
- ・ 直弼と稲枝の関係について
- ・ 日米修好通商条約の調印について（条約までの経緯、条約の内容）

- ・ 条約から起きた争いについて

- ・ 西中学校

実施日：2008年9月16日（3年生）, 17日（2年生）, 18日（1年生一部）

時間：50分

講師：彦根市史編さん室 井伊岳夫

配布資料：両面A4プリント2枚

生徒数：3年生約70名, 2年生約90名, 1年生約60名

内容（3日ともすべて同じ人が講師として呼ばれ, 同じ内容を話した）:

- ・ 井伊直弼の生い立ちの説明
- ・ 埋木舎での暮らし（何を学んだか）
- ・ 直弼が藩主になる
- ・ 大老となった井伊直弼について（条約調印, 安政の大獄, 桜田門の変についての説明）
- ・ 直弼と弘道館についての説明

- ・ 南中学校

実施日：2008年9月18日

時間：50分

講師：彦根市史編さん室 小林隆

配布資料：両面A4プリント2枚

生徒数：約210名

内容：

- ・ 江戸時代について（当時の政治システムについて, 鎖国について）
- ・ 井伊直弼の生涯について（条約調印, 安政の大獄, 桜田門外の変の説明）
- ・ 井伊直弼がもたらした開国についての説明

以上の歴史学習が彦根史内の中学校で行われた, 全体としては, 井伊直弼の生い立ちや, 何をしたかが述べられていたが, 稲枝, 鳥居本中学校は, 彦根城から離れているので, その地域と井伊直弼の共通点が話されていた。

全体としての井伊直弼のイメージは, 彦根かるたと同様に肯定的に扱われており, 日本の将来を見据え開国に至ったことや, 井伊直弼が勤勉であり, 様々なものに興味を持っていたことなどがイメージとしてあげられている。

2.5. 文献のまとめ

本章では, 井伊直弼に関する様々な文献から井伊直弼に関する人物像, 顕彰活動の変遷, どのようなイメージで伝えられているかを整理した。そのまとめとしては以下である。

・先行研究のまとめ

以上の先行研究をまとめると、研究の上で井伊直弼は一般的に、

- ・ 吉田松陰らの偉人を安政の大獄で弾圧したこと

- ・ 勅許を得ず不利な条約を結んだことから

否定的イメージでとらわれがちで、またその人物像としても、強引に物事を進めることから権力者としてのイメージが強いとされている。

井伊直弼の人物像を言及した研究では、

- ・ 直弼のバックグラウンドには埋木舎での質素な生活、また禅を極めたことによる平和主義的人物であったこと

を明らかにしている。また、井伊直弼は条約調印に当たって、

- ・ 必ずしも調印すなわち開国に賛成していたわけではなく、その後の日本のことを考え、やむなく結んだ。

- ・ 直弼は反尊王論者としてとらわれがちであるが、条約調印の際、調印をもらおうとしたのは直弼の提案であり、将軍継嗣問題でも血縁の近い徳川慶福を選んだことなどの考えは、禅に基づく修行が起因していると考えられる。

また、直弼の行った政治は先を見据えたもので、正しかったということが出来るが、

- ・ 直弼の安政の大獄で、吉田松陰らを殺害したことや、また開国に一役買った、老中などの処罰を国学者である長野主膳との情報だけで決定したことなどは、政治家としては素人だったといえる

井伊直弼殺害後の彼の顕彰活動については、

- ・ 幕末は、顕彰が困難であった

- ・ しかし、1881年には井伊直弼の記念碑建立運動や、誕生祭などを実施することで、直弼の顕彰を行おうとしたこと

- ・ 1888年の島田三郎による「開国始末」や、中村勝麻呂の「井伊大老と開港」(1909)の刊行により、直弼に関する忠実が明らかになったといえる

・小説、ドラマ、教科書における文献のまとめ

文献などからは伺える井伊直弼のイメージは、花の生涯などのように井伊直弼のイメージがそれまでの井伊直弼のイメージと違うことなどから、人気が出るというケースが存在したが、ドラマなどでは否定的イメージが強くでるようなキャラクターが存在し、教科書などでは、井伊直弼に関する記述が、開国を行ったという記述が無いことや、安政の大獄や、それによる桜田門外の変での殺害などの記述から、その井伊直弼の開国を行ったという功績よりも、安政の大獄での弾圧を行ったという否定的イメージが強いと考えられる。

・彦根かるた，郷土学習まとめ

彦根市で活用されている彦根かるたや，150年祭に合わせて行われている歴史学習から伺える井伊直弼のイメージは教科書での井伊直弼のイメージと対照的に，開国を行ったことや，大老に就任する以前は禅や茶などに没頭したこと，安政の大獄がやむをえないものとされることから，井伊直弼のイメージが教科書などに比べ，肯定的イメージが強いと考えられる．

【参考文献及び脚注】

- 1) NHK 取材班, 前田哲次: その時歴史が動いた(8) NHK 取材班・編・検証・桜田門外の変,KTC 中央出版, 157(2001)
- 2) 大久保治男: 文化人・井伊直弼の「埋木舎」における茶道についての一考察, 武蔵野学院大学研究紀要, 18, 9-20(2004)
- 3) 大久保治男: 文化人・井伊直弼の「埋木舎」における「和歌」と「国学」についての一考察, 武蔵野学院大学研究紀要, 2, 9-22(2005)
- 4) 大久保治男: 文化人・井伊直弼の諸政治決断—將軍継嗣, 開国, 安政小獄—, 武蔵野学院大学研究紀要, 3, 9-20 (2006)
- 5) 大久保治男: 井伊直弼の「將軍継嗣問題」に対する態度と決断, 武蔵野学院大学研究紀要, 21, 9-14 (2007)
- 6) 山口宗之: 井伊直弼における若干の問題点, 九州文化史研究所紀要, 35, 77-107(1990)
- 7) 浅野二郎, 仲 隆裕, 藤井英二郎: わび茶と露地(茶庭)の変遷に関する史的考察—その 2: 庸軒・直弼にみる原点復帰への動き, 千葉大学園芸学部学術報告, 37, 69-78(1986)
- 8) 阿部安成: 故井伊直弼を考課する: 直弼五十回忌までの歴史批評 (岩崎恵一教授退職記念論文集, 彦根論叢, 371, 47-78 (2008)
- 9) 阿部安成: 二代めの肖像と履歴: 1954 年開国百年の横浜における井伊直弼の銅像, 滋賀大学経済学部研究年報, 14, 53-78 (2007)
- 10) 小林隆, 阿部安成: 経済学部ワークショップ Texture in Cultural Backyard2(第 1 回)井伊直弼という歴史, 彦根論叢, 370, 223-225 (2008)
- 11) 市川浅司: 幕末期における井伊直弼をどのように指導していくか, 歴史教育, 14 (12), 93-98 (1966)
- 1) 大前研一: 井伊直弼に似ていないか, Voice, 283, 86-89 (2001)
- 2) 猪瀬直樹: 井伊直弼と日米修好通商条約, プレジデント, 39 (6), 64-71 (2001)
- 3) 小林隆, 阿部安成: 前掲書, 彦根論叢, 370, 223-225 (2008)
- 4) 笠原一男, 吉田常吉: 大老・井伊直弼—現代に生きる日本史の群像(座談講成), 8 (1), 198-209 (1965)
- 5) 井伊直弼と開国 150 年祭公式サイト < <http://www.hikone-150th.jp/naosuke/media/> > 2008-12-5
- 6) 小・中・高校教育に関すること(学習指導要領)文部科学省
< http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/youryou/main4_a2.htm > , 2008-12-05
- 7) 小・中・高校教育に関すること(学習指導要領)文部科学省
< http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/youryou/main4_a2.htm > , 2008-12-05
- 8) 小学社会 6 年上, 大阪書籍, 72-73 (2008)
- 9) 中学社会 歴史的分野, 大阪書籍, 86-87 (2008)
- 10) 中日新聞(滋賀), 1983-12-24, 朝刊 19 面
- 11) 久保田弥一郎, 井伊文子: 彦根かるた, 郷土資料刊, 7 (2006)

3.1. 緒言

本章では、本研究の分析方法、デザインコンクールの概要、募集要項を述べる。

3.2. 研究対象とするコンクールについて

3.2.1. コンクールの概要

今回の研究の対象とするコンクールは、150年祭における市民創造事業の一環で、井伊直弼と開国150年祭の基本理念である「新たな直弼像の発信」を目的とし、直弼や開国を切り口としたイベントである。

主催は2007年より彦根城付近でベロタクシーを運行している特定非営利活動法人五環生活で、後援として彦根市、彦根市教育委員会、滋賀県、滋賀県教育委員会、協賛として文具のヤマモト株式会社、そして、研究を進めるために共催として滋賀県立大学環境科学部近藤研究室となっている。

事業の内容は、井伊直弼のイメージデザインをコンクールするというもので、ベロタクシーのペーパークラフトにデザインを描いてもらう。コンクールで最優秀となった作品は、その作品のデザインが実際のベロタクシーにラッピングされる。これは、ベロタクシーが街中での動く広告メディア(図3.1.)として有効である¹⁾ため、コンクールを行うことが可能であると考えたためである。目的としてはコンクールを通して応募者に井伊直弼について関心を持ってもらうこと、またベロタクシーを通して井伊直弼を多くの人に知ってもらうことである。

コンクールの応募者に配布したものはベロタクシーのペーパークラフトA3(図3.3.)、応募用チラシである(図3.4.図3.5.)。



図 3.1. ベロタクシー²⁾

井伊直弼と開国150年祭

VEL'Q TAXI
HELIXE FUTURE

夏休みペロタクシー・ デザインコンクール

きみがデザインした
ペロタクシーがまちを走るよ!

彦根市では現在、「井伊直弼と開国150年祭」
が開催されています。彦根城周辺でペロタク
シーを走らせている五環生活では、これを記
念した提案事業として、井伊直弼をイメージし
たデザイン画のコンクールを企画しました。ユ
ニークで楽しいデザインをお待ちしています!

募集
要項

●応募期間

2008年8月1日(金)～10月10日(金)
※学校応募の場合は、学校の指示に従ってください。

●募集対象

滋賀県内に在学・在住の小学生・中学生・
高校生

●応募費用

無料(ただし、応募にかかる一切の費用は
応募者の負担とさせていただきます)

◆注意事項

- ・応募作品は返却しません。
- ・応募作品の著作権は、主催者側に帰属します。
- ・ペロタクシーにフルラッピング(デザイン画シールを貼ること)する際に、若干の修正を行うことがあります。

●応募内容

井伊直弼についてあなたがイメージすることを、
ペロタクシーの車体デザイン画として描いてくだ
さい。(詳しくは裏面参照)

●結果発表・展示会

日時:2008年11月26日(水)～28日(金)
場所:彦根市役所1Fロビー
結果発表および応募作品展示会を開催します。



からだからはじめる。
暮らしを見なおす。
もっと楽しく。

主催:特定非営利活動法人五環生活
〒522-0063 滋賀県彦根市中央町1-12
Tel & Fax:0749-26-1463
mail@gokan-seikatsu.jp
http://gokan-seikatsu.jp/

共催:滋賀県立大学環境科学部近藤研究室
後援:彦根市、彦根市教育委員会、滋賀県、
滋賀県教育委員会(申請中)
「井伊直弼と開国150年祭」市民創造事業
協賛:文具のヤマモト株式会社

図 3.4. コンクール募集チラシ表面

夏休みペロタクシー・デザインコンクール

最優秀賞・1作品

実際のペロタクシー1台にフルラッピングして、まちなかを走行します。
 走行期間：2008年12月1日（月）～12月25日（木）

優秀賞・2作品

賞品

- 最優秀賞 ペロタクシー2名60分乗車無料チケット
- 優秀賞 ペロタクシー2名60分乗車無料チケット
- 応募者全員（最優秀、優秀賞受賞者を除く。応募者1名につき1枚） ペロタクシー乗車割引チケット

★入賞作品（最優秀賞・優秀賞）は決定次第、五環生活ホームページで公開します。http://gokan-seikatsu.jp

審査基準

以下の項目を基準に審査します。

テーマ性

井伊直弼のイメージと合っているか

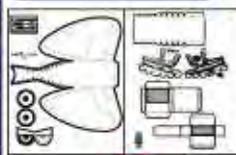
独創性

独自の、オリジナルティがあるか

メッセージ性

多くの人に伝わるか

作品製作から提出まで



応募完了!!

- ①応募用ペーパークラフトを入手してください。
 ・学校団体応募の場合…学校からもらってください。
 ・個人応募の場合…五環生活にお問い合わせください。
- ②応募用ペーパークラフト紙に、井伊直弼についてイメージすることを、ペロタクシーの車体デザイン画として描いてください。1人何点でも応募可です。
- ③応募用ペーパークラフトを組み立てて、下記の<出品用紙>と共に提出してください。ペーパークラフト車体裏にも名前・年齢・学校名を書いてください。
 ・学校団体応募の場合…学校に提出してください。
 ・個人応募の場合…五環生活事務所に直接持参するか、郵送してください。
- ④持参される方へ
 五環生活事務所は、彦根市の中央商店街にあります。立花町交差点から約50m南下、西側にある3階建ての建物です。営業時間は平日10:00～17:00ですが、留守の場合もあるので、予めご連絡のうえお越しください。（電話番号：0749-26-1463）
- ⑤郵送される方へ
 作品が壊れないよう、しっかり梱包して送ってください。
 送り先：〒522-0063 彦根市中央町1-12 特定非営利活動法人五環生活「ペロタクシー・デザインコンクール」係

切り取り線

※応募作品と一緒にご提出ください

ペロタクシー・デザインコンクール 出品用紙

1 作品のタイトル

2 作品についての説明

フリガナ				電話番号	()	-
氏名						
住所	〒	-				
学校名		学年		性別	男・女	

※個人情報の取り扱い 応募者の個人情報は適切に管理し、他の目的に使用することはありません。

図 3.5. コンクール募集チラシ裏面

3.2.2. コンクールの募集要項

コンクールの募集要項を以下に示す。

応募内容：井伊直弼に対するイメージを、応募用ペロタクシー・ペーパークラフトに描いてもらい、組み立てた状態で、出品用紙に記入事項を書いてもらい提出となる。

募集対象：滋賀県内に在学・在住の小学生・中学生・高校生

応募期間：2008年8月1日～10月10日

応募費用：無料（ただし応募にかかる一切の費用は応募者の負担）

賞：コンクールの応募に用意された賞、及び賞品は以下である。

最優秀賞：2名

最優秀賞となったデザインを、実際のペロタクシー1台にフルラッピングして、ペロタクシー彦根の走行エリア内を走行（走行期間は12月1日から12月25日まで）。

ペロタクシー2名60分乗車無料チケット

優秀賞：2名

ペロタクシー2名60分乗車無料チケット

ドライバー賞：2名

ペロタクシードライバーからの賞品

参加賞：応募者全員（ただし、最優秀賞、優秀賞受賞者を除く。応募者1名につき1枚）

ペロタクシー割引チケット

3.2.3. コンクール参加依頼及び、ペーパークラフト・チラシの配布について

コンクールの参加依頼、ペーパークラフト・チラシの配布については、募集対象が、滋賀県内に在学・在住の小学生・中学生・高校生であるが、その全てに依頼・配布は人数が多いので、彦根市内の小学校・中学校、全25校（小学校17校、中学校8校）に依頼・配布を行った。依頼は彦根市教育委員会を通して、応募期間前である1学期末に夏休みの課題として学校側から学校生徒に配布してもらうように依頼した。また、可能であれば2学期の始めに学校側で回収していただくように依頼した。

学校側への配布は筆者とスタッフで、2008年7月15、16日に各学校に人数分のペーパークラフトとチラシの配達を行った。

また、彦根市内の高等学校美術部の顧問の先生に依頼し、可能であれば、生徒に配布を行った。

上記の配布を行っていない募集対象者で、応募の希望があった場合は、特定非営利活動法人五環生活の事務所に問い合わせをしてもらうように告知を行った。また、彦根市役所を通じて彦根市役所、彦根市内の公民館などにチラシを掲示してもらい、応募希望者にはその場でペーパークラフトとチラシを渡してもらうように依頼した。

3.2.4. コンクールの宣伝について

主なコンクール宣伝としては、前述した学校側・及び部の顧問の先生からの配布や、新聞、インターネットなどからコンクールの宣伝を行い、滋賀県内の応募対象者からも応募してもらうよう告知を行った。

また、今回の 150 年祭に合わせて、彦根市内の中学校では、井伊直弼に関する歴史学習が行われる。コンクールの応募期間前、期間中に行われる学校、鳥居本中学校、稲枝中学校、西中学校、南中学校には、同行させてもらい、学習の後に宣伝を行った。この同行のうち、鳥居本中学校と稲枝中学校では、実際のペロタクシーを持って行く事が可能であったので、コンクールをより宣伝するためにも、生徒に実際のペロタクシーを見せて宣伝を行った。



図 3.6. 鳥居本中学校での宣伝の様子
(2008 年 7 月 15 日，彦根市立鳥居本中学校にてスタッフ撮影)



図 3.7. 稲枝中学校での宣伝の様子
(2008 年 7 月 16 日，彦根市立稲枝中学校にて筆者撮影)

3.3. コンクールの応募状況

3.3.1. コンクールの応募数

コンクールの応募数は 186 点であった。彦根市の小学校・中学校からの応募は 183 点で、内小学校から 115 点、中学校から 68 点の応募があった。市外からの応募は長浜市から 1 点、草津市から 2 点の応募があった。学年別、学校別の応募点数を以下に示す。

表 3.1. 学年別応募点数

学年	応募点数
小学校 1 年生	13
小学校 2 年生	16
小学校 3 年生	9
小学校 4 年生	6
小学校 5 年生	8
小学校 6 年生	66
中学校 1 年生	22
中学校 2 年生	28
中学校 3 年生	18

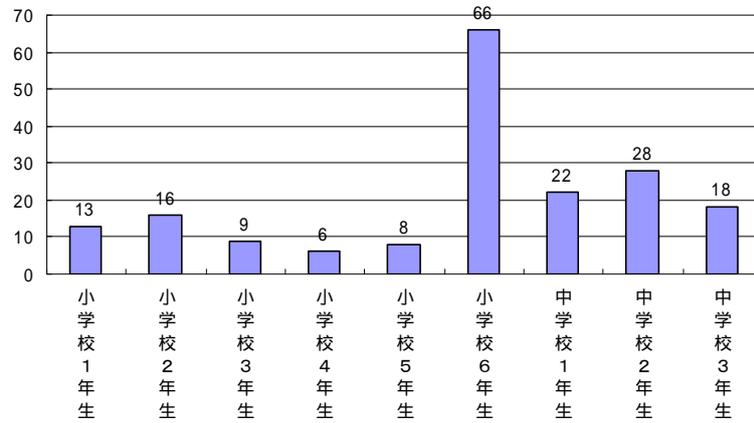


図 3.8. 学年別応募数 (n=186)

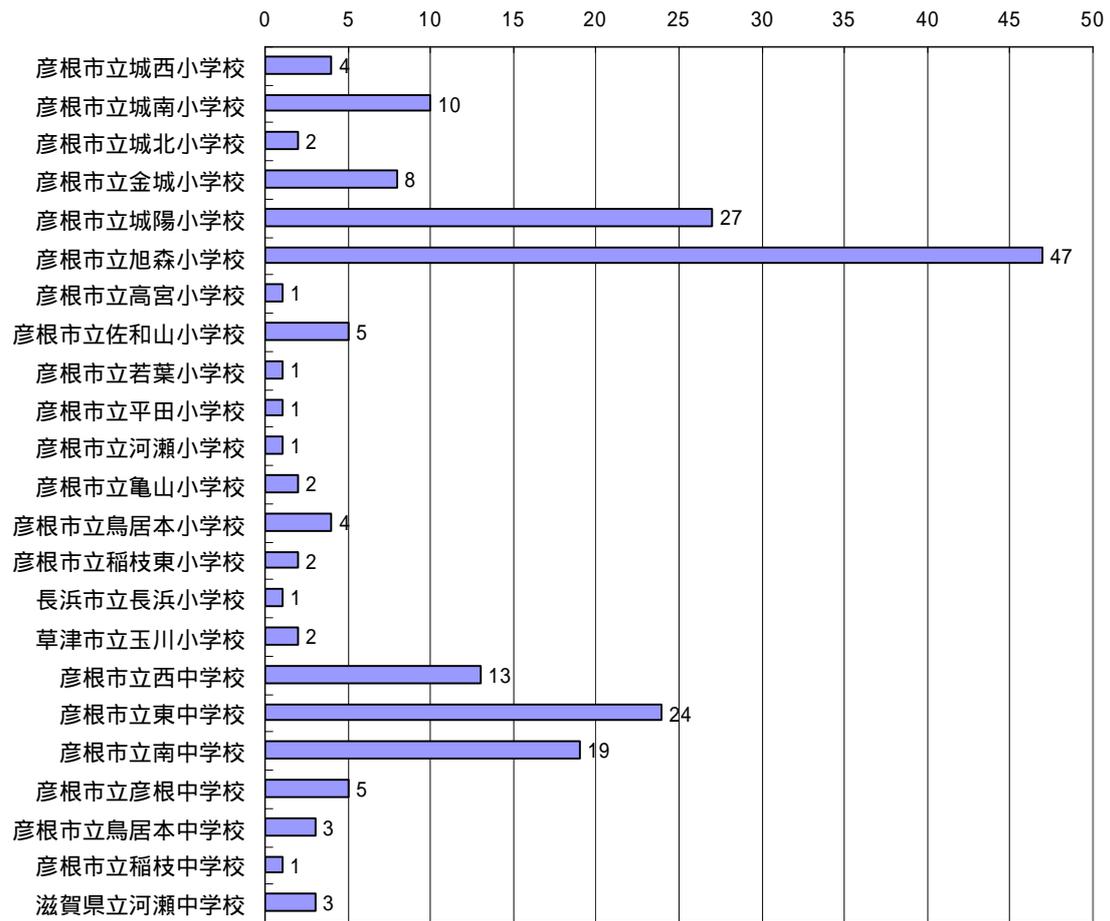


図 3.9. 学校別応募数 (n=186)

当初は夏休みの課題として学校側に依頼していたが、応募数が少なかったため、可能である学校には、もう一度、学校生徒に依頼してもらうようお願いをした。応募の中で、特に応募が多かった学校は、彦根市立旭森小学校 47 点、彦根市立城陽小学校 27 点、彦根市立東中学校 24 点であった。これらの学校は全て再度、応募を依頼した学校でクラスや、クラブ活動での組織的応募が見られた。

学年別の応募傾向としては、小学校 5 年生以下の応募数が少なかった。これは小学校 5 年生以下では歴史授業が開始しておらず¹⁾、イメージがしづらく、応募数が少なかったといえる。

彦根市以外の小中学校からの応募は長浜の小学校から 1 点、草津市の小学校から 2 点の応募があった。高校の美術部からの応募は、応募期間中に、他の美術コンクールがあったため、残念ながら応募はなかった。

3.3.2. 説明文の傾向

コンクール応募の際に、作品と一緒に提出する出展用紙に「作品に関する説明」を書く自由記述の欄を設けた（図 3.7.）。これは応募作品が井伊直弼のいかなるイメージを意識して作ったかを把握するために設けたものである。回答数は 186 名中 164 名であった。

※応募作品と一緒にご提出ください

ペロタクシー・デザインコンクール出品用紙

1 作品のタイトル

2 作品についての説明

フリガナ	-----	電話番号	() -
氏名			
住所	〒 -		
学校名		学年	性別 男・女

※個人情報の取り扱い 応募者の個人情報は適切に管理し、他の目的に使用することはありません。

図 3.10. 応募用紙

もっとも多い記述で存在したものは、2007 年に彦根市で行われた、「彦根城築城 400 年祭」のイメージキャラクターであるひこにゃんが全体の 4 分の 1 ほど見られた。中には「井伊直弼のイメージがうかばなかったので、とりあえずひこにゃんを描きました」という説明文も存在した。

その他に、作品の説明よりも、「井伊直弼をイメージできてよかった」という感想や、「ハンドルをくっつけたり色を塗ったり組み立てる場所を合わせたりするのがすごく難しかった。細かい部分はとても色を塗るのに苦労しました」という、ペーパークラフトを組み立てるのが困難であったというコメントが 13 件見られた。

3.4. 本研究の分析方法について

3.4.1. デザインを分析した先行研究について

デザインを分析した研究として、近藤隆二郎の「顔出し看板論」が挙げられる⁵⁾。この研究では、滋賀県内の小学生・中学生・高校生を一般対象に、顔出し看板のデザインを募集するというコンクールを行った。コンクールの内容は滋賀県のその土地にちなんだ「顔出し看板」のデザインを応募するというもので、このコンクールでの応募作品のデザインを、デザインの主対象、副対象、背景、修飾（ロゴなど）、視点に分け、その後、各デザインをカテゴリー分けし、単純集計・クロス集計・クロス集計により滋賀県の地域のイメージキャラクターについて考察を行っている。

3.4.2. 分析対象の選定方法について

応募作品のデザインから分析対象として有効なものを選定する。選定方法は以下である。

井伊直弼に関するデザインが描かれていること

説明文に井伊直弼に関する記述が書かれているか

この 2 点の基準の内どちらかを満たしていれば、対象とする。 については、井伊直弼に関連するデザインは、井伊直弼(図 3.11.)、井伊直弼をイメージしたキャラクター(図 3.12.)、武具(図 3.13.)、家紋(図 3.14.)、彦根城(図 3.15.)、井伊直弼に関する文字(図 3.16.)、その他(図 3.17.)のいずれかが描かれているものとする。



図 3.11. 井伊直弼のデザイン 筆者撮影



図 3.12. 井伊直弼をイメージしたキャラクター 筆者撮影



図 3.13. 武具のデザイン 筆者撮影



図 3.14. 家紋のデザイン 筆者撮影



図 3.15. 彦根城のデザイン 筆者撮影



図 3.16. 井伊直弼に関する文字 筆者撮影

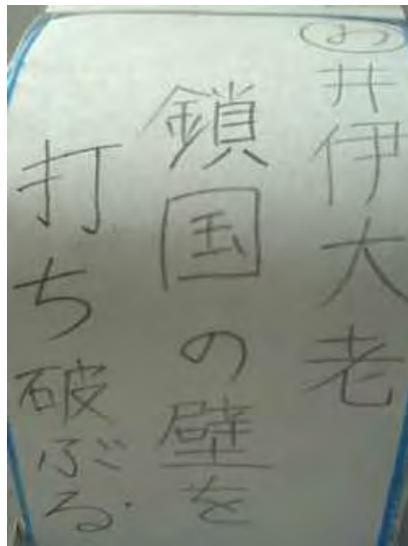


図 3.17. その他のデザイン(彦根かるたの句) 筆者撮影

また、今回のコンクールでは作品にタイトルをつけるが、タイトルからは作品の分析対象の選定を行わないものとする。これはタイトルが今回のコンクールのテーマに沿っているものであっても、作品のデザインがあまりにかけ離れているものがあり、またタイトルからは何をイメージしたのか分からないものが存在したためである。例としては、以下の作品（図 3.18.）はタイトルが「なおすけタクシー」となっているがデザインは野球バットやボール、ホームベースとなっている。



図 3.18. 分析対象としない作品 筆者撮影

そのほかに、彦根市外から 3 点の応募があったが（草津市 2 点，長浜市 1 点），対象数が少ないので分析対象から除外した。以上の選定方法から，応募作品 186 点から，136 点を分析対象とした。分析対象とする作品の一覧，学校別，学年別の作品数を以下に示す。

表 3.2. 分析対象作品一覧

タイトル	学校	学年
ひこにゃん，しまさこにゃん	彦根市立旭森小学校	1
おとのさま号	彦根市立旭森小学校	1
ひこにゃん号	彦根市立稲枝東小学校	1
ひこねがいっぱいべるたくしー	彦根市立佐和山小学校	1
みんなおともだち	彦根市立城西小学校	1
ひこにゃん・どろちゃん・おとのさま	彦根市立城南小学校	1
彦根のともだち	彦根市立城南小学校	1
ひこねペロタクシー	彦根市立城北小学校	1
おしるタクシー	彦根市立旭森小学校	2
夕やけ空のおしる	彦根市立旭森小学校	2
現代に蘇る井伊直弼！ひこにゃんがお供	彦根市立旭森小学校	2
赤備えチェック	彦根市立亀山小学校	2

なおすけ&ひこにゃん,彦根城を守れ	彦根市立金城小学校	2
いいなおすけとすわれるペロタクシー	彦根市立佐和山小学校	2
なし	彦根市立城西小学校	2
走れ!!井伊号	彦根市立城南小学校	2
馬にのった 赤兜号	彦根市立城北小学校	2
フルーツタクシー	彦根市立鳥居本小学校	2
ひこにゃんカー	彦根市立金城小学校	3
赤おに	彦根市立佐和山小学校	3
開国 150 周年	彦根市立城西小学校	3
い~い直弼号	彦根市立城西小学校	3
緑,茶,青のエコタクシー	彦根市立城南小学校	3
いいなおすけ君号	彦根市立高宮小学校	3
井伊なおすけと赤備え	彦根市立亀山小学校	4
滋賀県彦根市彦根城号	彦根市立金城小学校	4
黒船がやってきたー!	彦根市立城南小学校	4
みんなの彦根	彦根市立平田小学校	4
井伊直弼と開国 150 年祭	彦根市立旭森小学校	5
なおぼんタクシー	彦根市立旭森小学校	5
井伊家の家紋号	彦根市立旭森小学校	5
開国記念だヤッター!!	彦根市立旭森小学校	5
直弼の守り神	彦根市立金城小学校	5
かもん号	彦根市立城陽小学校	5
桜まうひこね	彦根市立旭森小学校	6
桜まう彦根のタクシー	彦根市立旭森小学校	6
彦根城号	彦根市立旭森小学校	6
彦根城	彦根市立旭森小学校	6
彦根ひこにゃんペロタクシー	彦根市立旭森小学校	6
開国 150 周年号	彦根市立旭森小学校	6
スーパー井伊直弼号	彦根市立旭森小学校	6
花の彦根	彦根市立旭森小学校	6
彦根 & E L M O	彦根市立旭森小学校	6
H I K O N E !!ペロタクシー	彦根市立旭森小学校	6
井伊の赤	彦根市立旭森小学校	6
ひこにゃん&なおすけペロタクシー	彦根市立旭森小学校	6

「井伊直弼と開国 150 年祭」を祝うひこにゃんペロタクシー	彦根市立旭森小学校	6
ペロタクシー	彦根市立旭森小学校	6
彦根ドリームズカー	彦根市立旭森小学校	6
井伊家のタクシー	彦根市立旭森小学校	6
ひこにゃん号	彦根市立稲枝東小学校	6
みんなで乗ろう, ペロタクシー	彦根市立金城小学校	6
空色ペロタクシー	彦根市立佐和山小学校	6
井伊直弼と彦根の旅	彦根市立城南小学校	6
レインボーペロタクシー	彦根市立城陽小学校	6
井伊直弼のきれいなペロタクシー	彦根市立城陽小学校	6
ペロタクシーは井伊タクシー	彦根市立城陽小学校	6
直弼&ひこにゃん・ペロタクシー	彦根市立城陽小学校	6
井伊大老号	彦根市立城陽小学校	6
江戸城と大老井伊直弼	彦根市立城陽小学校	6
伊佐丸どの	彦根市立城陽小学校	6
直弼タクシー	彦根市立城陽小学校	6
なおすけタクシー	彦根市立城陽小学校	6
HIKONE!!ペロタクシー	彦根市立城陽小学校	6
井伊直弼とひこにゃんのペロタクシー	彦根市立城陽小学校	6
井伊直弼のペロタクシー	彦根市立城陽小学校	6
井伊直弼のペロタクシー	彦根市立城陽小学校	6
ペロタクシー	彦根市立城陽小学校	6
ヒコネ!!ペロタクシー	彦根市立城陽小学校	6
ペロタクシー	彦根市立城陽小学校	6
井伊直弼開国 150 年祭	彦根市立城陽小学校	6
直弼とひこにゃん	彦根市立城陽小学校	6
井伊大老が彦根を走る	彦根市立鳥居本小学校	6
ひこにゃんの春	彦根市立鳥居本小学校	6
井伊直弼ペロタクシー	彦根市立若葉小学校	6
彦根のメッセージ	滋賀県立河瀬中学校	1
ひこにゃんかわ井伊ペロタクシー	彦根市立西中学校	1
彦根はええで!!	彦根市立西中学校	1
井伊直弼と桜	彦根市立西中学校	1
タイトルなし	彦根市立西中学校	1

タイトルなし	彦根市立西中学校	1
タイトルなし	彦根市立西中学校	1
タイトルなし	彦根市立西中学校	1
さて日本は開国のとき	彦根市立東中学校	1
開国	彦根市立東中学校	1
彦根のゆかいなキャラクターたち	彦根市立東中学校	1
つるぎ	彦根市立東中学校	1
開国 150 年	彦根市立東中学校	1
ひこにゃんペロタクシー	彦根市立東中学校	1
彦根タクシー	彦根市立南中学校	1
彦根の未来を開くタクシー	彦根市立南中学校	1
戦場の直弼	滋賀県立河瀬中学校	2
" Hikone " ペロタクシー	滋賀県立河瀬中学校	2
お茶タクシー	彦根市立鳥居本中学校	2
井伊直弼のペロタクシー	彦根市立東中学校	2
ひこにゃんのすず	彦根市立東中学校	2
それいけ！ひこにゃん号	彦根市立東中学校	2
それいけ！ひこにゃん号 2	彦根市立東中学校	2
桜田門と井伊直弼	彦根市立東中学校	2
井伊直弼と開国 150 年祭	彦根市立東中学校	2
それいけ！ひこにゃん号 3	彦根市立東中学校	2
ペロタクシー	彦根市立東中学校	2
150th ひこにゃん号	彦根市立東中学校	2
ひこにゃんと彦根城	彦根市立東中学校	2
We love 彦根おめでとさん号	彦根市立東中学校	2
井伊直弼ペロタクシー	彦根市立東中学校	2
I LOVE HIKONE 150 周年！！	彦根市立東中学校	2
開国 150 周年	彦根市立東中学校	2
桜とひこにゃん	彦根市立東中学校	2
それいけひこにゃん号 4	彦根市立東中学校	2
明るい街 彦根	彦根市立東中学校	2
ひこにゃんペロタクシー	彦根市立彦根中学校	2
祝！彦根・井伊直弼と開国 150 年祭！！ Y e a h	彦根市立彦根中学校	2
祝 彦根開国 150 年祭	彦根市立彦根中学校	2

にこにこ ひこにゃん	彦根市立彦根中学校	2
家紋タクシー	彦根市立南中学校	2
開国 150 周年	彦根市立南中学校	2
タイトルなし	彦根市立南中学校	2
井伊家の自家用ペロタクシー	彦根市立稲枝中学校	3
お殿様タクシー	彦根市立西中学校	3
タイトルなし	彦根市立西中学校	3
タイトルなし	彦根市立西中学校	3
井伊掃頭部（かもんのかみ）	彦根市立東中学校	3
150 年祭記念ペロタクシー	彦根市立南中学校	3
琵琶湖と彦根城	彦根市立南中学校	3
剣豪ひこにゃん	彦根市立南中学校	3
井伊直弼のタクシー	彦根市立南中学校	3
彦根城タクシー	彦根市立南中学校	3
ひこにゃん号	彦根市立南中学校	3
ひこにゃんタクシー	彦根市立南中学校	3
彦根城	彦根市立南中学校	3
Let's Go! Go!号	彦根市立南中学校	3
彦根城の四季	彦根市立南中学校	3
開国 150 年記念タクシー	彦根市立南中学校	3
井伊直弼と開国 150 年祭	彦根市立南中学校	3
彦根のタクシー	彦根市立南中学校	3

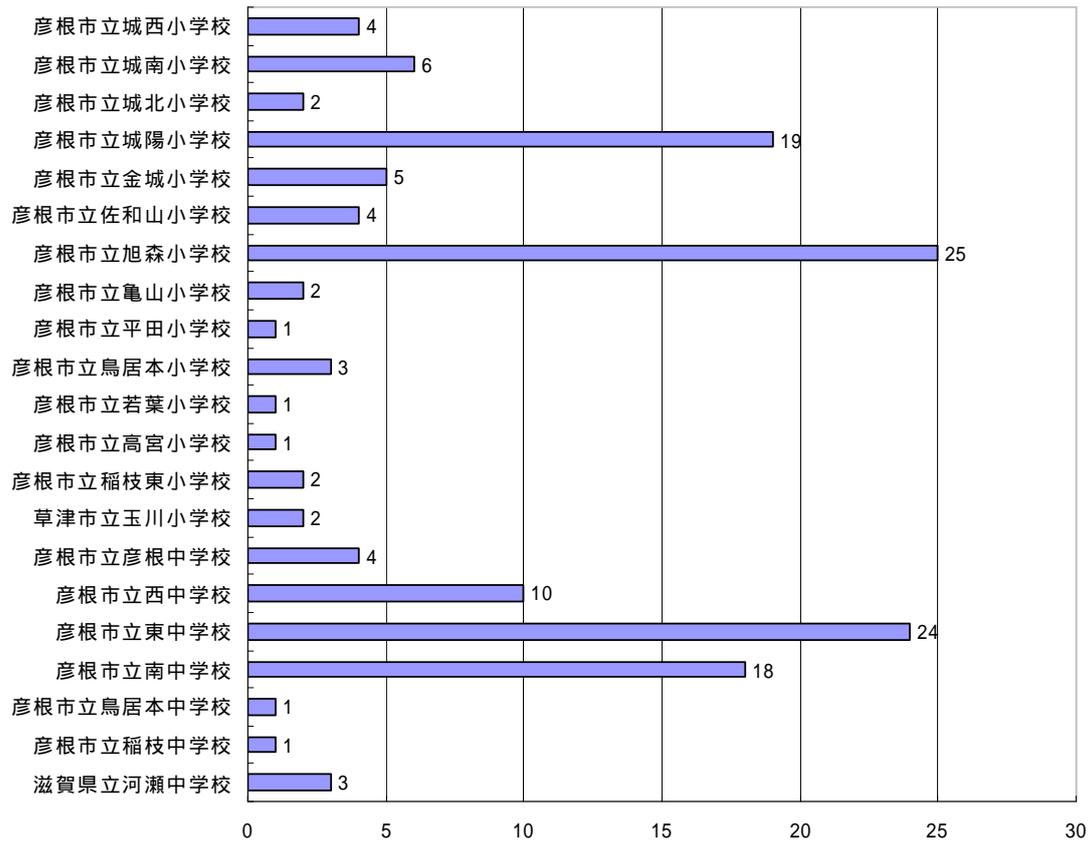


図 3.19. 学校別分析対象数 (n = 136)

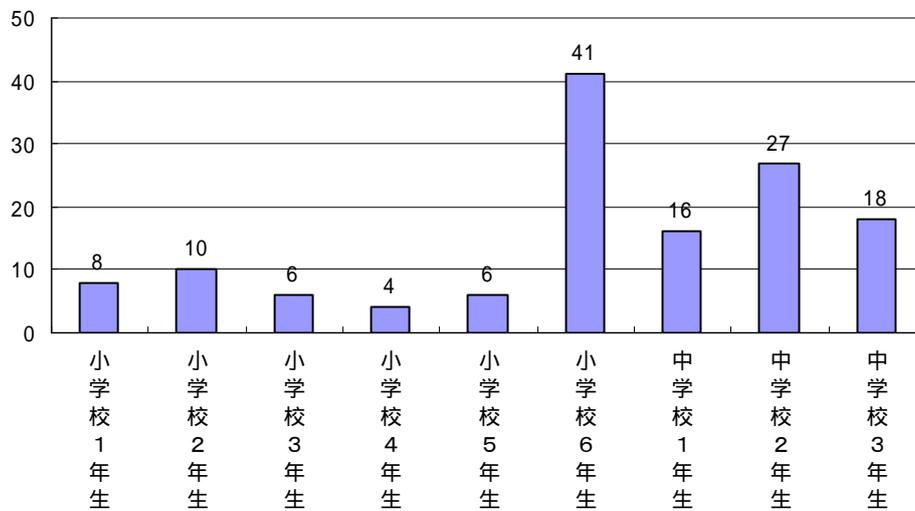


図 3.20. 学年別分析対象数 (n = 136)

3.4.3. 本研究の分析方法

分析対象とするコンクールから得られるデータで分析に用いるデータは 作品のデザイン， 作品の説明， 在学学校名， 学年の 4 つである．これらから，井伊直弼に関する小中学生のイメージを明らかにするために以下のように分析を行う．

表 3.3. 分析方法

	単純集計	クロス集計	KJ 法
デザイン			
作品の説明文			
在学学校			
学年			

また，前述した分析対象数が作品の応募点数の傾向と同じく，小学生 1～5 年生の点数が少ない．これは応募数の傾向と同じく，まだ歴史授業を受講していないためと考えられる．本研究の分析では，学年とデザインのクロス集計を行うが，この際，小学生 1～5 年生の母数が少ないので，歴史授業を受講していないということから，小学校 5 年生以下とひとつのまとまりとして考察を行う．また，学校ごとでの応募数にも差があるので，学校ごとのデザインの傾向は考察せずに，応募数の作品の点数の多い，城陽小学校，旭森小学校，西中学校，東中学校，南中学校ごとのデザインの傾向を見る．

また，コンクールでの応募作品はペロタクシー型のペーパークラフトにデザインするので，背面部分に大きく描かれたものや，先端の部分に小さくデザインされるものなど大きさに差があった．そこで，本研究では作品の説明文のタイプ分けをおこない，得られたタイプからデザインの傾向，学年ごとの傾向を考察していく．

3.4.4. デザインの抽出方法

本研究で分析対象とする作品は，デザインの抽出を行う．抽出方法としては，まず，井伊直弼に関するデザインとして，

人物（キャラクター）のデザイン

井伊直弼に関する物として彦根城や家紋，武具（図 3.21.）

井伊直弼の趣味，行った行動をイメージしたものとして，お茶や黒船（図 3.22.）

などに分類する．この内，井伊直弼の人物のデザインはイメージしたキャラクターカモンちゃん（図 3.23.）や，デフォルメされたデザイン（図 3.24.）などキャラクター化されたものはキャラクター型，肖像画など（図 3.25.）をリアル型とした．家紋は橘紋（図 3.26.）と井桁の旗印（図 3.27.）の二つに分類する．この他にひこにゃんと関連するキャラクターでやちにゃん，しまさこにゃんがデザインで見られたが，出現数が少ないことから，ひこにゃんとしてまとめた．以下に分類の方法を示す．



図 3.21. 武具のデザイン 筆者撮影



図 3.22. お茶のデザイン 筆者撮影



図 3.23. カモンちゃんデザイン 筆者撮影



図 3.24. デフォルメ直弼のデザイン 筆者撮影



図 3.25. 井伊直弼の肖像画 筆者撮影



図 3.26. 橘紋のデザイン 筆者撮影



図 3.27. 井桁の旗印のデザイン 筆者撮影

表 3.4. 抽出デザインのカテゴリーの分類

井伊直弼に関するデザイン	人物	井伊直弼（リアル、キャラクター）
	関連するもの	家紋（橘紋、井桁の旗印）、彦根城、武具
	イメージ	お茶、黒船、国旗、直弼の人物像に関するものなど
自然	琵琶湖、桜、山、自然関連など	
ひこにゃん	ひこにゃん、ひこにゃん関連のキャラクターなど	
その他	ハートマーク、星、アニメキャラクターなど	

また、今回のコンクールはペロタクシーのペーパークラフトに井伊直弼をデザインするもので、作品にはデザイン以外に、「井伊直弼」、「大老」や「開国 150 年祭」などのロゴとして文字（井伊直弼や 150 年祭と書かれているもの）が出現することが多々見られた。それらは、デザインとカウントせず、文字として別のカテゴリー分けをする（表 3.6.）。ただし、井伊直弼の句や、彦根かるたの句、また一期一会などの直弼の茶道での言葉⁴⁾などはロゴとしてカウントせず直弼関連するイメージとすることとする。

表 3.5. ロゴの分類方法

文字・井伊直弼	井伊直弼、大老など
文字・彦根城	彦根城など
文字・彦根関連	彦根、近江など
文字・開国 150 年祭	150 年祭、開国など
文字・ひこにゃん	ひこにゃん、ひこにゃん関連のキャラクター
文字・その他	Happy, Smile など

上記のような分類方法で、応募作品を分けていく。またデザインの数え方は、一つの作品につき、右側面、左側面、背面、先端部分で同じデザインが出現する場合があるので、数える単位はデザインの個数ではなく、出現した作品の点数で行う事とする。

以上の抽出されたデザイン・ロゴから彦根市周辺の小学生・中学生の井伊直弼のイメージについて明らかにする。そして文献から得られた井伊直弼の人物像、井伊直弼に関する顕彰活動の変遷と、分析により得られた井伊直弼のイメージにどのような違いがあるかについて述べる。

【参考文献及び脚注】

- 1) VELOTAXI JAPAN<<http://www.velotaxi.jp/02/concept.htm>>,2008-1-5
- 2) VELOTAXI JAPAN<<http://www.velotaxi.jp/02/concept.htm>>,2008-1-5
- 3) 小・中・高校教育に関すること（学習指導要領） - 文部科学省
< http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/youryou/main4_a2.htm > , 2008-12-05
- 4) 近藤隆二郎:顔出し看板大全-顔出し看板論 -,滋賀県「顔出し看板」発掘再生新規開発委員,98-122(2007)
- 5) 浅野二郎,仲 隆裕,藤井英二郎:わび茶と露地(茶庭)の変遷に関する史的考察—その 2:庸軒・直弼にみる原点復帰への動き,千葉大学園芸学部学術報告,37,69-78(1986)

4.1. 緒言

本章では、デザインコンクールで得られた作品から、デザインを分析することで井伊直弼がどのようなイメージで捉えられているか分析および考察し、彦根市内で井伊直弼がどのようにイメージで捉えられているかを明らかにする。

4.2. デザインの傾向

4.2.1. 学年ごとのデザインの傾向

三章で述べた分類方法から、デザイン・ロゴの分類を行い、学年ごとの出現点数、出現頻度を以下に示し、デザインの傾向について考察する。

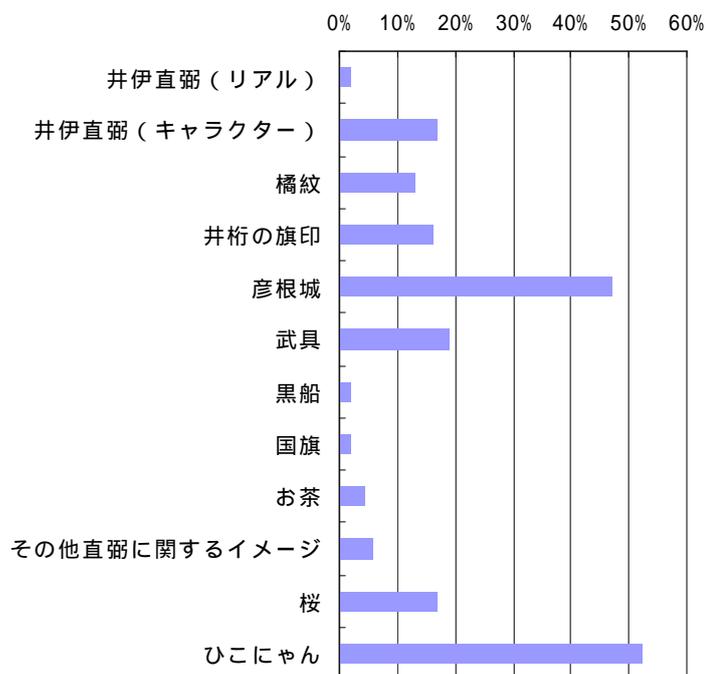


図 4.1. カテゴリーごとのデザインの出現頻度 (n=136)

表 4.1. 学年別デザインの出現点数

学年	井伊直弼に関するデザイン										自然		ひこにゃん	その他
	人物		関連するもの				イメージ				桜	自然関連		
	井伊直弼（リアル）	井伊直弼（キャラクター）	橘紋	井桁の旗印	彦根城	武具	黒船	国旗	お茶	直弼関連				
小学校 1～5 年生	0	7	4	6	16	9	1	2	0	2	1	6	17	5
小学校 6 年生	1	7	7	11	21	8	0	0	1	0	6	4	18	5
中学校 1 年生	0	3	4	0	6	3	1	1	2	2	2	5	9	1
中学校 2 年生	1	4	1	2	11	3	0	0	3	3	9	0	17	3
中学校 3 年生	1	2	4	3	10	3	1	0	0	1	5	2	10	1
合計	3	23	18	22	64	26	3	4	6	8	23	17	71	15

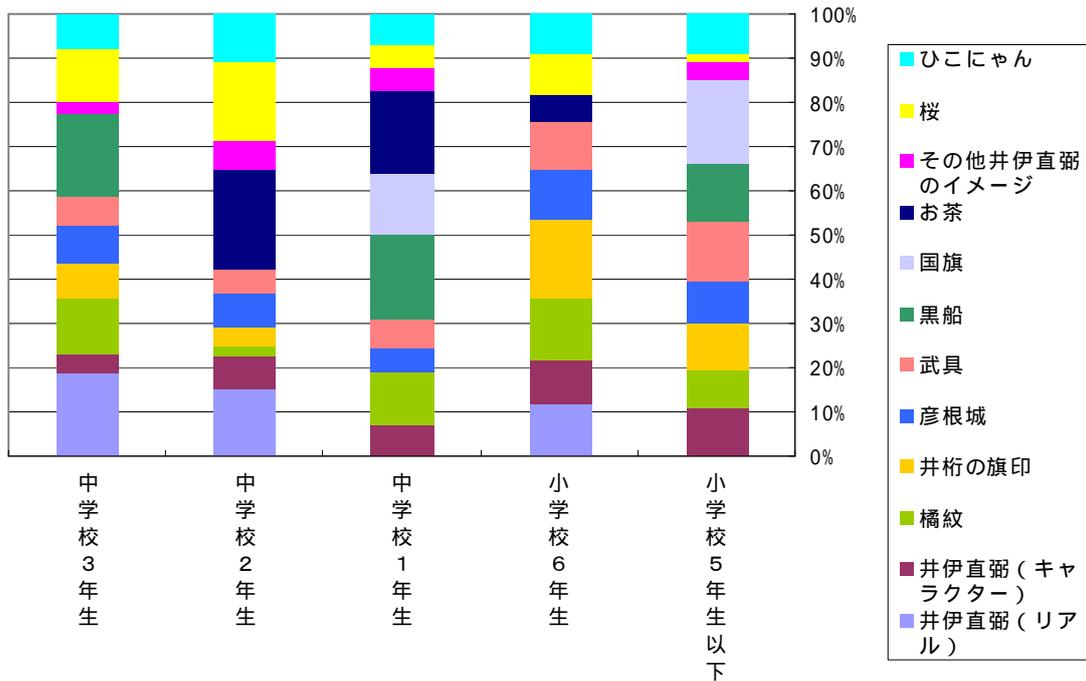


図 4.2. 学年別デザインの出現頻度 (n=136)

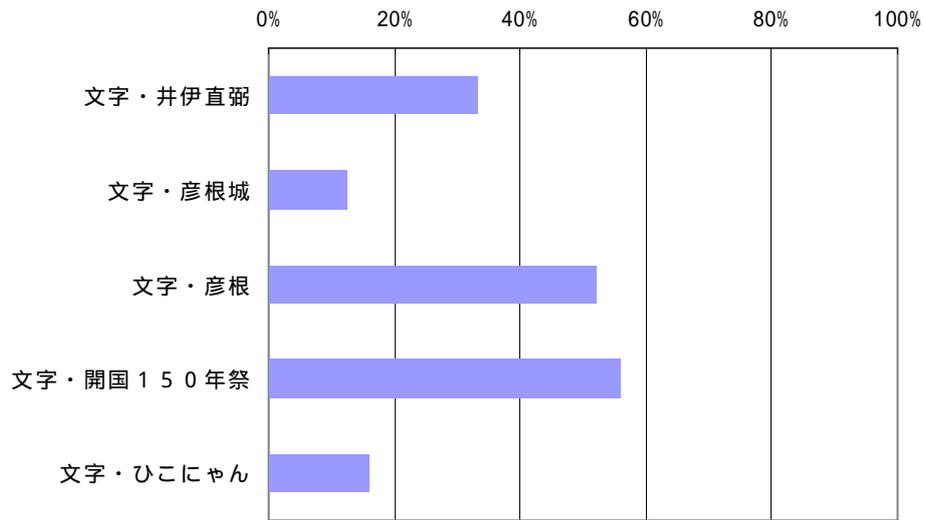


図 4.3. カテゴリーごとのロゴの出現割合 (n=136)

表 4.2. 学年別ロゴ出現点数

	ロゴ・井伊直弼	ロゴ字・彦根城	ロゴ・彦根	ロゴ・開国150年祭	ロゴ・ひこにゃん
小学校 5 年生以下	7	3	11	13	5
小学校 6 年生	18	8	29	21	7
中学校 1 年生	9	2	6	12	2
中学校 2 年生	7	1	17	19	4
中学校 3 年生	5	3	9	12	4
合計	46	17	72	77	22

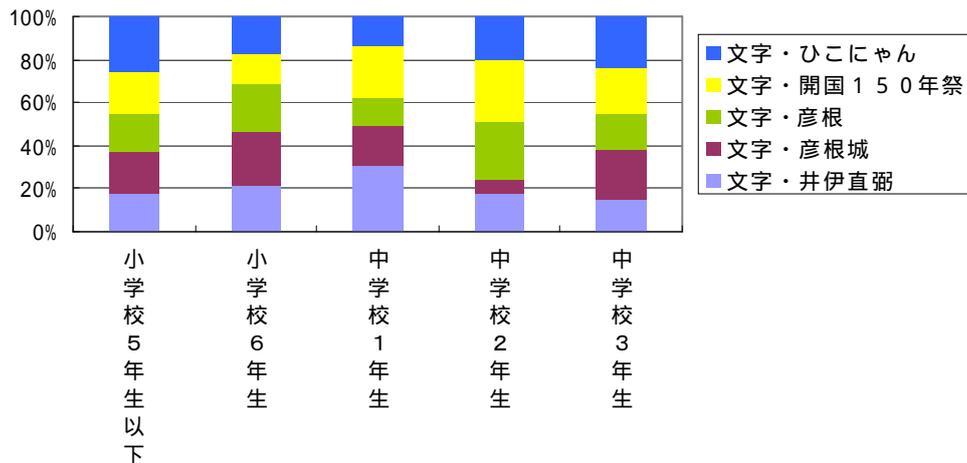


図 4.4. 学年別ロゴ出現頻度 (n=136)

以上の分析結果から、2007年に彦根市で開催された、彦根城築城400年祭のイメージキャラクターである、ひこにゃん(図4.5.)、次いで井伊直弼の居城として彦根城(図4.6.)が多く出現している彦根城、ひこにゃんのデザインの出現点数が多いことが分かる。これらのデザインはどの学年においても出現しており、井伊直弼のイメージとして大きな要素を持っていると考えられる。このひこにゃんは、彦根市で2007年に開催された「国宝・彦根城築城400年祭」のイメージキャラクターで、井伊家由来の赤備えの兜をかぶった猫をモデルとしている¹⁾。

また、桜のデザインが多く出現している、これは、彦根城をイメージしてデザインされていると伺える。



図 4.5. ひこにゃんのデザイン 筆者撮影



図 4.6. 彦根城のデザイン 筆者撮影

学年ごとに見ると武具(図 4.7.)のデザインは,小学生以下に多く見られ,学年があがると減少することから,小学生には井伊直弼が武士としてのイメージが強いと考えられる. その他,井伊家の家紋であり,デザインの容易な井桁の旗印(図 4.8.)が小学生以下に多く出現していることに対し,デザインが複雑である橘紋(図 4.9.)では中学生以上の出現数が多くなっている. この二つにおいては,デザインの複雑さが関連していると考えられる.



図 4.7. 武具のデザイン 筆者撮影



図 4.8. 井桁の旗印 筆者撮影



図 4.9. 橘紋 筆者撮影

また、直弼の歴史的行動や趣味などの人物像のイメージのデザインとしては、ほとんどが開国をイメージする黒船(図 4.10.)や、国旗(図 4.11.)のデザインが出現数が少ないものの各学年に見られた。井伊直弼の趣味であるお茶に関するデザイン(図 4.12.)や、井伊直弼が好きであったとされる柳のデザイン(図 4.13.)中学生以上になると増える傾向にあった。このことから、井伊直弼に対し開国を行ったというイメージは弱いと考えられるが、どの学年にも存在すると考えられる。また、お茶などの井伊直弼の人物像に関するイメージは中学生以上に強く、歴史授業で学習しない事柄なので郷土学習により、井伊直弼に対するイメージとして根付いているものと考えられる。



図 4.10. 黒船のデザイン(作品全体が黒船となっている) 筆者撮影



図 4.11. 国旗に関するデザイン 筆者撮影



図 4.12. お茶に関するデザイン 筆者撮影



図 4.13. 柳のデザイン 筆者撮影

その他のデザインとしては、桜のデザイン（図 4.14.）が中学生以上に多く、井伊直弼の城である彦根城のイメージとして桜があると考えられる。



図 4.14. 桜のデザイン 筆者撮影

ロゴで出現点数が多いものは「彦根」と、2008 年より彦根市で開催されている「井伊直弼と開国 150 年祭」などがロゴとして出現が多く、次いで、井伊直弼のロゴの出現点数が多かった。「彦根」や「井伊直弼と開国 150 年祭」などはデザインとして描きにくく、150 年祭におけるマークは「井伊直弼と開国 150 年祭」のロゴ(図 4.15.)で彦根城が存在するのみで、デザインできない。このため、デザインの代わりにロゴとして出現したと伺える。また、井伊直弼のロゴは彦根城を除いた、どの井伊直弼のデザインカテゴリーよりもおおく存在しており、井伊直弼のイメージデザインが思い浮かばずロゴとして出現した可能性が高いと考えられる。

また、ひこにゃんに関するロゴがデザインに比べ、30%近く少なく、同じく彦根城においても、デザインに比べてロゴの出現数が少ない。このように、デザインのモデルがあるものは、それを示すロゴが少なく、モデルがないものや、イメージしづらいものはロゴが多くなる傾向にあると考えられる。

学年別では、「井伊直弼」の出現が小学 6 年生に多いが、学年ごとの母数に差があることも考慮すると、どの年代にも各カテゴリーのロゴが存在しており、学年によるロゴの傾向は無いといえる。



図 4.15. 井伊直弼と開国 150 年祭のロゴ²⁾

4.3. 説明文の傾向

4.3.1. 説明文のタイプ分け

コンクールの作品で、描いたデザインは応募者により意識するものが違うと考えられる。

例えば、井伊直弼を歴史上の人物とイメージし、武具などを描くことと、井伊の赤備を意識して武具をデザインすることではデザインの持つイメージが違う。そこで、コンクールから得られた説明文から、応募者の作品の意図を把握するために、説明文のタイプ分けを行い、説明文のからの井伊直弼のイメージの傾向、タイプごとのデザインの傾向について考察していく。(説明文の回答数は138件中124件であった)。タイプを以下の8つに分類した。

赤備タイプ

「井伊家の鎧、兜が赤なので赤色をイメージして作りました」や、「井伊家の赤い鎧兜、馬、刀を描きました」などを赤備に関する記述が存在するものや、「後ろは、彦根城を描いてみて、タイヤは井伊家の家紋を描いてみた。また、側面は赤備えで有名なカブトにしてみた」など彦根城や家紋に対する説明があるものも、赤備の説明があれば「赤備タイプ」とした。

人物像タイプ

「井伊直弼がお茶をたしなんでいると聞いたので」や、「開国の中心となった彦根の井伊直弼の象徴をタクシーに描きました」など茶や開国に関するものや、「井伊直弼と関係の深い黒船と井桁の旗印を大きく後ろに書きました」など彦根城や家紋に対する説明があるものも、茶や開国に関する説明があるものは「人物像タイプ」とした。

家紋タイプ

「家紋が特徴」や、「家紋を大きく描いて目立つようにしました」など家紋に関する説明があるものを「家紋タイプ」とした。

抽象イメージタイプ

「井伊直弼を大きく書き、目立たせました」や、「井伊直弼を中心として作りました」など何をイメージしたか具体的に説明されていないものや、文字を書いたなどの抽象的説明を「抽象的イメージタイプ」とした。

ひこにゃんタイプ

「井伊直弼のイメージがうかばなかったので、とりあえずひこにゃんを描きました」や「ひこにゃんを中心にして作りました」などひこにゃんに関する説明があるものを「ひこにゃんタイプ」とした。

彦根城タイプ

「彦根城を表したベロタクシー」や「井伊家の城である彦根城を描いた」などの説明文

を「彦根城タイプ」とした。

混在タイプ

「お城も少し描きました。後ろにひこにゃんを描きました」や「井伊直弼とひこにゃんの仲がいい様子をかいた」など井伊直弼や彦根城とひこにゃんに関する説明を「複合タイプ」とした。また、この混在タイプの井伊直弼に関する説明では、一件、家紋に関する説明があるものの、それ以外は抽象的説明タイプと同じように、具体的説明が無いものであった。

彦根タイプ

「彦根を全国の人に知ってもらいたい」や「とりあえず「150年」を大きくみてもらえるように作ってみました」など150年祭や彦根に関する説明を「彦根タイプ」とした。

タイプごとの説明文の一覧を以下に示す。

表 4.3. 分類ごとの説明文の一覧

タイプ名	説明文	
赤備タイプ	井伊家の赤い鎧兜，馬，刀を描きました	井伊直弼の兜の色を使ってカラフルにしました
	井伊家の色の赤を多く使いました	彦根城の石垣と赤い兜を描きました。
	「井伊の赤備え」をイメージし，赤に井伊の「井」の字をアレンジしてみました	井伊家の赤い甲冑をイメージしてオリジナルキャラクターを作りました。
	「井伊の赤備え」をイメージして誰にでも親しめるチェック柄にしてみました	井伊家の鎧，兜が赤なので赤色をイメージして作りました。
	後ろは，彦根城を描いてみて，タイヤは井伊家の家紋を描いてみた。また，側面は「赤備え」で有名なカブトにしてみた	全体を赤色で塗り，「井伊の赤備え」をイメージさせています。側面には，井伊直弼の肖像が描いていて，背には井伊家の家紋を描きました。
	全体的に井伊家の家紋をカラフルに描きました。「赤鬼」を意識して赤・ピンクなど赤系の色を多めにしました。シートが赤いのも，それを意識したからです。派手とシンプルの間のデザインです	
人物像タイプ	直助は茶の湯道具を作ったのでそれも描きました。	世界に羽ばたく日本の始めです。
	勉強の大大大好きな井伊直弼君が勉強をしている似顔絵	井伊直弼がお茶をたしなんでいると聞いたので
	井伊直弼開国しました。組み立てるのが面倒でした。	桜田門をイメージしました。うしろの柳は埋木舎の木，柳をイメージしました。

	開国の中心となった彦根の井伊直弼の象徴をタクシーに描きました。	井伊直弼と関係の深い黒船と井桁のはた印を大きく後ろに書きました。
	赤色を多く使って、井伊直弼が安政の大獄で流した、血と涙を表現しました。	ベロタクシー全体を、黒船をイメージしました。後ろには井伊家のと分かるようにしました。
	開国によって、世界のフルーツが輸入されることになり、おいしい楽しみが増すことになりました。私の大好きなフルーツをタクシーにして見ました	周りの黒船はせまり来る開国のイメージ。「井伊大老 鎖国の壁を打ち破る」と彦根カルタにまでなっているので、せっかくなので後ろに書いた。開国を迫られた日本の未来を考える直弼のイメージを書いた
家紋タイプ	家紋を大きく描いて目立つようにしました	井伊家の家紋や鎧が描いてある。
	井伊直弼の家紋をかいた	家紋が特徴
	井伊家代々に伝わる家紋をベロタクシーに載せようと思いました。	井伊家の家紋を前にいれ、ホイールには「井」のマークを入れました。また、大老の顔を後ろに貼り付けて彦根に来た方に大老のイメージを着けようと思いました。
抽象イメージタイプ	井伊さんの日常のことを考えて書いた。	井伊直弼を大きく書き、目だたせました。
	井伊直弼をイメージしてデザインしました。	ピンクと緑で、昔っぽい感じを出しました。
	つるぎに桜をつけました	お殿様の駕籠のイメージ
	できるだけ井伊直弼に関する事を書いた。	井伊直弼をカワイク書いてみました。
	井伊直弼と開国 150 年祭をイメージして作りました。	横に井伊と太い字で書くのが少し大変でした
	工夫したところは、横に大老と描いたところです。	井伊さんと彦根市のみんなが観光客を迎える
	井伊直弼の名前もいれました	井伊直弼を中心として作りました。
	井伊直弼がのっていたベロタクシーをイメージしました。	自分で考えた井伊直弼のキャラクターをイメージした。
	作品を作るのも難しく、色をぬるのも難しかった。でも、井伊直弼をイメージできてよかった。	井伊直弼といっしょに旅をしている気分が味わえるように絵をかわいく、大きく強調して書きました。
	ほぼ全体に井伊直弼を描きました。星とかで明るい感じをだしました。	彦根のイメージと井伊直弼っぽいのを合わせてみました
	昔、戦があった時のイメージの色が赤なので、車体を赤にした	井伊直弼の優美なところを城山の桜の美しさで表現しました
ひこにゃんタイプ	ひこにゃんを中心にして作りました	刀をイメージしてひこにゃんを武士っぽくしました
	ひこにゃんの元気なかんじをだしてみました。	ひこにゃんをかいて、彦根をアピールした。
	ひこにゃんが雪だるまになっている	ひこにゃんとしまさこにゃんをイメージしました。
	ベロタクシー全体がひこにゃんになっています。前から見るとかわいいい!	ひこにゃんをたくさん描いた。開国 150 年祭をアピールした。
	お殿様を雷から守ったにゃんこがたくさんかかれたベロタクシーです。	車全体がひこにゃんのすずでまいてあるようにしてみました。
	あまりいい絵が思いつかないから、ひこにゃんにした。	井伊直弼のイメージがうかばなかったので、とりあえずひこにゃんを描きました。

	彦根城と400年祭のキャラクターひこにゃん、しまさこにゃんが書いてあるペロタクシーに乗れたらいいなあ、と思って描きました。	サドルについているひこにゃんと、横に描いてあるニコニコ顔は乗ってくれた人がみんな笑顔になって欲しいとからです。
	ひこにゃんをメインにして、開国150年をアピールしました。ひこにゃんの足跡をたどると、彦根にいけるデザインにしました。	ひこにゃんのカブトみたいに赤と黄色にしました。お父さんと一緒に作りました。ひこにゃん・どろちゃん・おとのさまのついたタクシーにのりたいです。
	キャラクターのひこにゃんとやちにゃんを書きました。(みんなが乗りやすい様に人気のキャラクターを書いた)ペロタクシーに乗ってともだちを作ってほしいと思いこのタイトルにしました。	
彦根城タイプ	彦根城に住む白鳥をイメージ	彦根城を横と後ろに描きました
	彦根城を表したペロタクシー	後ろの彦根城が特徴です。
	タクシーの後ろにお城の絵があります。	井伊家の城である彦根城を描いた
	彦根城の美しい四季を表現して、やりました。	タクシーの後ろに彦根城天守閣を描いた。
	琵琶湖をイメージした青色と、彦根城を描きました。	彦根城の風景を描きました。桜の花びらが散っている絵と、散ってない絵があります。
混在タイプ	井伊直弼とひこにゃんの仲がいい様子をかいた。	ひこにゃんと彦根城をメインにいろいろ描いた。
	ひこにゃんと彦根城の絵を大きく書いた。	井伊直弼からひこにゃんへ歴史が受け継がれていく。
	井伊直弼とひこにゃんが城を守っている様子	井のマーク、ひこねといえ、お城とひこにゃん
	大きな彦根城とひこにゃんが好きだから。	井伊直弼のお城だった彦根城とみんなが大好きな「ひこにゃん」を描きました。
	昔の直弼と今のひこにゃんがマッチするよう色あいと模様などを工夫した。	井伊の「井」をたくさん使いました。中の隠れひこにゃんに注目して欲しいです。
	彦根というのをローマ字でかき工夫しました。ひこにゃんとおとのさまを書きました。	お城も少し描きました。後ろにひこにゃんを描きました。すこし描きにくかったけど上手に描けました。
	彦根の名物ひこにゃんと150年祭の井伊直弼をデザインしました。あと、150周年であることをアピールしました。	私の中で彦根城と井伊直弼といえば、「桜」だったので、桜とひこにゃんを描きました。
	私は開国150年祭のキャラクターひこにゃんと私が彦根城で一番きれいだと思う季節「春」を合わせて描いたら、いいと思ったのでこの二つを描いてみました。	ひこにゃんと井伊直弼をコラボさせました。考えたところは、前の部分に井伊家の家紋「橘紋」をつけたところです。井伊直弼のキャラクターも考えました。
	シートに井伊直弼が両手を広げて座っているので、一緒に座っている気持ちになります。ひこにゃんと井伊直弼の本当の大きさの足跡があって、自分の足の大きさと比べれます	
彦根タイプ	彦根の有名なものを描きました。	彦根を全国の人に知ってもらいたい
	彦根っぽさができるようにしました。	彦根に人が来ますように。
	とりあえず「150年」を大きくみてもらえるように作ってみました	一目で彦根のタクシーと分かるようにデザインしました

	色を考えてぬりました。彦根のイメージの色をぬりました。彦根のことをめだたせて、デザインしました。	「滋賀県彦根市と彦根城をおうえんしています！」という意味で作りました。
	作品のタイトルである「開国 150 年」を意識して、デザインしました	目立つように赤などのラインをひきました、「彦」のマークがこのペロタクシーのマークです。
	「明るい街」をイメージできるようにしたかったので明るい色を大量に作りました。	
その他	作品のデザインにすごく苦労しました	ハンドルの部分にくろうした
	苦労したところは、ハンドルなどをつけるところです。	E L M O が好きだから彦根と組み合わせた。
	みんながにこにこになるように、世界中仲良しです。	桜がメインです
	色づくり工夫した。	車体を水色に塗って空をイメージしました
	のりで無理だったところは、テープを使った。	ペロタクシーは初めて作ったけど上手に作れたのでよかったです。
	緑は青々としげる木、茶はおいしく育つ茶っ葉、青はしんせんなかんじを表す色です。	こく所の向きとか間違えたので、はりなおすのに苦労した。
	花でかわいくしました。明るくなるように黄色を使いました。	座席を間違えて作ってしまった。のりでくっつかないところはゼロハンテープで貼った。
	組み立てにかなり手こずり、かなりの時間がかかりました。	ハンドルをくっつけたり色を塗ったり組み立てる場所を合わせたりするのがすごく難しかった。細かい部分はとても色を塗るのに苦労しました。

説明文のタイプごとの出現点数と、学年ごとの出現点数を以下に示す。

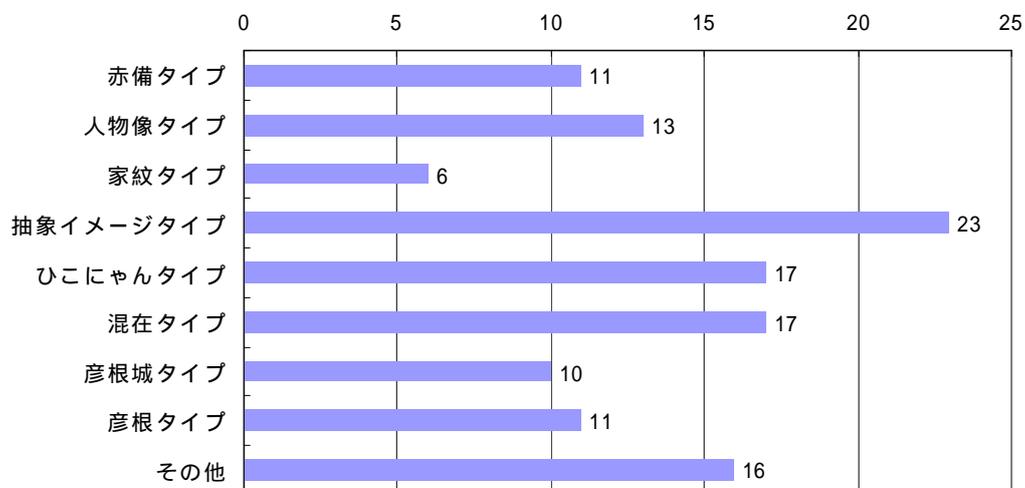


図 4.16 説明文の出現点数 (n=122)

表 4.4. 学年ごとの説明文タイプの出現点数

	小学 5 年生以下	小学 6 年生	中学 1 年生	中学 2 年生	中学 3 年生	合計
赤備タイプ	4	2	0	1	4	11
人物像タイプ	2	3	1	5	1	12
家紋タイプ	1	3	1	1	0	6
抽象イメージタイプ	6	9	1	1	5	22
ひこにゃんタイプ	4	6	2	3	2	17
混在タイプ	7	3	1	3	3	17
彦根城タイプ	1	4	1	3	1	10
彦根タイプ	2	1	4	3	1	11
その他	7	3	3	3	0	16

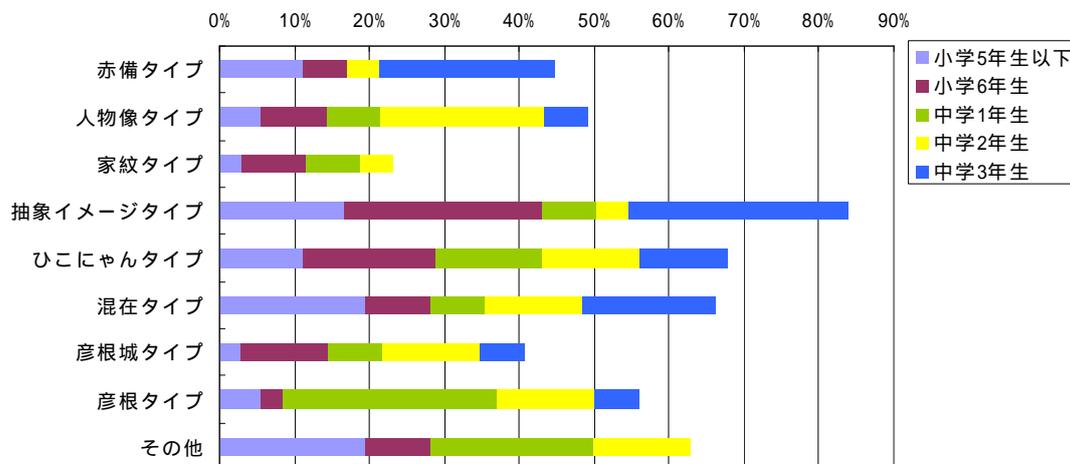


図 4.17 学年ごとの説明文の出現頻度 (n=122)

説明文の傾向としては、混在タイプでは、一件、家紋に対する説明があるものの、それ以外は抽象的説明タイプと同じく、具体的説明が無い。このことから井伊直弼に対し、具体的イメージを持たない応募者は、ひこにゃんが井伊直弼のイメージとして用いられると考えられる。

説明文におけるタイプの出現点数は抽象的説明タイプのものももっとも多く、次いでひこにゃんタイプ、混在タイプが多かった。これは井伊直弼のイメージがしづらく、このような抽象的説明もしくは、ひこにゃんの説明が加わったものと考えられる。

学年ごとの傾向としては、小学生以下での抽象的説明タイプの出現点数が 60%以上占めており、小学生では井伊直弼の具体的イメージや知識が少ないと考えられる。また、その他に出現数に高かったひこにゃんタイプや混在タイプも小学生以下に多く出現している。このことから、小学生以下では井伊直弼の具体的イメージや知識が少ないと考えられる。

以降は各説明文のタイプにおけるデザインの傾向について考察する．説明文のタイプとデザイン・ロゴとをクロス集計を行うことで，タイプ間における，デザイン・ロゴの傾向を考察する．各説明文のデザインの出現頻度を以下に示す．

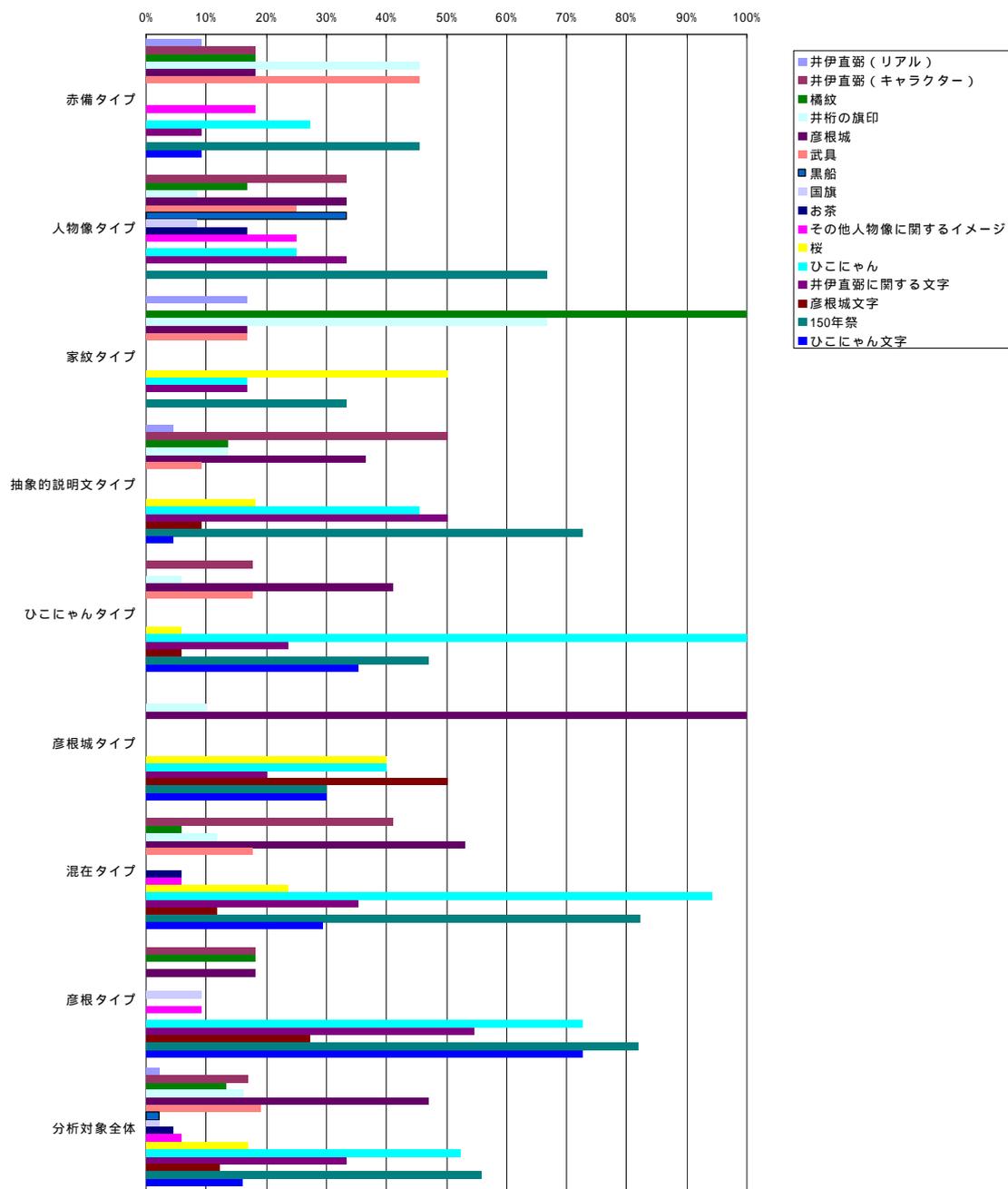


図 4.18. 各説明文のデザインの出現割合

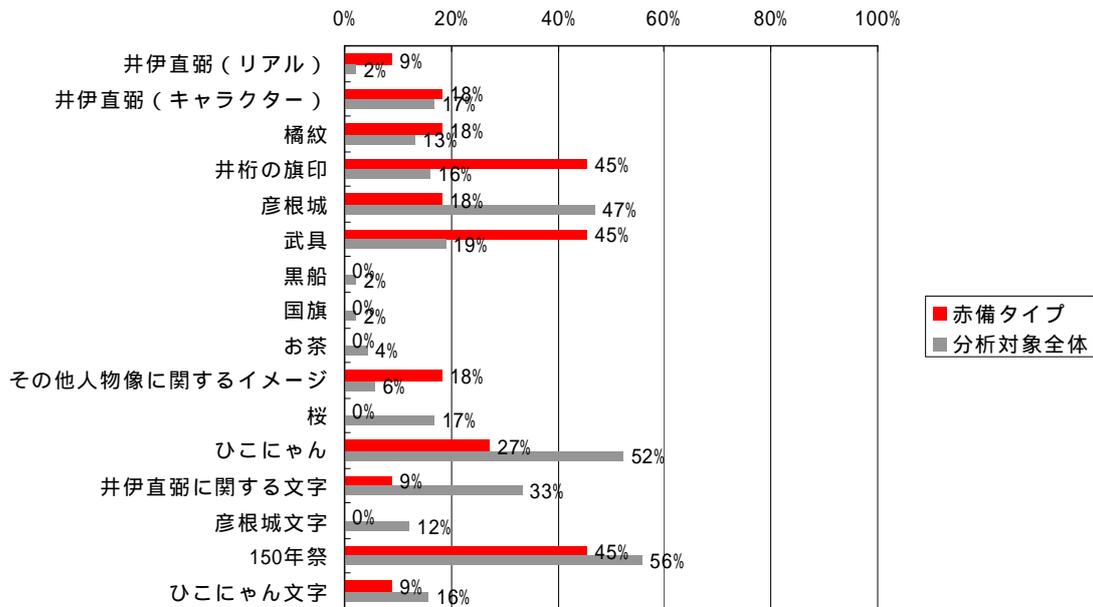


図 4.19. 赤備タイプにおけるデザインの出現割合 (n=11)

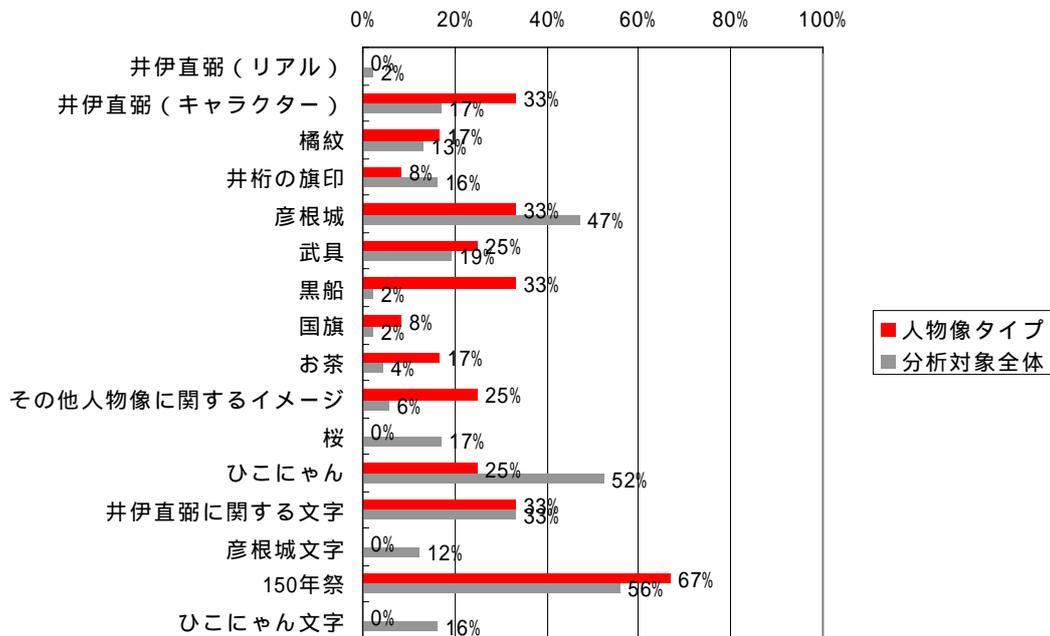


図 4.20. 人物像タイプにおけるデザインの出現割合 (n=12)

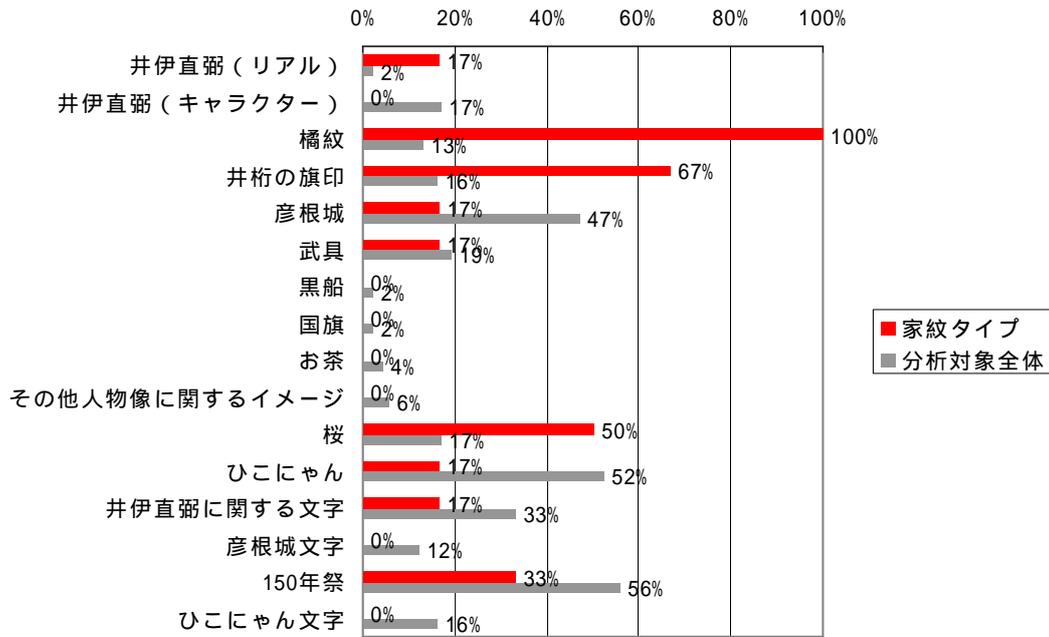


図 4.21. 家紋タイプにおけるデザインの出現割合 (n=6)

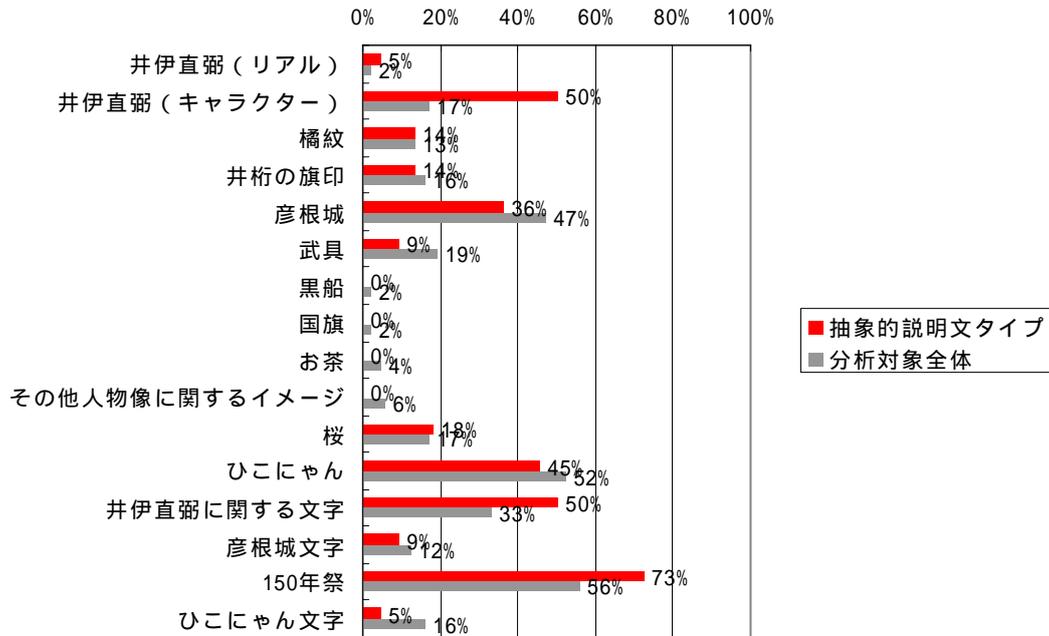


図 4.22. 抽象イメージタイプにおけるデザインの出現割合 (n=22)

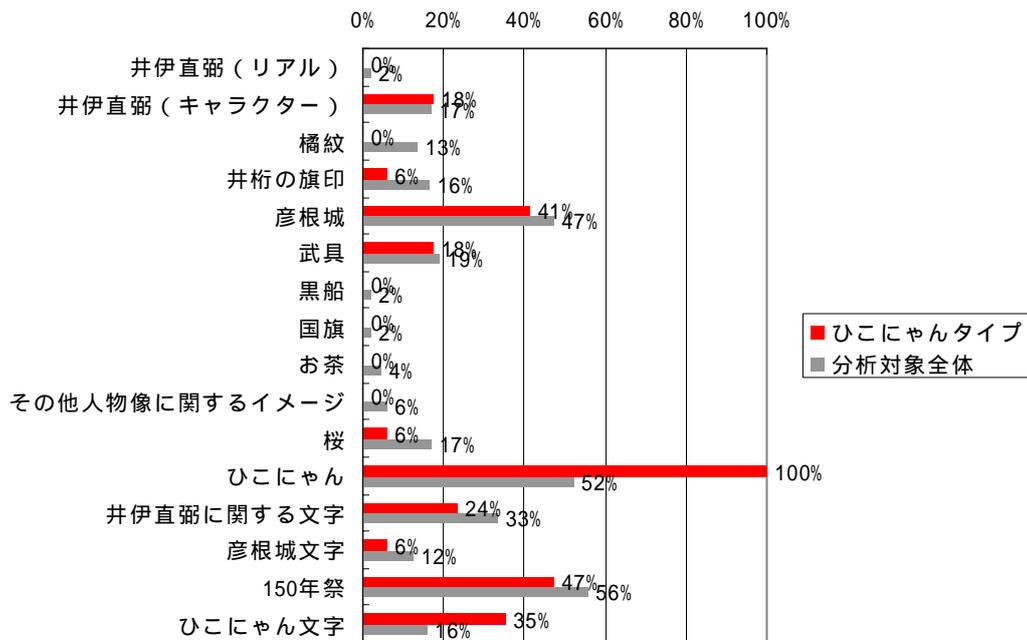


図 4.23. ひこにゃんタイプにおけるデザインの出現割合 (n=17)

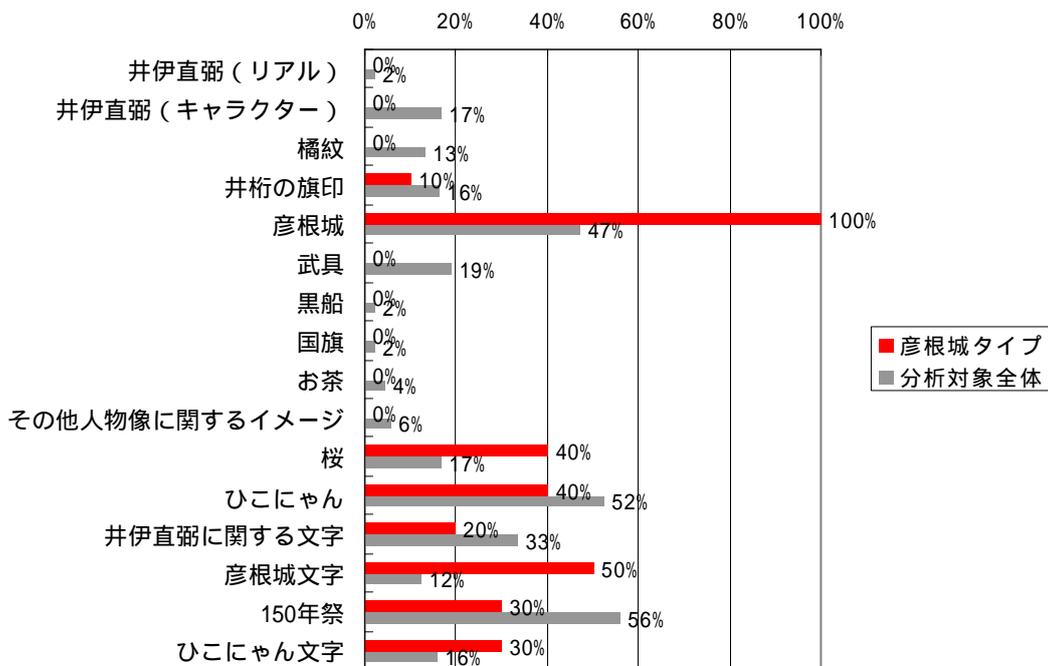


図 4.24. 彦根城タイプにおけるデザインの出現割合 (n=10)

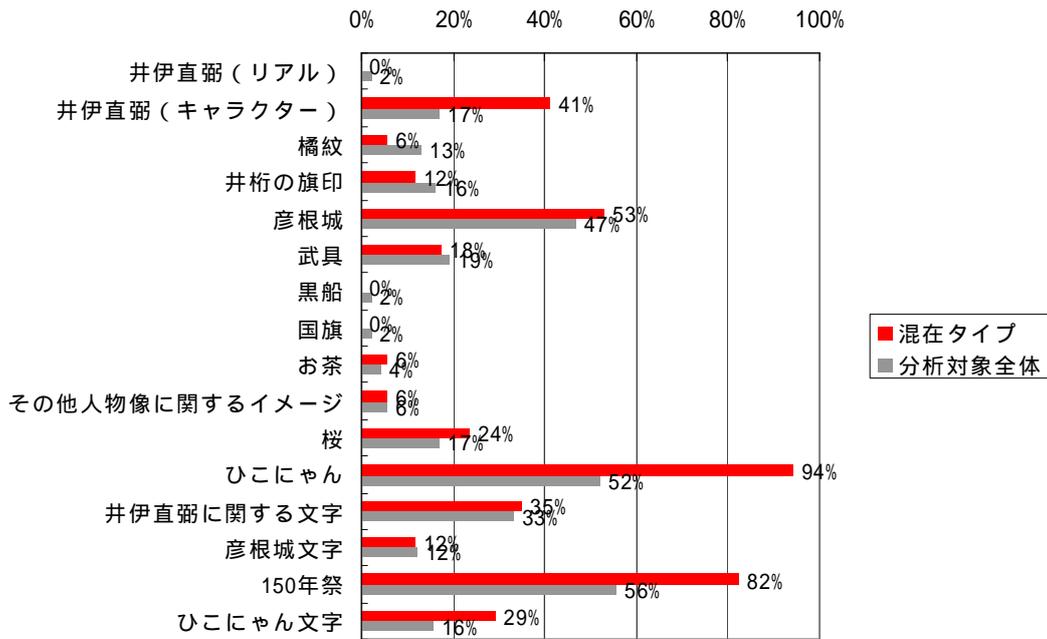


図 4.25. 混在タイプにおけるデザインの出現割合 (n=17)

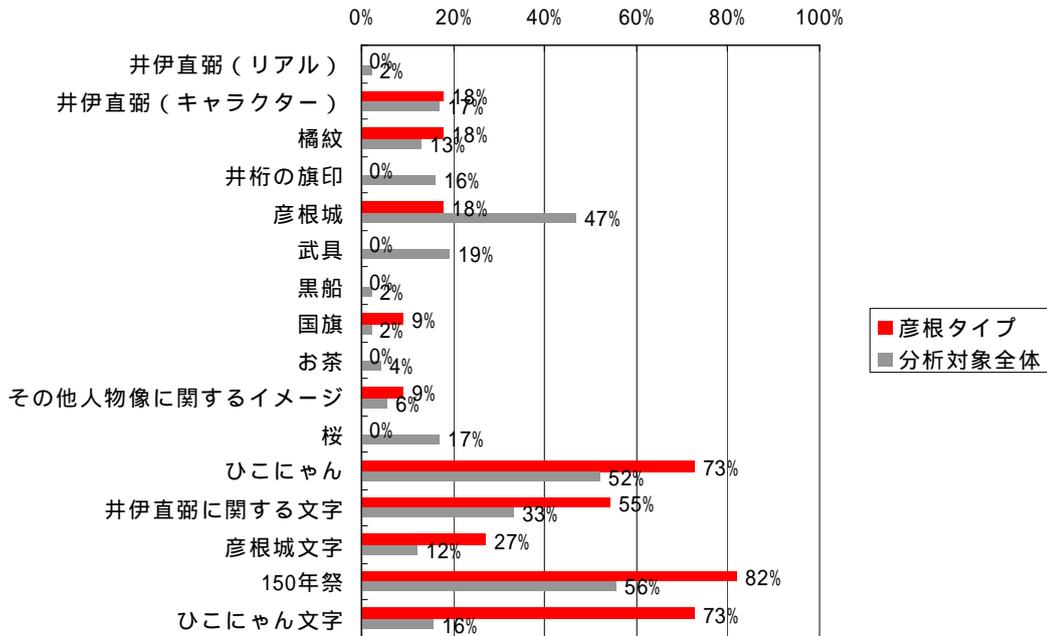


図 4.26. 彦根タイプにおけるデザインの出現割合 (n=11)

以上の集計結果から、各説明文のタイプにおける井伊直弼のイメージは赤備タイプのデザインの傾向としては、武具のデザインの出現数が分析対象全体に比べ高い。これは説明

文にあるように、井伊の赤備を意識しているためだと考えられる。井桁の旗印も出現割合が高くなっており、旗印は戦場で目印として用いるもの³⁾なので、赤備の武具としてのイメージが作用していると考えられる。また、井伊直弼の行った開国に関するデザインや、お茶などの人物像を表すデザインは存在しなかった。加えて、分析対象全体での出現割合の高かった彦根城やひこにゃんの出現割合が低くなっている。よってこのタイプは井伊直弼のイメージとして彦根城やひこにゃんのイメージがなく赤備のイメージが強いと考えられる。

人物像タイプのデザインの傾向は、説明文にあるように黒船や、国旗、お茶など井伊直弼の人物像に関するデザインが分析対象全体に比べ多い。また、赤備タイプと同じく、彦根城やひこにゃんのデザインが減少傾向にあるが、デザインしにくいものはロゴとして出現する傾向にあると述べた、井伊直弼のロゴが減少していない。よってこのタイプは井伊直弼のイメージとして彦根城やひこにゃんのイメージがなく、井伊直弼の人物像のイメージが強いと考えられる。

家紋タイプのデザインの傾向は、説明文の通り、橘紋がすべての作品に出現しており、井桁の旗印も分析対象全体の出現率より高い。また、桜のデザインも出現割合も高く、井伊直弼、もしくは井伊家の家紋のイメージとして桜のイメージがあると考えられる。ひこにゃん、彦根城に関するデザインの出現頻度画が全体より低いことから、このタイプでの井伊直弼のイメージとしてひこにゃん、彦根城があまり無いと考えられる。

家紋タイプのデザインの傾向は、抽象的説明タイプにおいては、キャラクタータイプの井伊直弼が多く出現している。また、井伊直弼の文字の出現率が全体に比べて高く、あまり具体的イメージが無いと考えられる。

家紋タイプのデザインの傾向は、説明文の通り、ひこにゃんのデザインがすべての作品において出現している。その他井伊直弼に関する、デザインが出現していないことから井伊直弼のイメージが乏しく、井伊直弼のイメージとしてひこにゃんのイメージが強いと考えられる。

彦根城タイプのデザインの傾向は、説明文のとおり、彦根城の出現がすべての作品で見られる。そのほかのデザインとしては桜のデザインが全体に比べて多く出現しており、彦根城のイメージに桜があると考えられる。

混在タイプのデザインの傾向は、説明文のとおり、井伊直弼のキャラクター、彦根城のデザインにあわせて、ひこにゃんのデザインが多く出現している。また合わせて、150年祭のロゴが多く出現していることから、ひこにゃんと井伊直弼、もしくは、彦根城の二つのイメージとして150年祭があると考えられる。

彦根タイプのデザインの傾向は、ひこにゃんの出現数が多く、150年祭のロゴやひこにゃんの文字が多く出現していることから、彦根や150年祭のイメージにひこにゃんがあると考えられる。

4.4. 学年ごとの作品の傾向

学年ごとの説明文の出現頻度とデザインの出現頻度を以下に示す。

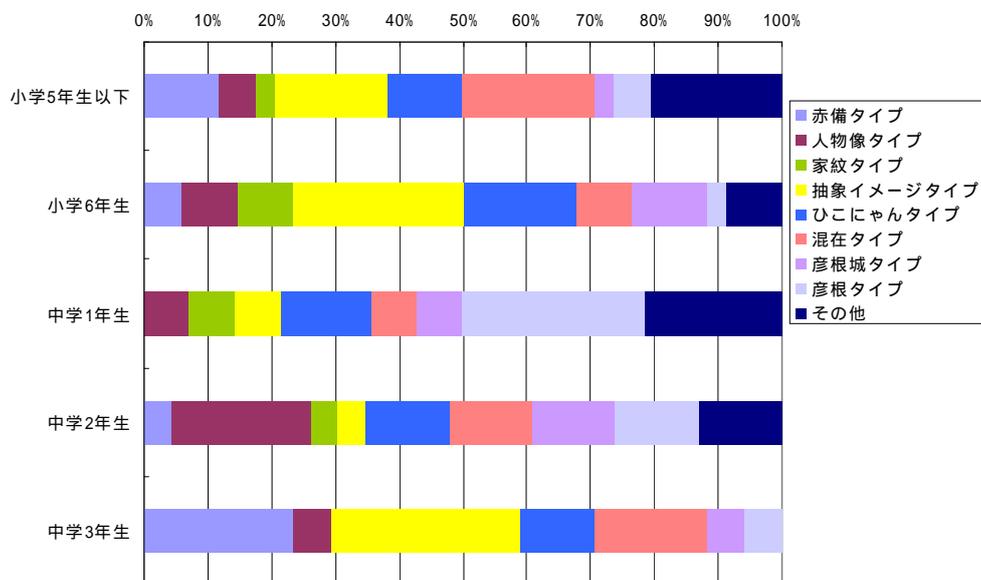


図 4.27. 各学年の説明文の出現割合

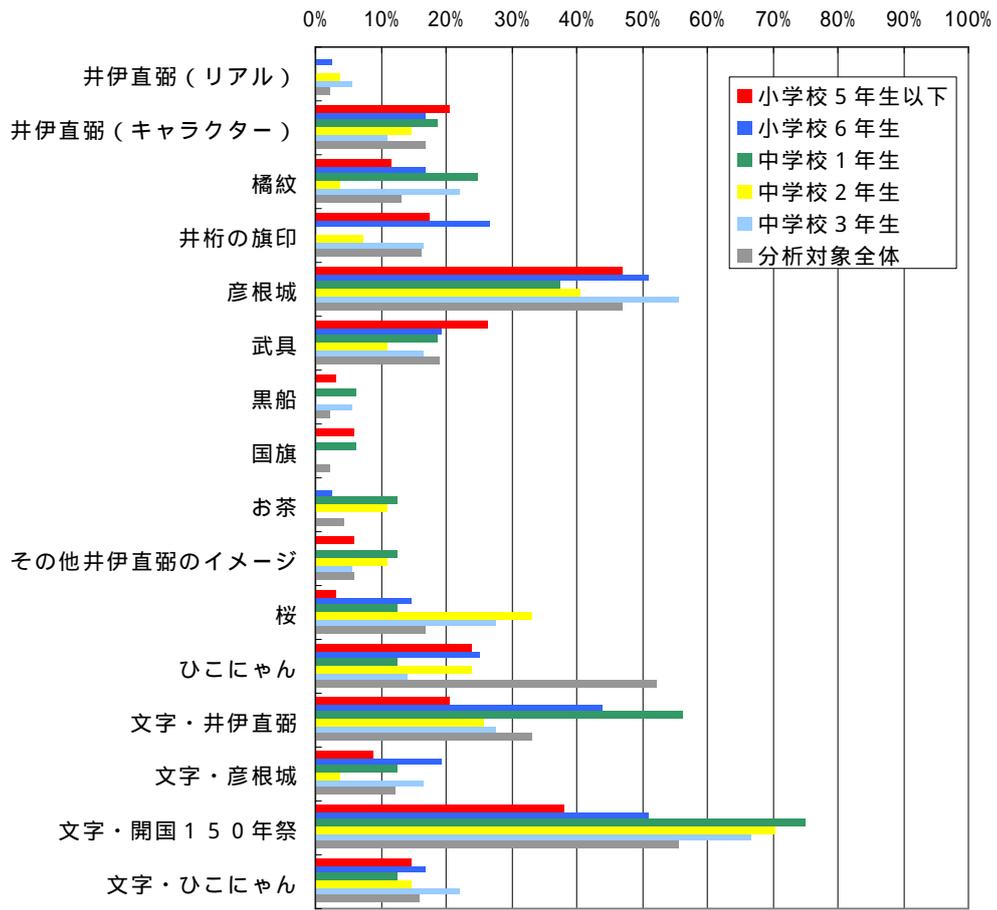


図 4.28. 各学年のデザインの出現割合

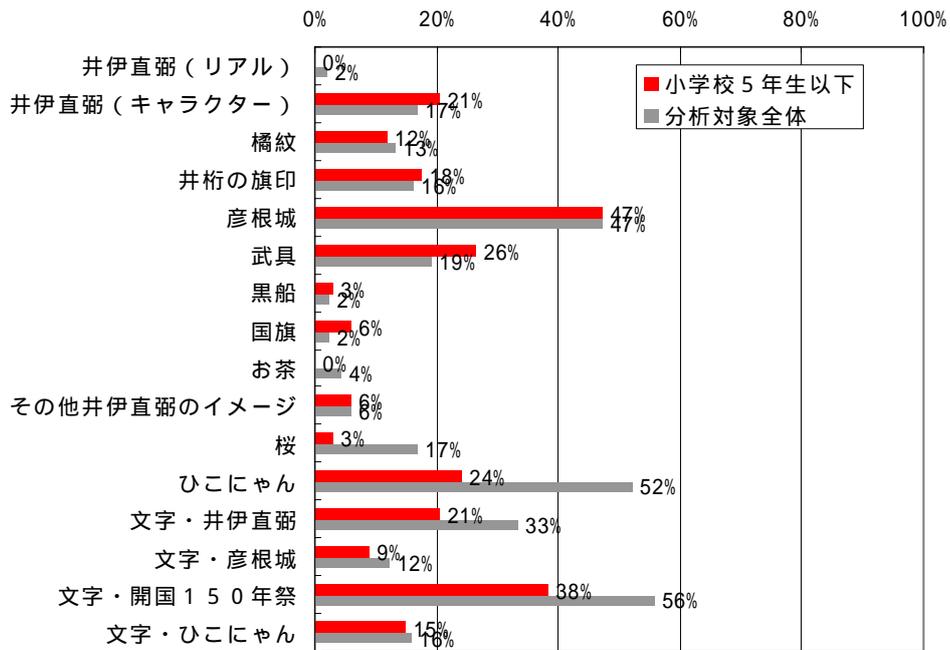


図 4.29. 小学校5年生以下のデザインの出現割合 (n=34)

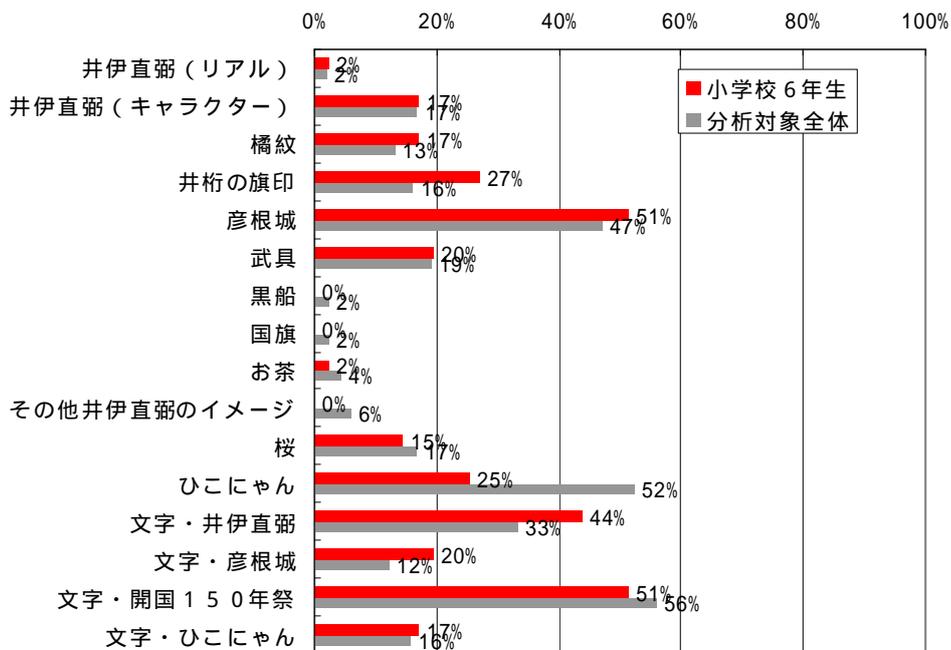


図 4.30. 小学校6年生のデザインの出現割合 (n=41)

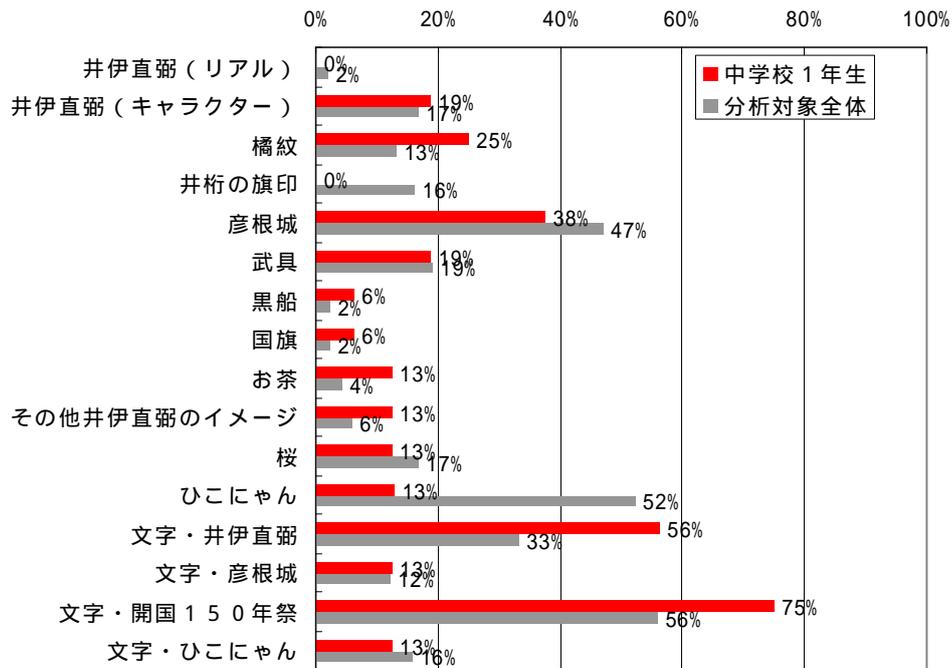


図 4.31. 中学校1年生のデザインの出現割合 (n=16)

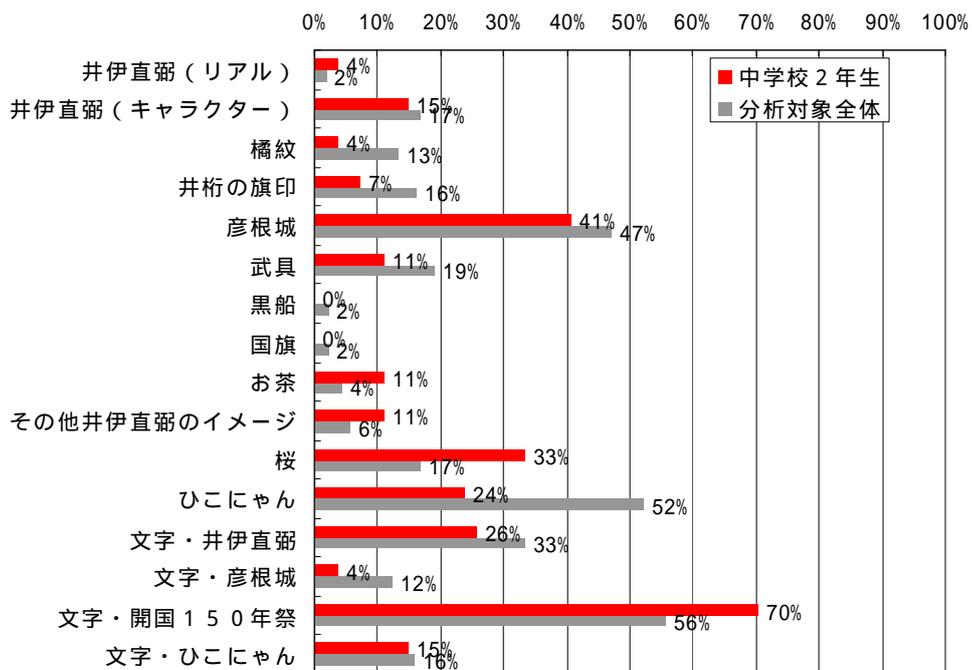


図 4.32. 中学校2年生のデザインの出現割合 (n=27)

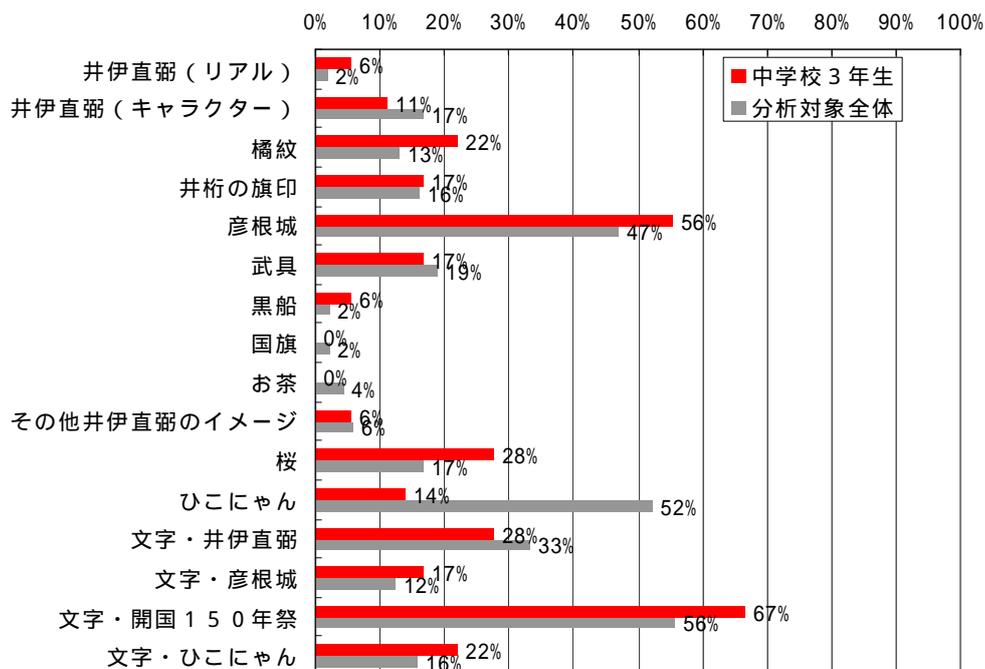


図 4.33. 中学校 3 年生のデザインの出現割合 (n=18)

以上の集計結果から、説明文の学年ごとの説明文の傾向では、タイプごとの出現にばらつきがあることから学年ごとに、井伊直弼のイメージの傾向は無いと考えられる。また、学年ごとのデザインの傾向を見た際、150年祭に関するロゴが小学生に比べ中学生で増加している(図 4.33.)ことから、学年があがるにつれてコンクールの意図を理解していると考えられる。また、井伊直弼(キャラクター)と武具のデザインが中学生に比べ小学生に多く、中学生以上では減少傾向にある(図 4.34.)。これは井伊直弼に関する知識が小学生は中学生に比べ乏しく、歴史上の人物としてのイメージからこれらのデザインが出現されたと考えられる。それ以外のデザインにおいては、デザインごとの出現頻度に差が見られないことから、学年における井伊直弼のイメージに余り差が無いと考えられる。

ロゴ・開国150年祭

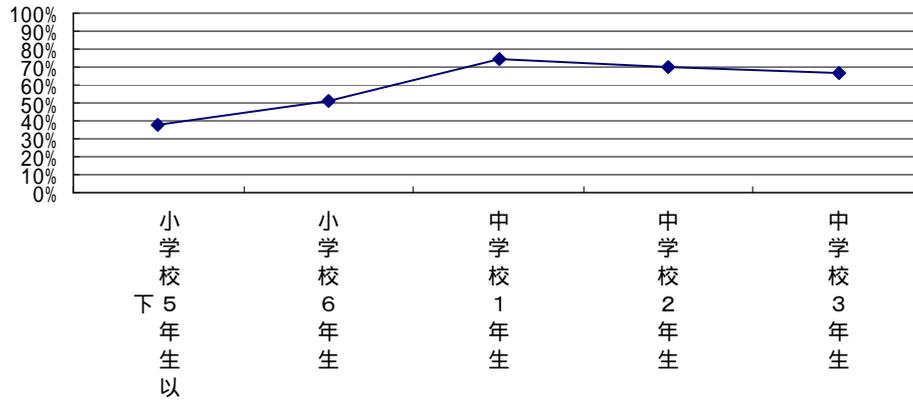


図 4.34. 学年別 ロゴ・150年祭の出現割合

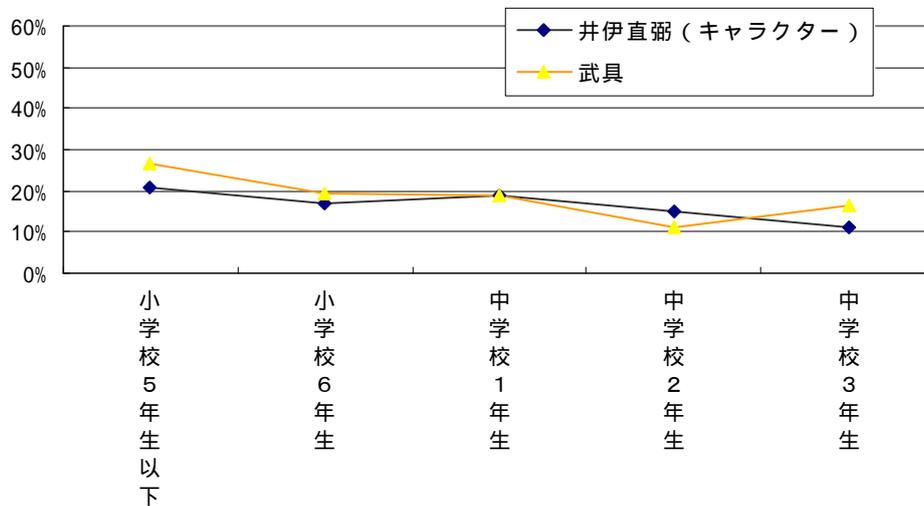


図 4.35. 学年別 井伊直弼 (キャラクター)・武具の出現割合

4.5. 学校ごとの作品の傾向

城陽小学校，旭森小学校，西中学校，東中学校，南中学校ごとのデザインの傾向を以下に示す。

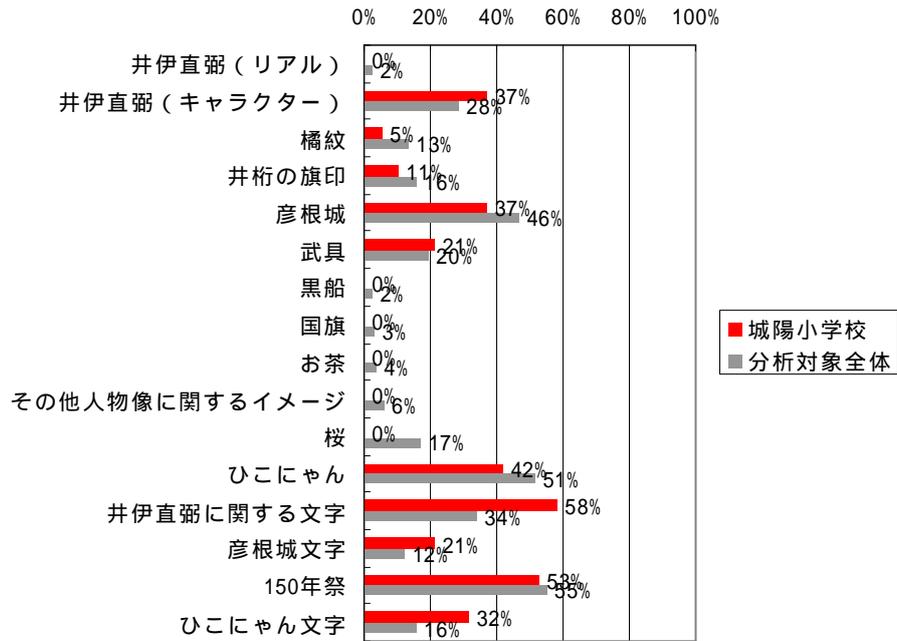


図 4.36. 城陽小学校におけるデザインの出現割合 (n=27)

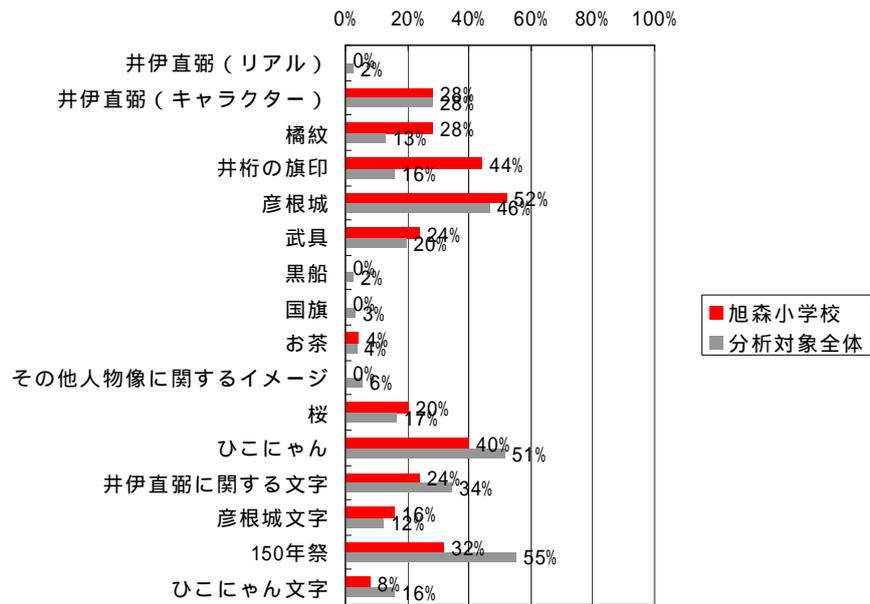


図 4.37. 旭森小学校におけるデザインの出現割合 (n=47)

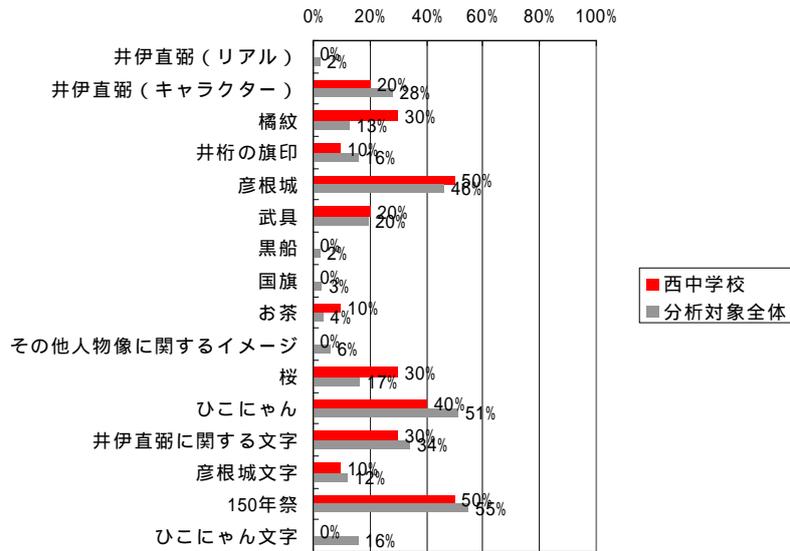


図 4.38. 西中学校におけるデザインの出現割合 (n=13)

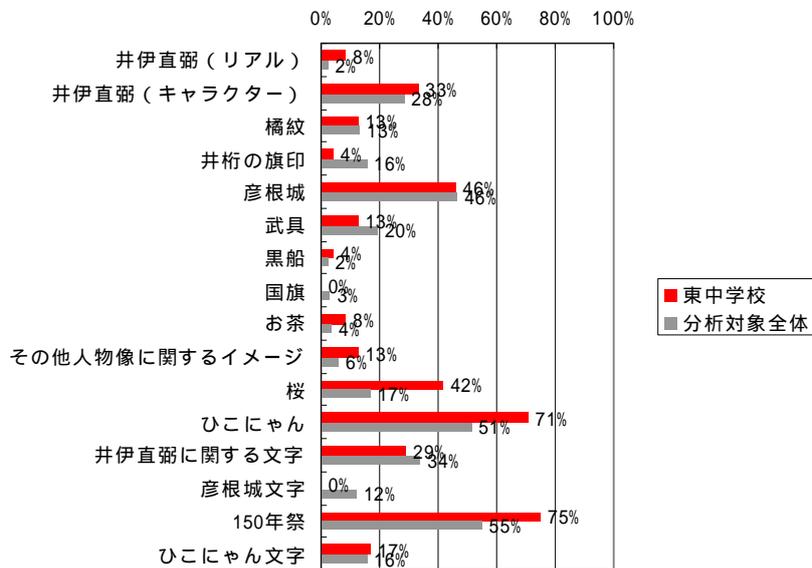


図 4.39. 東中学校におけるデザインの出現割合 (n=24)

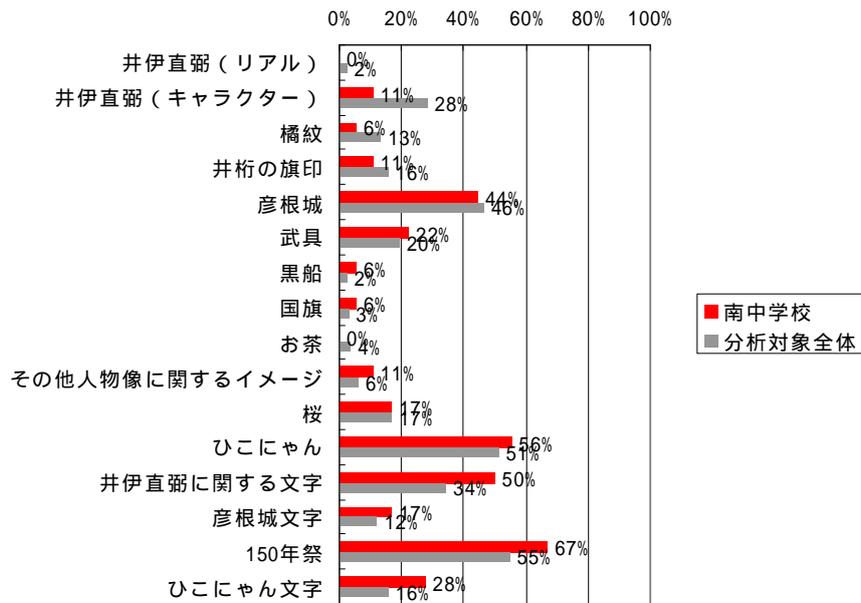


図 4.40. 南中学校におけるデザインの出現割合 (n=19)

以上，城陽小学校，旭森小学校，西中学校，東中学校，南中学校ごとの作品の傾向から学校ごとのデザインの出現傾向と，分析対象全体の出現傾向とにあまり大きな差が見られなかった．これは，学校ごとに井伊直弼のイメージがあまり無いと考えられる．また，西中学校，南中学校においては 150 年祭に合わせた，特別な歴史学習の受講後にもかかわらず，受講していない東中学校，旭森小学校，城陽小学校とあまり変化が無いことから，井伊直弼のイメージは学校の授業などよりも，個々人の興味などにより変化すると考えられる．

4.6. 作品から見た井伊直弼のデザインのまとめ

今回のコンクールでの説明文を，赤備タイプ，人物像タイプ，家紋タイプ，抽象イメージタイプ，ひこにゃんタイプ，彦根城タイプ，混在タイプ，彦根タイプの 8 つのタイプ分けることが出来た．これらの特徴として，

赤備タイプは井伊直弼のイメージとして武具，井桁の旗印のイメージが強いと考えられる．

人物像タイプは井伊直弼のイメージとして開国やお茶のイメージが強いと考えられる．家紋タイプは井伊直弼のイメージとして，家紋があり，また，桜のイメージもつよいと考えられる．

抽象イメージタイプでは，井伊直弼のイメージでキャラクター化された井伊直弼が多く出現したことから，あまり明確なイメージは無いと考えられる．

ひこにゃんタイプは，井伊直弼のイメージとしてひこにゃんのイメージが強いと考え

られる。

彦根城タイプは、井伊直弼のイメージとして彦根城のイメージが強いとかがえらる。混在タイプの井伊直弼のイメージとしてはひこにゃんのイメージが強く、かつこの二つから150年祭のイメージがあると考えられる。

彦根タイプの井伊直弼のイメージとしては、ひこにゃんのデザインが多いことから、ひこにゃんのイメージが強いと考えられる。

赤備タイプ、人物像タイプ、家紋タイプのデザインには、ひこにゃん、彦根城のデザインが分析対象全体に比べ出現頻度が低く、抽象イメージタイプ、ひこにゃんタイプ、混在タイプ、彦根タイプではひこにゃんの出現数が高いことから、井伊直弼のイメージにおいて、赤備や、開国、茶、家紋などの具体的イメージがある人には、ひこにゃんのイメージがあまりなく、井伊直弼に対して具体的イメージを持たない人にとっては井伊直弼の代わりに彦根市のイメージとしてひこにゃんのイメージが存在すると考えられる。

学年ごとの井伊直弼のイメージの傾向としては、小学生以下ではキャラクター化された井伊直弼や歴史上の人物として武具などのデザイン、が中学生に比べ出現率が高いことから、井伊直弼の知識が乏しいことが伺える。しかしながら全体のデザインと学年との間に相関した差が見られないことから、学年ごとのにおける井伊直弼のイメージにあまり差が無いと考えられる。

学校ごとの傾向としては、学校ごと、分析対象全体とのデザインの出現頻度にあまり差が見られないことから、城陽小学校、旭森小学校、西中学校、東中学校、南中学校で井伊直弼のイメージに差が無いと考えられ、また全体のイメージともあまり変わりが無いと考えられる。

【参考文献及び脚注】

- 1) 井伊直弼と開国 150 年祭公式サイト < <http://www.hikone-150th.jp/> > , 2009-1-08
- 2) Wikipedia ひこにゃん < <http://ja.wikipedia.org/> > , 2009-3-12
- 3) Wikipedia 旗印 < <http://ja.wikipedia.org/> > , 2008-12-25
- 4) 小・中・高校教育に関すること（学習指導要領） - 文部科学省
< http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/youryou/main4_a2.htm > , 2008-12-05

5.1. 緒言

本研究の目的は、ペロタクシー・デザインコンクールから彦根市の小学生・中学生における井伊直弼のイメージを明らかにすることであった。本章では、各章のまとめ、結論、今後の課題を述べる。

5.2. 各章のまとめ

各章のまとめを述べる。

第一章では、本研究の背景、目的・意義と既存研究から見た本研究の位置づけを述べた。

第二章では井伊直弼の文献を調査することにより、井伊直弼がどのように捉えられているか、また彦根市で、井伊直弼がどのように扱われているかを述べた。

第三章では、本研究の研究対象である「夏休みペロタクシー・デザインコンクール」についての概要、分析方法について述べた。

第四章では分析対象のデザインや説明文の単純集計や、クロス集計により学年別、学校別のデザインの傾向などについて結果を述べた。

5.2.1. デザインコンクールの傾向

デザインの単純集計の結果から、最も多く出現しているデザインはひこにゃんであり、ついで彦根城であることから、井伊直弼のイメージとして、ひこにゃん、彦根城がイメージとして強いと考えられる。

しかしながら、赤備や、開国、お茶などのイメージが出現数が低いものの存在しており、これらのイメージではあまりひこにゃんのデザインが存在しないことから、井伊直弼に関する明確なイメージがある応募参加者には、井伊直弼=ひこにゃんというイメージは弱いと考えられる。

また、ひこにゃんは、説明文中にひこにゃんに関する説明が無くとも、ひこにゃんのデザインが出現する傾向が強いことから、単純に井伊直弼のイメージというよりも、彦根のイメージでデザインされている可能性が高い。今回のコンクールは全体として、応募参加者にはイメージしづらく、難解であると考えられる。

5.2.2. 学年別のデザインの傾向

学年ごとのデザインの差はあまり見られず、どの学年にも井伊直弼のイメージはありと考へら得る。よって井伊直弼に関するイメージには、歴史教育などが左右されていないと考へられる。

5.2.3. 学校別のデザインの傾向

城陽小学校、旭森小学校、西中学校、東中学校、南中学校のデザインの出現傾向にあま

り差は見られないことから、この学校間にイメージにあまり差がないと考えられる。また、分析対象全体のイメージともあまりデザインに差が見られないことから、全体のイメージともあまり変わりが無いと考えられる。このことから井伊直弼のイメージは学校における郷土学習などの影響よりも、井伊直弼に対する明確なイメージは個々人の井伊直弼の興味に左右されると考えられる。

5.3. 結論

井伊直弼のイメージとして存在するものは、赤備や、開国、お茶であり、これらは歴史授業で習うものではないことから、郷土学習の受講が大きく関わっているものと考えられる。

また、これらのイメージではひこにゃんのデザインがあまり出現していないことから、井伊直弼とひこにゃんが同じイメージでないと考えられる。

今後、井伊直弼を用いた郷土学習や、顕彰活動では、出現数が少なかった赤備や、開国、お茶などの文化人としてのイメージを押し出すべきであると考えられる。特に、赤備については、彦根のイメージカラーが赤という説明文とあったことから、井伊直弼に対し明確なイメージを持っていないとも、彦根のイメージとして根付いていると考えられるため、赤色を使ったイベントや、井伊直弼の知識、イメージを伝えるのに、有効であると考えられる。

しかしながら、ひこにゃんのデザインが多く出現していることは事実であり、今後、井伊直弼のイメージにとってかわる可能性はありえる。今後、ひこにゃんをもとに井伊直弼を発信していくも必要であると考えられる。

5.4. 今後の課題

- ・ コンクールの作品では全体的に無地のままにデザインを描き提出されている作品が多かったが、井伊の赤備を意識した色として車体全体を赤色に塗られている作品が見られた。また説明文中に彦根のイメージの色として、赤色に塗られている作品が存在した。このように、赤色が井伊直弼のみならず、彦根のイメージカラーとして、赤色があると考えられる。このことから、作品を無地ではなく色を塗ってもらうように促すことや、意識する色などを抽出する必要があると考えられる。
- ・ 本研究の分析対象として、デザインコンクールの作品を選んだが、コンクールということもあって、井伊直弼の否定的イメージのデザインが集まりにくかったと考えられる。作品に対する説明文で、「赤色を多く使って、井伊直弼が安政の大獄で流した、血と涙を表現しました」という記述があったのみである。井伊直弼は、そのイメージが分かれば、イメージを明らかにするのであれば、このような否定的イメージも、アンケートなどで抽出する必要があると考えられる。

- ・ 研究の意義が、今後の井伊直弼を用いた顕彰活動について提案することであり、現在、彦根市で開催されている150年祭や、2007年に開催された「彦根城築城400年祭」などにおける、イベント、井伊直弼の評価など把握し、本研究から得られたデータとを比較して考察する必要があると考えられる。
-

A p p e n d i x

デザインコンクールで用いたチラシ
授賞作品発表セレモニーの様様
応募作品の一覧

夏休みペロタクシー・デザインコンクール 全作品展示会および表彰セレモニー

**入場
無料**

彦根では今、「井伊直弼と開国 150 年祭」が開催されています。彦根城周辺でペロタクシーを走らせている五環生活では、このことを記念して、「井伊直弼」をイメージしたペロタクシーデザイン画のコンクールを開催しました。

その結果、市内小中学生を中心として、なんと 186 点もの力のかもった作品が届きました。

とても楽しいそして、よく考えられたデザインが集まりましたので、応募全作品の展示会、そして、表彰セレモニーを下記のとおり開催することになりました。皆様のご来場お待ちしております！！

**応募総数
186 点!**

**君や友だちの
作品はあるか
な?**

● ペロコン応募全作品展示会 in 彦根市役所
日時 2008 年 11 月 26 日 (水) ~ 28 日 (金)
10:00 ~ 17:00 ※28日は午前中まで
場所 彦根市役所 1F ロビー (彦根駅徒歩 5 分)

**たくさんの
応募ありがとう!**

● ペロコン応募全作品展示会および表彰セレモニー
日時 2008 年 11 月 30 日 (日)
10:00 ~ 19:00
(表彰セレモニーは 11:00 ~ 11:30)
場所 VIVAcity ウェルカムプラザ (南彦根駅徒歩 5 分)

**表彰セレモニーで
は、最優秀作品デザインを
フルラッピングした
「井伊直弼ペロタ
クシー」が初め
で登場します!**

五環生活
GOKAN SEIKATSU
からだからはじめ、
暮らしを見なおす。
もっと楽しく。

主催: 特定非営利活動法人五環生活
〒522-0063 滋賀県彦根市中央町1-12
お問い合わせ先
Tel & Fax: 0749-26-1463
mail@gokan-seikatsu.jp
http://gokan-seikatsu.jp/

共催: 滋賀県立大学環境科学部近藤研究室
後援: 彦根市、彦根市教育委員会、滋賀県、
滋賀県教育委員会
「井伊直弼と開国150年祭」市民創造事業
協賛: 文具のヤマモト株式会社

井伊直弼と開国150年祭 **VELO TAXI**
HIKONE Partner

授賞セレモニーの様子
最優秀賞作品 筆者撮影



優秀賞作品 筆者撮影



優秀賞作品 筆者撮影



ペロタクシードライバー賞 筆者撮影



ペロタクシードライバー賞 筆者撮影



展示会の様子 筆者撮影



展示会の様子 筆者撮影



授賞セレモニーの様子 筆者撮影



応募作品の一覧

No.	タイトル	説明文
1	井伊掃頭部（かもんのかみ）	全体を赤色で塗り、「井伊の赤備え」をイメージさせています。側面には、井伊直弼の肖像がを描いていて、背には井伊家の家紋を描きました。
2	ひこにゃんかわ井伊ペロタクシー	ひこにゃんと井伊直弼をコラボさせました。考えたところは、前の部分に井伊家の家紋「橘もん」をつけたところ です。井伊直弼のキャラクターも考えました。
3	ひこにゃん号	ペロタクシー全体がひこにゃんになっています。前から見るとかわいい！
4	ひこにゃん号	お殿様を雷から守ったにゃんこがたくさんかかれたペロタクシーです。
5	戦場の直弼	赤色を多く使って、井伊直弼が安政の大獄で流した、血と涙を表現しました。
6	”Hikone” ペロタクシー	後ろは、彦根城を描いてみて、タイヤは井伊家の家紋を描いてみた。また、側面は「赤備え」で有名なカブトにしてみた。
7	彦根のメッセージ	彦根を全国の人に知ってもらいたい
8	井伊家の自家用ペロタクシー	全体的に井伊家の家紋をカラフルに描きました。「赤鬼」を意識して赤・ピンクなど赤系の色を多めにしました。シートが赤いのも、それを意識したからです。派手とシンプルな間のデザインです。
9	井伊なおすけと赤備え	「井伊の赤備え」をイメージし、赤に井伊の「井」の字をアレンジしてみました。
10	赤備えチェック	「井伊の赤備え」をイメージして誰にでも親しめるチェック柄にしてみました。
11	ガソリンを使わないタクシー	自然を意識して作りました。乗ってみたいものを意識作りました。
12	たのしいりょうこう	私の大好きな旅行やキャラクターをイメージしてタクシーに絵を描きました
13	ひこにゃん・どろちゃん・おとのさま	ひこにゃんのカブトみたいに赤と黄色にしました。お父さんと一緒に作りました。ひこにゃん・どろちゃん・おとのさまのついたタクシーにのりたいです。
14	黒船がやってきたー！	井伊直弼と関係の深い黒船と井げたのはた印を大きく後ろに書きました。

15	走れ！！井伊号	彦根城に住む白鳥をイメージ
16	彦根のともだち	キャラクターのひこにゃんとやちにゃんを書きました。(みんなが乗りやすい様に人気のキャラクターを書いた)ペロタクシーに乗ってともだちを作ってほしいと思いこのタイトルにしました。
17	なかよし	大好きなピカチュウとひこにゃん。なかよく、タクシーだよ！！
18	井伊直弼と彦根の旅	井伊直弼といっしょに旅をしている気分が味わえるように絵をかわいく、大きく強調して書きました。
19	緑, 茶, 青のエコタクシー	緑は青々としげる木, 茶はおいしく育つ茶っ葉, 青はしんせんなかんじを表す色です。
20	未来の彦根へ	乗った人の夢・未来を運んでいくようなイメージ
21	レインボーペロタクシー	なし
22	虹へのかけはし	未来から過去への架け橋
23	井伊直弼のきれいなペロタクシー	なし
24	ペロタクシーは井伊タクシー	作品のデザインにすごく苦労しました
25	直弼&ひこにゃん・ペロタクシー	彦根というのをローマ字でかき工夫しました。ひこにゃんとおとのさまを書きました。
26	井伊大老号	横に井伊と太い字で書くのが少し大変でした
27	江戸城と大老井伊直弼	ハンドルをくっつけたり色を塗ったり組み立てる場所を合わせたりするのがすごく難しかった。細かい部分はとても色を塗るのに苦労しました。
28	伊佐丸どの	井伊さんの日常のことを考えて書いた。
29	直弼タクシー	色を考えてぬりました。彦根のイメージの色をぬりました。彦根のことをめだたせて、デザインしました。
30	なおすけタクシー	ハンドルの部分にくろうした
31	HIKONE！！ペロタクシー	お城も少し描きました。後ろにひこにゃんを描きました。すこし描きにくかったけど上手に描けました。

32	井伊直弼とひこにゃんのペロタクシー	井伊直弼とひこにゃんの仲がいい様子をかいた。
33	井伊直弼のペロタクシー	井伊直弼がのっていたペロタクシーをいめいじしました。
34	井伊直弼のペロタクシー	ひこにゃんと彦根城の絵を大きく書いた。
35	ペロタクシー	苦労したところは、ハンドルなどをつけるところです。
36	ひこにゃんペロタクシー	ひこにゃんが町を回ったら、たのしいし、うれしい気持ちになってほしい
37	HIKOタクシー	ひこねをイメージしてつくりました。
38	心の大きな輪	タイヤの真ん中を「心」という部分にしました。
39	カラーペロタクシー - 直弼編 -	色ぬりを工夫した。組み立てが難しかった。
40	ヒコネ！！ペロタクシー	ペロタクシーは初めて作ったけど上手に作れたのでよかったです。
41	ペロタクシー	こぐ所の向きとか間違えたので、はりなおすのに苦労した。
42	かもん号	いいなおすけのかもんをかいた
43	井伊直弼開国 150 年祭	作品を作るのも難しく、色をぬるのも難しかった。でも、井伊直弼をイメージできてよかった。
44	直弼とひこにゃん	昔の直弼と今のひこにゃんがマッチするよう色あいと模様などを工夫した。
45	なおすけペロタクシー	ハンドルをつけるところが苦労した。
46	なおすけ&ひこにゃん, 彦根城を守れ	井伊直弼とひこにゃんが城を守っている様子
47	みんなで乗ろう, ペロタクシー	井伊直弼をカワイク書いてみました。
48	直弼の守り神	
49	ひこにゃんといろいろな花	ひこにゃんは花が好きそうだからです。こんなペロタクシーにのれたら楽しいと思います。
50	ひこ悟空タクシー	大好きな悟空とひこにゃんを合体させてデザインしました。

51	うさはなでレッツゴー	開国 150 年を記念して、こんなかわいいペロタクシーが走ったらいいな。
52	滋賀県彦根市彦根城号	「滋賀県彦根市と彦根城をおうえんしています！」という意味で作りました。
53	ひこにゃんカー	井伊なおすけの名前もいれました
54	桜まうひこね	家紋が特徴
55	お花のペロタクシー	ペロタクシーにお花をかきました
56	にぎやかタクシー	にぎやかになるように笑顔をいっぱいかきました。
57	桜まう彦根のタクシー	家紋を大きく描いて目立つようにしました。
58	開国 150 年号	開国 150 年を記念して、彦根の文字や 150 などをかいた。
59	彦根城号	彦根城を表したペロタクシー
60	おしろタクシー	タクシーの後ろにお城の絵があります。
61	クリスマスペロタクシー	走行期間が 12 月なので、クリスマスにちなんでひこにゃんに新しい鈴のプレゼント
62	夕やけ空のおしろ	井のマーク、ひこねといえ、お城とひこにゃん
63	ひこにゃん、しまさこにゃん	彦根城と 400 年祭のキャラクターひこにゃん、しまさこにゃんがかいてあるペロタクシーに乗れたらいいなあ、と思って描きました。
64	マーク集まれ	ペロタクシーにいるんな人が集まって愉快になって欲しいから
65	彦根城	彦根城を横と後ろに描きました
66	カラフルペロタクシー	ひこにゃんに乗って欲しい、虹色のペロタクシーを作りました。
67	おとのさま号	井伊家の鎧、兜が赤なので赤色をイメージして作りました。
68	現代に蘇る井伊直弼！ひこにゃんがお供	サドルについているひこにゃんと、横に描いてあるニコニコ顔は乗ってくれた人がみんな笑顔になって欲しいからです。

69	ひまわりでさわやかなペロタクシー	どんなあつい日でも、さわやかに過ごせるように、花をひまわりにしました。
70	H A P P Yタクシー	
71	彦根ひこにゃんペロタクシー	井伊直弼のイメージがうかばなかったので、とりあえずひこにゃんを描きました。
72	スマイル	彦根とスマイルなどを書いて、明るくしました。
73	開国 150 周年号	できるだけ井伊直弼に関する事を書いた。
74	スマイルタクシー	
75	スーパー井伊直弼号	井伊直弼を中心として作りました。
76	カイツブリ・タクシー	県鳥「カイツブリ」と、いつも泳いでいる琵琶湖の風景をペロタクシーの横に描いた。
77	水玉タクシー	
78	スマイルタクシー	みんながにこにこになるように
79	ロックンドクロタクシー	ドクロを描いて楽しく見せるようにしました
80	花の彦根	花でかわいくしました。明るくなるように黄色を使いました。
81	桜タクシー	桜の色のピンクと桜の花びらを描きました。
82	彦根 & E L M O	E L M O が好きだから彦根と組み合わせた。
83	H I K O N E !! ペロタクシー	
84	虹とひこにゃん, みんな仲よし	ひこにゃんはみんなを幸せにしてくれます。
85	井伊の赤	のりで無理だったところは、テープを使った。
86	やちにゃんペロタクシー	
87	B O O タクシー	B O O が可愛くて好きだから、彦根とくみあわせてみた。

88	進め！ひこにゃんペロタクシー	かわいいひこにゃんをデザインして、HIKONEという文字を、琵琶湖をイメージして、青にしました。
89	ひこにゃん&なおすけペロタクシー	なおすけは茶の湯道具を作ったのでそれも描きました。
90	「井伊直弼と開国 150 年祭」を祝うひこにゃんペロタクシー	ひこにゃんをたくさん描いた。開国 150 年祭をアピールした。
91	I LOVE ひこね	ミッキーとミニーが好きなので、描きました。彦根も好きです。
92	ペロタクシー	座席を間違えて作ってしまった。のりでくっつかないところはセロハンテープで貼った。
93	ひこにゃん号	作るのがすごく難しかった。
94	彦根ドリームズカー	後ろの彦根城が特徴です。
95	井伊直弼と開国 150 年祭	工夫したところは、横に大老と描いたところです。
96	なおぼんタクシー	井伊家の赤い甲冑をイメージしてオリジナルキャラクターを作りました。
97	井伊家の家紋号	井伊家代々に伝わる家紋をペロタクシーに載せようと思いました。
98	井伊家のタクシー	井伊家の家紋や鎧が描いてある。
99	開国記念だヤッター！！	井伊の「井」をたくさん使いました。中の隠れひこにゃんに注目して欲しいです。
100	ひこさこにゃん号	ひこにゃんとさこにゃんが仲良く走る
101	オリジナリティー・ペロタクシー	小さい部品を取り付けるのが難しかった。
102	馬にのった 赤兜号	井伊家の赤いよろいかぶと、馬、刀を描きました
103	ひこねペロタクシー	大きな彦根城とひこにゃんが好きだから。
104	みんなの彦根	井伊直弼のお城だった、彦根城とみんなが大好きな「ひこにゃん」を描きました。
105	いいなおすけ君号	勉強の大大大好きな井伊直弼君が勉強をしている似顔絵
106	開国 150 周年	世界に羽ばたく日本の始めです。

107	い~い直弼号	自分で考えた井伊直弼のキャラクターをイメージした。
108	みんなおともだち	みんながにこにこになるように、世界中仲良しです。
109	井伊大老が彦根を走る	井伊家の家紋を前にいれ、ホイールには「井」のマークを入れました。また、大老の顔を後ろに貼り付けて彦根に来た方に大老のイメージを着けようと思いました。
110	お茶タクシー	井伊直弼がお茶をたしなんでいると聞いたので
111	フルーツタクシー	開国によって、世界のフルーツが輸入されることになり、おいしい楽しみが増すことになりました。私の大好きなフルーツをタクシーに見ました
112	ひこにゃんの春	私は開国 150 年祭のキャラクターひこにゃんと私が彦根城で一番きれいだと思う季節「春」を合わせて描いたら、いいと思ったのでこの二つを描いてみました。
113	お花号	わたしはお花が大好きです。わたしの大好きな彦根の町がお花でいっぱいになるといいとおもいます。
114	時代タクシー	
115	ジャニーズタクシー	
116	150 年祭記念ペロタクシー	彦根の名物ひこにゃんと 150 年祭の井伊直弼をデザインしました。あと、150 周年であることをアピールしました。
117	琵琶湖と彦根城	琵琶湖をイメージした青色と、彦根城を描きました。
118	Love x 2 タクシー	彦根のカップルが Love Love で乗れるタクシー
119	さて日本は開国のとき	周りの黒船はせまり来る開国のイメージ。「井伊大老 鎖国の壁を 打ち破る」と彦根カルタにまでなっているので、せっかくなので後ろに書いた。開国を迫られた日本の未来を考える直弼のイメージを書いた
120	井伊直弼のペロタクシー	井伊直弼をイメージしてデザインしました。
121	ひこにゃんのすず	車全体がひこにゃんのすずでまいてあるようにしてみました。

122	それいけ！ひこにゃん号	彦根の有名なものを描きました。
123	それいけ！ひこにゃん号2	ひこにゃんを中心に作りました
124	桜田門と井伊直弼	桜田門をイメージしました。うしろの柳は埋木舎の木、柳をイメージしました。
125	井伊直弼と開国 150 年祭	井伊直弼を大きくかい、めだたせました。
126	それいけ！ひこにゃん号3	ひこにゃんの元気なかんじをだしてみました。
127	ペロタクシー	桜がメインです
128	150th ひこにゃん号	ピンクと緑で、昔っばい感じを出しました。
129	ひこにゃんと彦根城	ひこにゃんと彦根城をメインにいろいろ描いた。
130	We love 彦根おめでとさん号	組み立てにかなり手こずり、かなりの時間がかかりました。
131	井伊直弼ペロタクシー	ほぼ全体に井伊直弼を描きました。星とかで明るい感じをだしました。
132	開国	井伊直弼開国しました。組み立てるのが面倒でした。
133	彦根のゆかいなキャラクターたち	彦根っばさができるようにしました。
134	I LOVE HIKONE 150周年！！	
135	開国 150 周年	色づくり工夫した。
136	つるぎ	つるぎに桜をつけました
137	桜とひこにゃん	私の中で彦根城と井伊直弼といえば、「桜」だったので、桜とひこにゃんを描きました。
138	開国 150 年	とりあえず「150年」を大きくみてもらえるように作ってみました。
139	それいけひこにゃん号4	彦根のイメージと井伊直弼っばいのを合わせてみました
140	明るい街 彦根	「明るい街」をイメージできるようにしたかったので明るい色を大量に作りました。

141	ひこにゃんペロタクシー	ひこにゃんが雪だるまになっている
142	剣豪ひこにゃん	刀をイメージしてひこにゃんを武士っぽくしました
143	井伊直弼のタクシー	井伊家の色の赤を多く使いました。
144	彦根城タクシー	井伊家の城である彦根城を描いた
145	ひこにゃん号	タクシーの後ろに彦根城天守閣を描いた。
146	ひこにゃんタクシー	井伊直弼の兜の色を使ってカラフルにしました。
147	彦根城	彦根城の風景を描きました。桜の花びらが散っている絵と、散ってない絵があります。
148	Let's Go! Go!号	昔、戦があった時のイメージの色が赤なので、車体を赤にした
149	家紋タクシー	
150	彦根タクシー	目立つように赤などのラインをひきました、「彦」のマークがこのペロタクシーのマークです。
151	彦根の未来を開くタクシー	ひこにゃんをかいて、彦根をアピールした。
152	花やかイメージタクシー	明るい感じと彦根のイメージがあった。花やかに描きました。
153	彦根城の四季	彦根城の美しい四季を表現して、やりました。
154	開国 150 年記念タクシー	開国の中心となった彦根の井伊直弼の井伊直弼の象徴をタクシーに描きました。
155	井伊直弼と開国 150 年祭	ペロタクシー全体を黒船をイメージしました。後ろには井伊家のと分かるようにしました。
156	開国 150 周年	タイトルを意識して、デザインしました。
157	彦根のタクシー	一目で彦根のタクシーと分かるようにデザインしました。
158		
159		

160	ひこにゃんのお友達ペロタクシー	彦根のキャラクターを3人描きました。
161	井伊直弼ペロタクシー	井伊直弼からひこにゃんへ歴史が受け継がれていく。
162	お殿様タクシー	お殿様の駕籠のイメージ
163	彦根はええで！！	井伊さんと彦根市のみんなが観光客を迎える
164	井伊直弼と桜	井伊直弼の優美なところを城山の桜の美しさで表現しました
165	ひこにゃんクローバーパズルペロタクシー	ひこにゃんクローバーパズルペロタクシー
166		
167		
168		
169		
170		
171		
172		
173		
174	ひこねがいっぱいペロタクシー	彦根に人が来ますように
175	空色ペロタクシー	車体を水色に塗って空をイメージしました
176	いいなおすけとすわれるペロタクシー	シートに井伊直弼が両手を広げて座っているので、一緒に座っている気持ちになります。ひこにゃんと井伊直弼の本当の大きさの足跡があって、自分の足の大きさと比べれます
177	はーとタクシー	みんなが楽しい気持ちになって乗って欲しいです
178	赤おに	彦根城の石垣と赤いかぶとを描きました。

179	ぼくの乗りたいペロタクシー	実際に乗ってみたいペロタクシーをイメージして、デザインしました。
180	ひこにゃんペロタクシー	あまりいい絵が思いつかないから、ひこにゃんにした。
181	祝！彦根・井伊直弼と開国 150 年祭！！ Y e a h	井伊直弼と開国 150 年祭をイメージして作りました。
182	祝 彦根開国 150 年祭	ひこにゃんとしまさこにゃんをイメージしました。
183	ひこにゃん タクシー	彦根のシンボルキャラクターをメインに描いた。
184	にこにこ ひこにゃん	ひこにゃんをメインにして、開国 150 年をアピールしました。ひこにゃんの足跡をたどると、彦根にいけるデザインにしました。
185	季節をかけぬけるペロタクシー	井伊直弼さんが春・夏・秋・冬どの季節も気持ちよく乗れますよと宣伝している。
186	誰でも井伊直弼	乗ってもらって顔が出て、井伊直弼になれる。うしろの埋木舎をいっしょに写真をとれる。赤いスポーツカーをイメージしてかっこうよく、うしろの方は、金色がちりばめられてキラキラしている。

応募作品の写真



1



3



5



2



4



6



7



9



11



8



10



12



13



15



17



14



16



18



19



21



23



20



22



24



25



27



29



26



28



30



31



33



35



32



34



36



37



39



41



38



40



42



43



45



47



44



46



48



49



51



53



50



52



54



55



57



59



56



58



60



61



63



65



62



64



66



67



69



71



68



70



72



73



75



77



74



76



78



79



81



83



80



82



84



85



87



89



86



88



90



91



93



95



92



94



96



97



99



101



98



100



102



103



105



107



104



106



108



109



111



113



110



112



114



115



117



119



116



118



120



121



123



125



122



124



126



127



129



131



128



130



132



133



135



137



134



136



138



139



141



143



140



142



144



145



147



149



146



148



150



151



153



155



152



154



156



157



159



161



158



160



162



163



165



167



164



166



168



169



171



173



170



172



174



175



177



179



176



178



180



181



183



185



182



184



186

謝辞

本稿は、滋賀県立大学環境科学部環境計画学科環境社会計画専攻における研究を学位論文としてまとめたものである。

本研究の遂行ならびに本論文作成にあたり、テーマ設定、論文の構成、発表におけるプレゼンテーションの指導など、終始的確かつご懇切丁寧極まるご指導を賜りました近藤隆二郎准教授には、謹んで新甚なる敬意を表します。また、査読を引き受けてくださり、的確なアドバイスやコメントをご教示していただいた、香川雄一講師に謹んで謝意を表します。

「夏休みペロタクシー・デザインコンクール」でお世話になった彦根市役所「井伊直弼と開国 150 年祭」実行委員会の小川隆史様、彦根城博物館の小井川理様、彦根市市史編さん室の小林隆様、ペロタクシードライバーの瀧元信孝様、協力していただいた方々の励ましの言葉や、行為が研究の糧となりました。心より感謝いたします。

そして、ユニークな発想をもとに研究を進め、刺激を与えていただいた青木傑氏、常に頼りになる存在であり、良きライバルであった久保寺郁氏、研究だけでなく、様々な活動においても一所懸命に取り組み、良き模範生であった中小田すばる氏、折れることのない、確固たる信念のもとに独自の研究を突き進めた中村和也氏、時に優しく、時に厳しく真摯な態度で接してくれた松尾清氏、近藤研究生の面々には公私生活において触れ合うことも多く、支えていただき本当にありがとうございました。

最後に私をここまで育て、学生生活を支えてくださった両親、兄、妹、祖父母、そして友人に心から感謝いたします。

2009 年 3 月 24 日

西野 慧